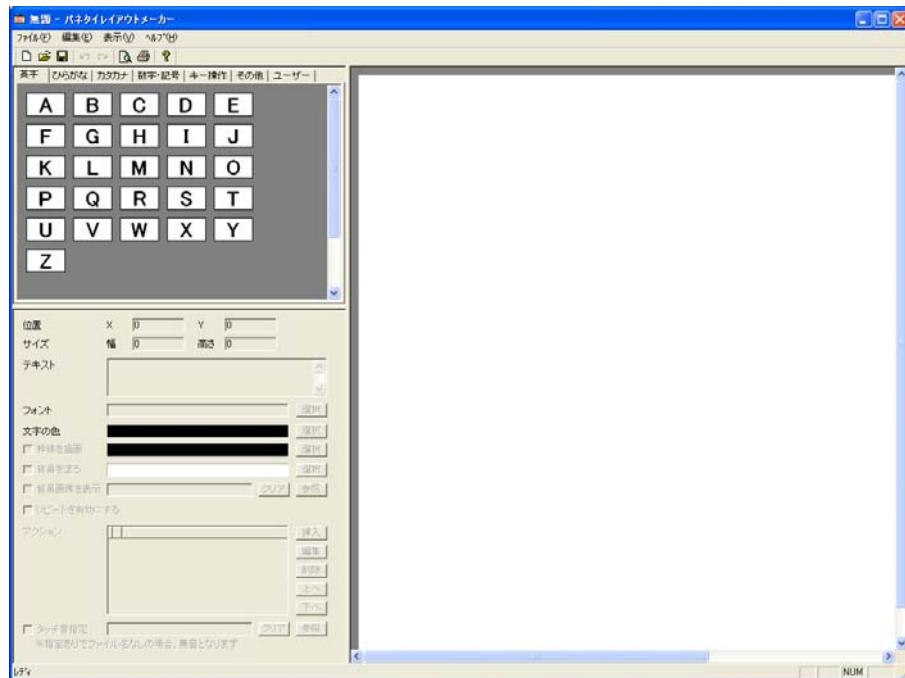


# パネタイ

## Panel Typewriter

### レイアウトメーカー プロフェッショナル 操作説明書



- ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。
- 本書は、必要な時にいつでも参照できるよう、お手元に大切に保管してください。

## 目次

---

<b>1. パネタイレイアウトメーカーの起動 / 終了</b>	1
1.1. 起動	1
1.2. 終了	2
1.2.1. 作業中のレイアウトがない場合	2
1.2.2. 作業中のレイアウトがある場合	3
<b>2. 画面の各部の名称及びアイコンの説明とキーの種類</b>	7
2.1. 画面の各部の名前	7
2.2. ツールバーアイコン	7
2.3. キーの種類	8
2.3.1. 英字	8
2.3.2. ひらがな	9
2.3.3. カタカナ	9
2.3.4. 数字・記号	10
2.3.5. キー操作	10
2.3.6. その他	11
2.3.7. ユーザー	11
<b>3. 基本操作</b>	12
3.1. レイアウトの編集	12
3.1.1. レイアウトの新規作成	13
3.1.2. レイアウトデータを開く	15
3.1.3. レイアウトデータの保存	17
3.1.4. レイアウトプロパティ	21
3.1.5. レイアウトデータの削除	27
3.2. キーの設定	31
3.2.1. キーの配置	31
3.2.2. キーの移動・サイズ変更	31
3.2.3. プロパティウィンドウを使用してのキーのプロパティ変更	33
3.2.4. エリアプロパティダイアログを使用してのキーのプロパティ変更	33
3.2.5. キーの削除	48
3.2.6. ユーザーキャンパス	50
3.3. アクションデータ編集	53
3.3.1. アクションの挿入	53
3.3.2. アクションの更新	54
3.3.3. アクションの削除	55
3.3.4. アクション並べ替え	56
3.3.5. 入力	57
3.3.6. ファイルを実行する	58
3.3.7. URLジャンプ	59

3.3.8. 文字一覧を追加 .....	60
3.3.9. レイアウト設定 .....	62
3.3.10. メッセージ設定 .....	63
<b>3.4. 固定枠の設定 .....</b>	<b>64</b>
3.4.1. 固定枠の挿入 .....	64
3.4.2. 固定枠にキーを配置 .....	65
3.4.3. 固定枠の移動・サイズ変更 .....	66
3.4.4. 固定枠の行列設定 .....	66
<b>3.5. テキストの設定 .....</b>	<b>79</b>
3.5.1. テキストの挿入 .....	79
3.5.2. テキストの移動・サイズ変更 .....	80
<b>3.6. 複数選択によるプロパティー括変更 .....</b>	<b>92</b>
3.6.1. 一括変更時のプロパティ .....	93
<b>3.7. 元に戻す .....</b>	<b>99</b>
<b>3.8. やり直し .....</b>	<b>100</b>
<b>4. 画面表示 .....</b>	<b>101</b>
4.1. グリッドの表示／非表示 .....	101
4.2. 位置合わせ線の表示／非表示 .....	103
4.3. ツールバーの表示／非表示 .....	104
4.4. ステータスバーの表示／非表示 .....	105
4.5. バージョン情報 .....	106
<b>5. 印刷 .....</b>	<b>107</b>
5.1. レイアウトの印刷 .....	107
5.2. 印刷プレビュー .....	108
5.3. プリンタの設定 .....	109
<b>6. 付録 .....</b>	<b>110</b>
6.1. キー一覧表 .....	110
6.1.1. 英字 .....	110
6.1.2. ひらがな .....	111
6.1.3. カタカナ .....	112
6.1.4. 数字・記号 .....	113
6.1.5. キー操作 .....	114
6.1.6. その他 .....	118
<b>7. 商標及び著作権について .....</b>	<b>119</b>
<b>8. お問い合わせ .....</b>	<b>120</b>

# 1. パネタイレイアウトメーカーの起動 / 終了

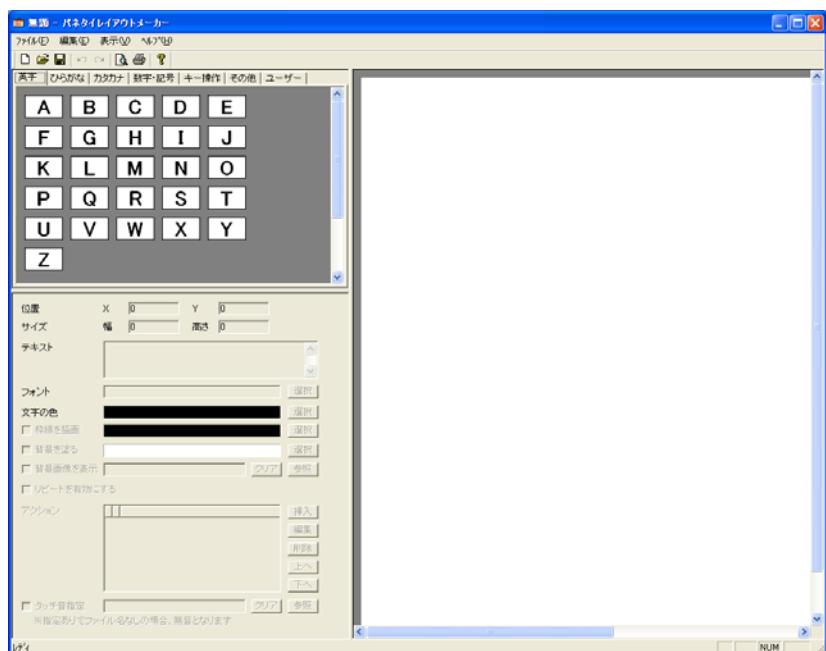
## 1.1. 起動

パネタイレイアウトメーカーの起動方法は、以下の2通りあります。

デスクトップ画面上にあるパネタイフォルダを開き、パネタイレイアウトメーカーのアイコン(ショートカット)をダブルクリックします。



『スタート』 → 『すべてのプログラム』 → 『Softeng』 → 『アプリケーション』 → 『パネタイレイアウトメーカー』をクリックします。



パネタイレイアウトメーカー起動画面

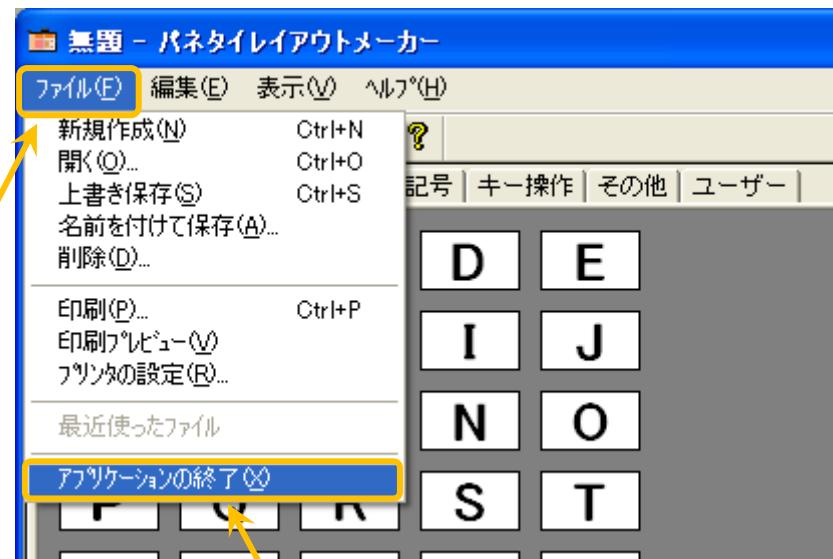
## 1.2. 終了

パネタイレイアウトメーカーの終了方法は、以下の2通りあります。

### 1.2.1. 作業中のレイアウトがない場合

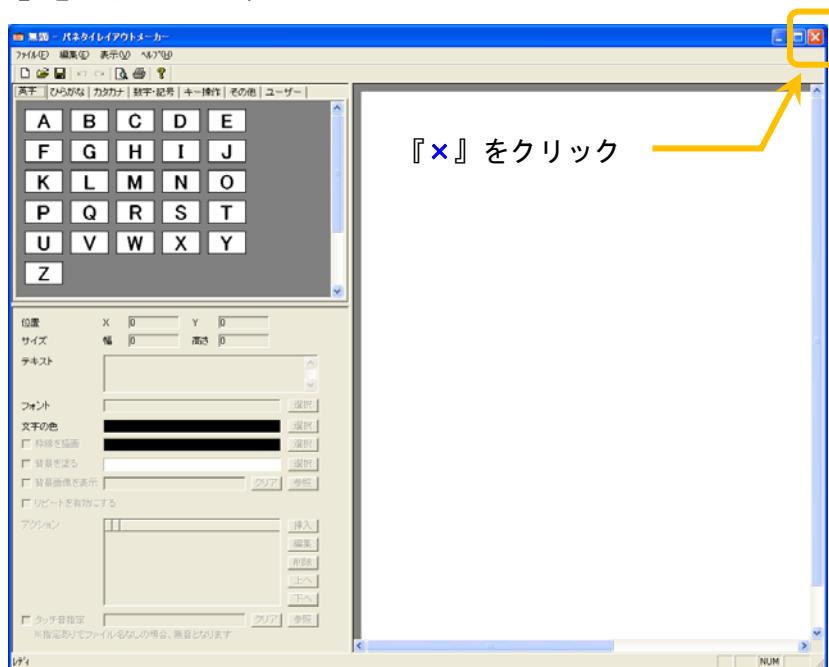
- メニューの『ファイル』 → 『アプリケーションの終了』で終了

[1] 『ファイル』をクリック



[2] 『アプリケーションの終了』をクリック

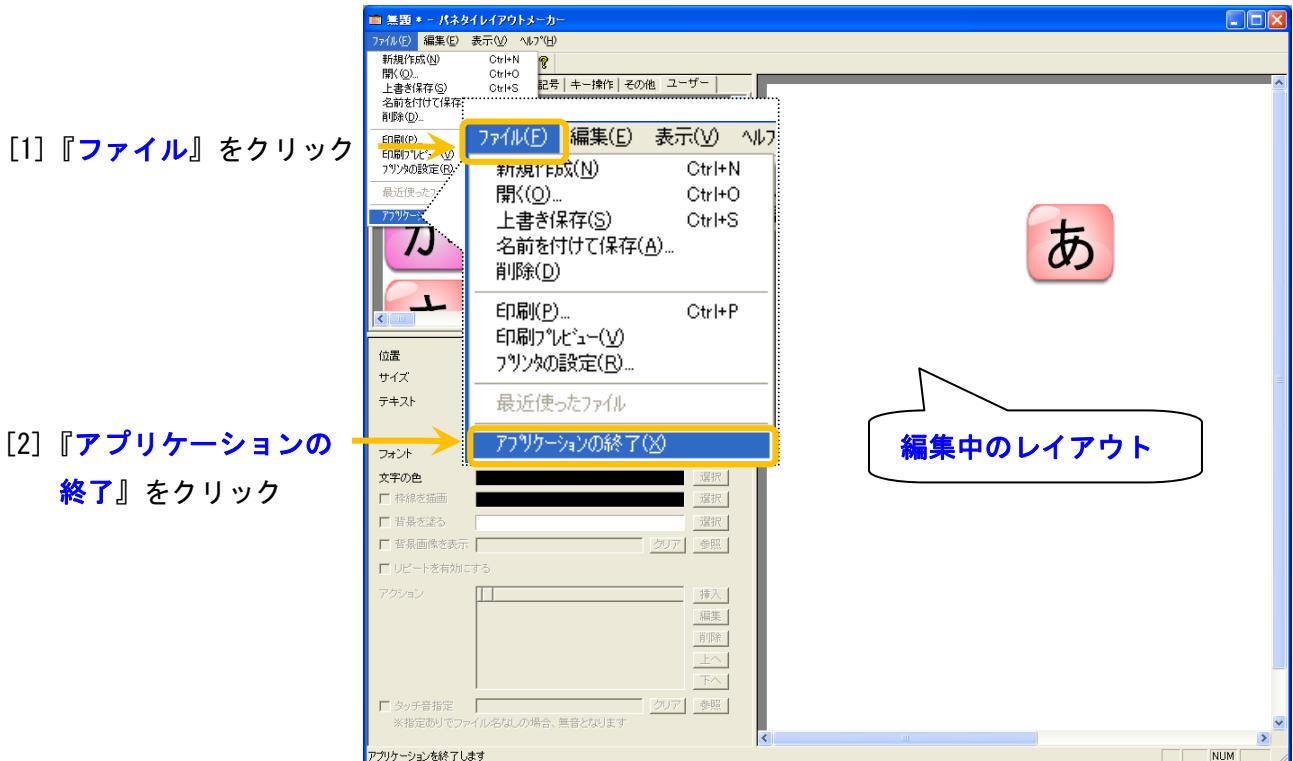
- タイトルバーの『x』をクリックして終了



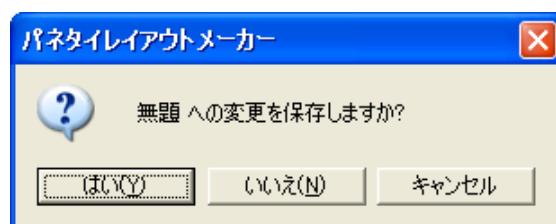
### 1.2.2. 作業中のレイアウトがある場合

- ・メニューから終了する場合

① メニューの『ファイル』 → 『アプリケーションの終了』をクリックします。



② 保存を促すダイアログが表示されます。



『はい』ボタンをクリック時、

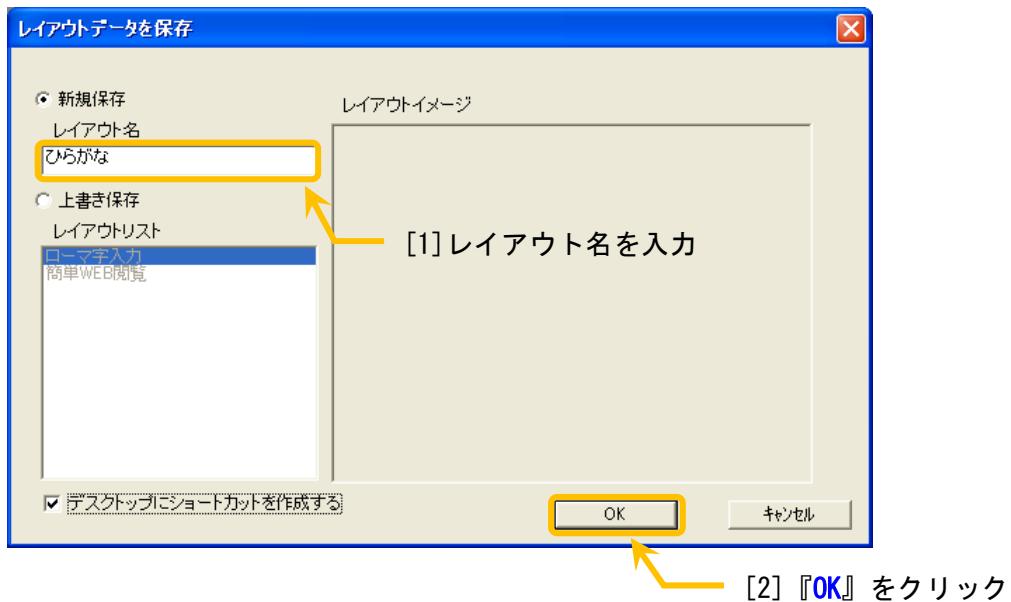
新規作成の場合は「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

既にあるレイアウトを編集した場合は、上書き保存後に終了します。

『いいえ』ボタンをクリック時、保存せずに終了します。

『キャンセル』ボタンをクリック時、レイアウト編集の画面に戻ります。

③ 新規作成時に『**はい**』ボタンをクリックすると、レイアウトデータ保存のダイアログが開きます。

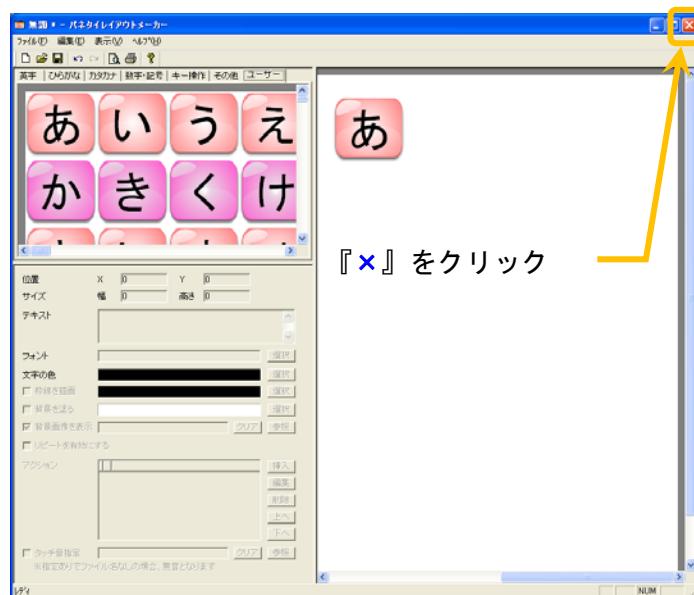


新しくレイアウトを作成したい場合は、『**新規保存**』を選択してレイアウトリストに存在しない名前を付けて、『**OK**』をクリックします。

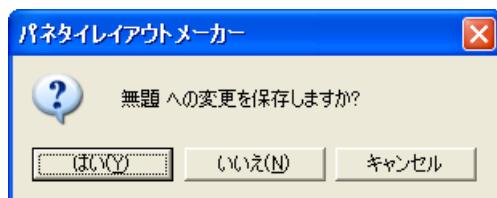
※ 保存動作の詳細は [ 3.1.3 レイアウトデータの保存 ] を参照してください。

※ 上記画像のレイアウトリストにあるレイアウト 2 種[ローマ字入力][簡単WEB閲覧]は  
パネタイ 基本セットがインストール済みの環境下で表示されます。

- ・タイトルバーの『**×**』をクリックして終了する場合



- ① 保存を促すダイアログが表示されます。



『**はい**』ボタンをクリック時、

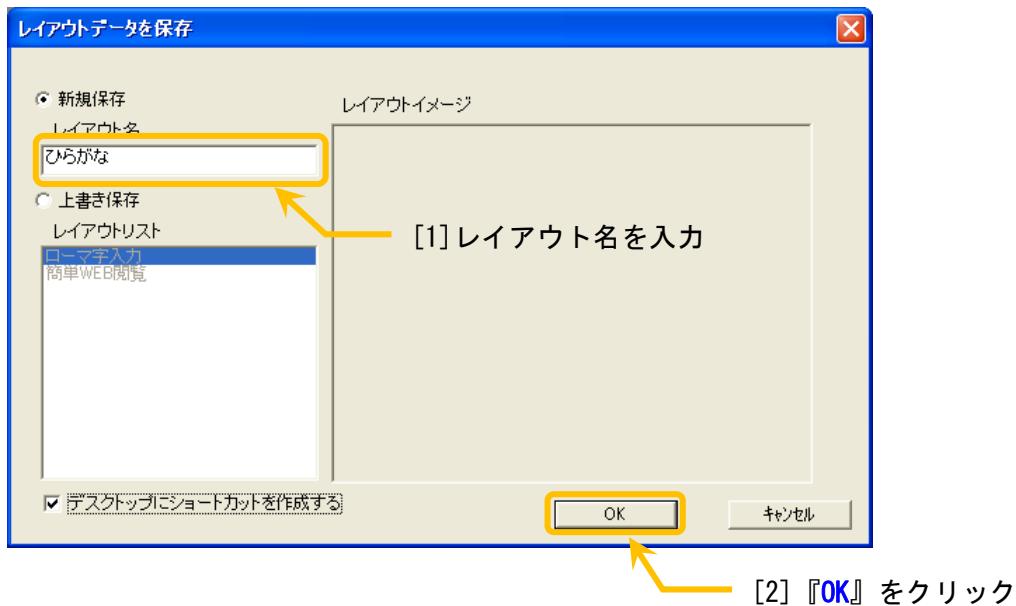
新規作成の場合は「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

既にあるレイアウトを編集した場合は、上書き保存後に終了します。

『**いいえ**』ボタンをクリック時、保存せずに終了します。

『**キャンセル**』ボタンをクリック時、レイアウト編集の画面に戻ります。

② 新規作成時に『**はい**』ボタンをクリックすると、レイアウトデータ保存のダイアログが開きます。



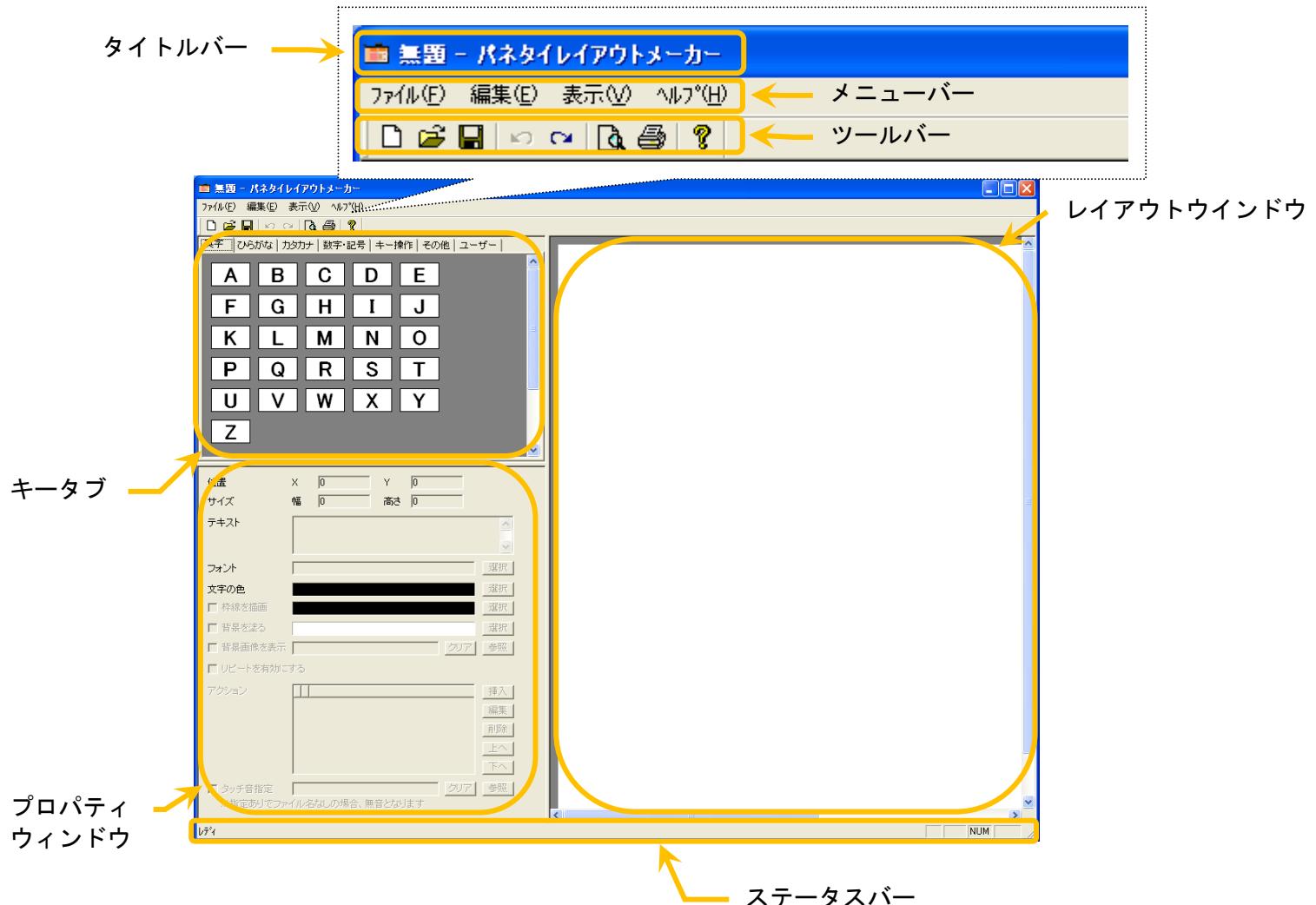
新しくレイアウトを作成したい場合は、『**新規保存**』を選択してレイアウトリストに存在しない名前を付けて、『**OK**』をクリックします。

※ 保存動作の詳細は [ 3.1.3 レイアウトデータの保存 ] を参照してください。

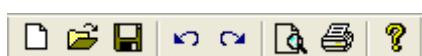
※ 上記画像のレイアウトリストにあるレイアウト 2 種[ローマ字入力][簡単WEB閲覧]はパネタイ 基本セットがインストール済みの環境下で表示されます。

## 2. 画面の各部の名称及びアイコンの説明とキーの種類

### 2.1. 画面の各部の名前



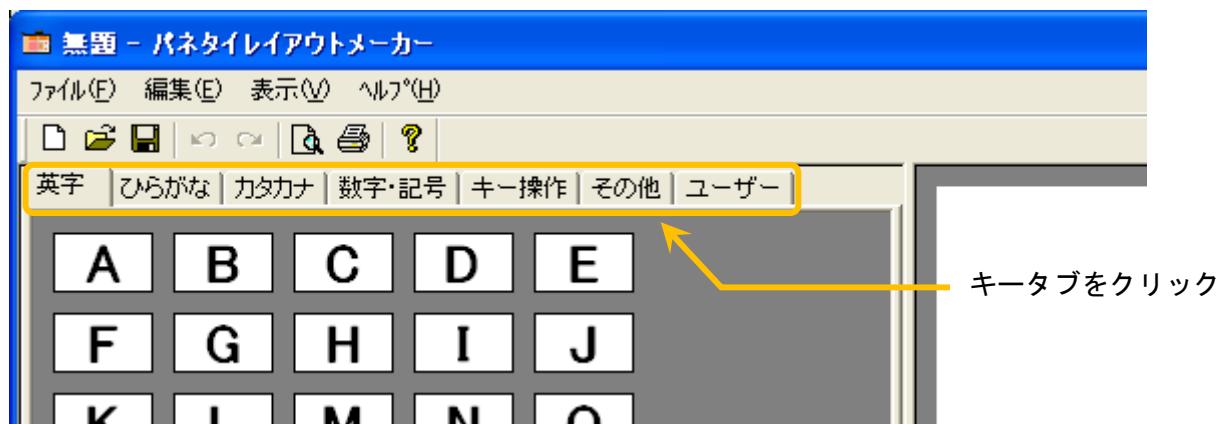
### 2.2. ツールバーアイコン



	新規ファイル	新しくレイアウトを作成する
	開く	既に作成されたレイアウトを読み込む
	保存	作成、編集したレイアウトを保存する
	元に戻す	1つ前の状態に戻す
	やり直す	1つ後の状態に戻す
	印刷プレビュー	レイアウトの印刷状態を見る
	印刷	レイアウトを印刷する
	バージョン情報	バージョン情報を表示する

## 2.3. キーの種類

各キータブをクリックすると、キーの種類を切り替えることができます。



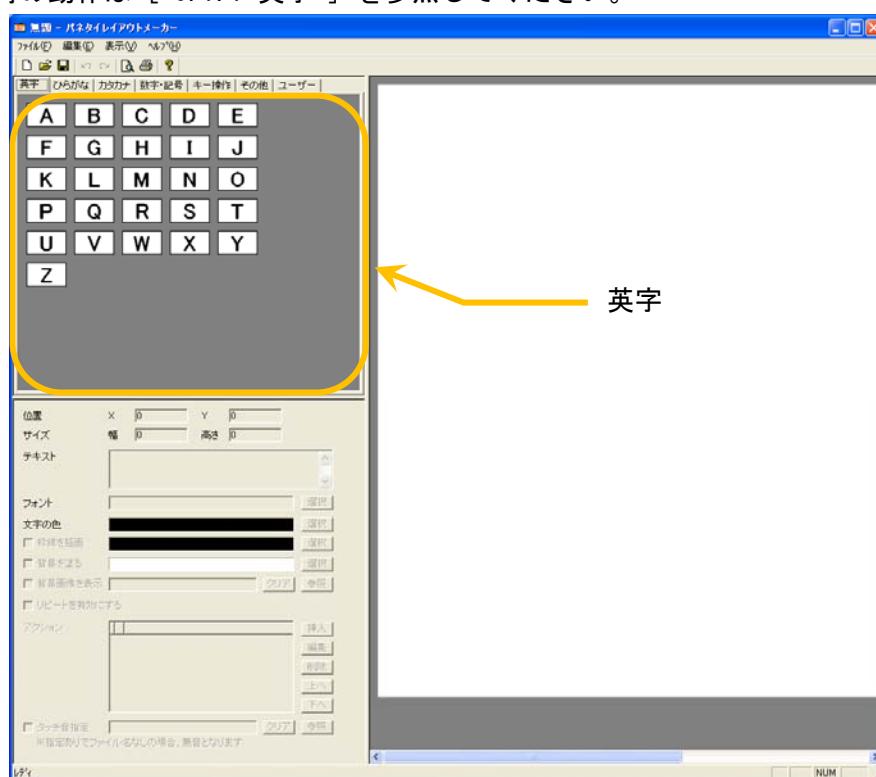
※ 初期設定では、[英字]タブが選択されています。

キーの種類は大きく分けて 7 種類あります。

### 2.3.1. 英字

[英字]タブを選択すると以下のようなキーが表示されます。

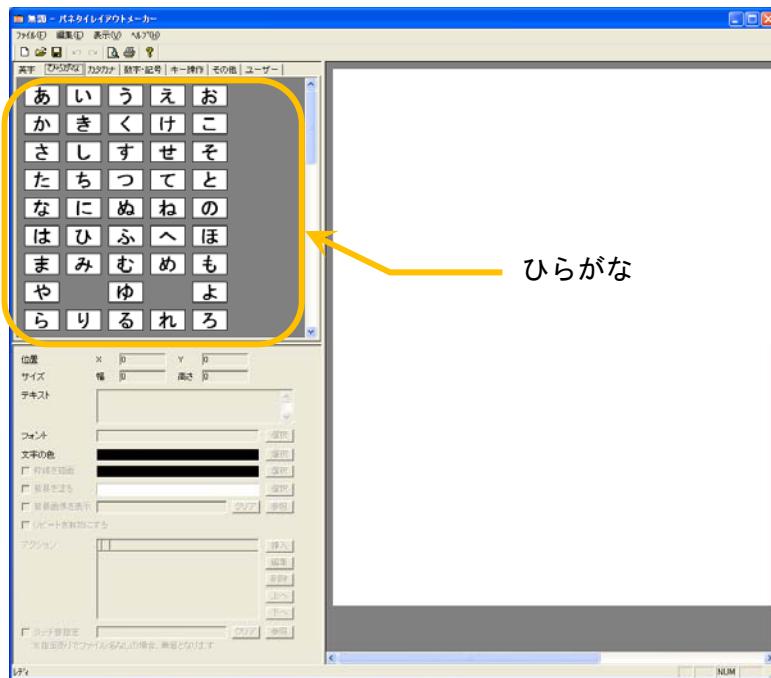
キーをタッチした時の動作は [ 6.1.1 英字 ] を参照してください。



### 2.3.2. ひらがな

[ひらがな]タブを選択すると以下のようなキーが表示されます。

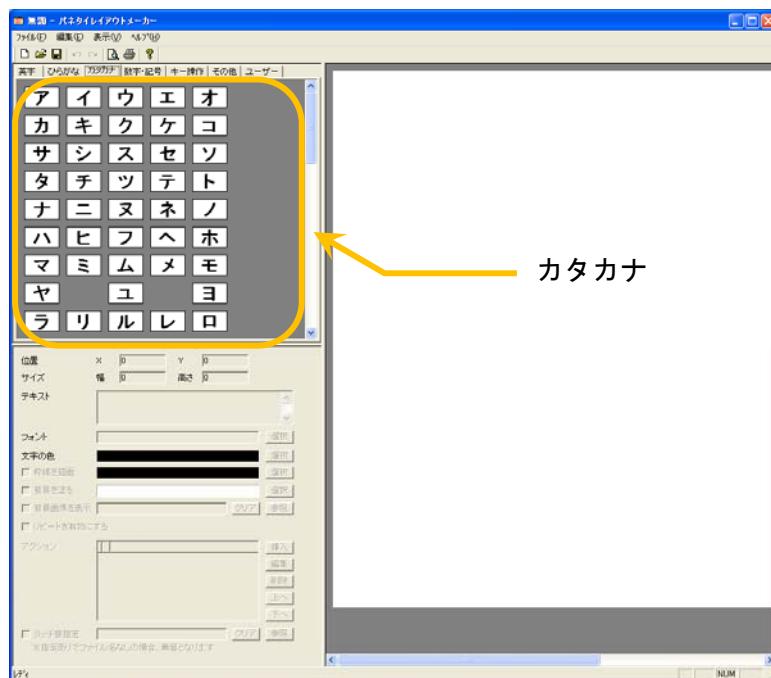
キーをタッチした時の動作は [ 6.1.2 ひらがな ] を参照してください。



### 2.3.3. カタカナ

[カタカナ]タブを選択すると以下のようなキーが表示されます。

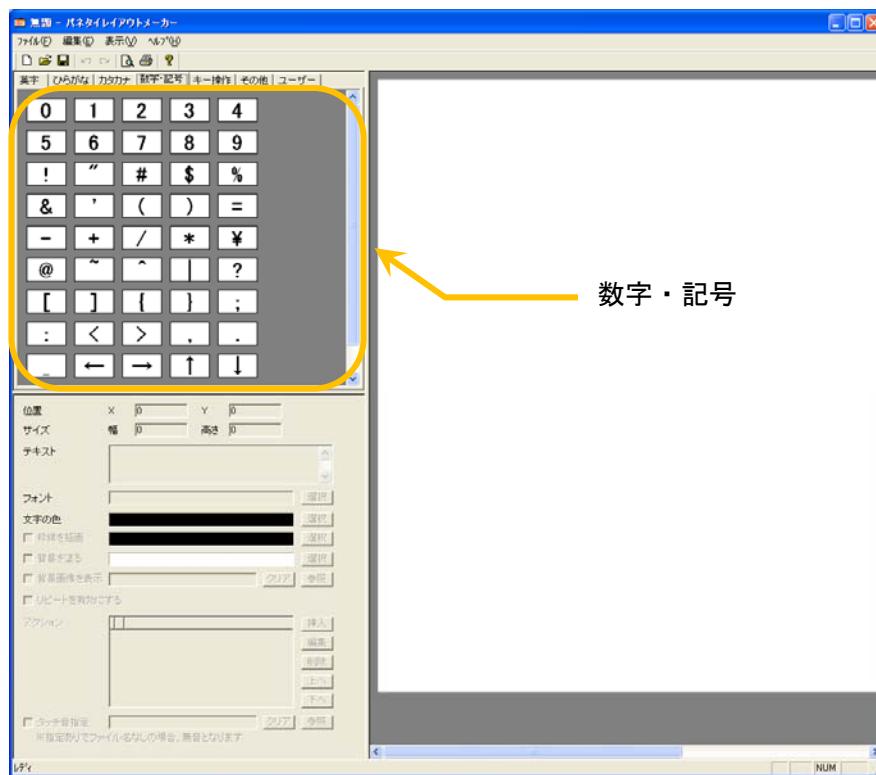
キーをタッチした時の動作は [ 6.1.3 カタカナ ] を参照してください。



#### 2.3.4. 数字・記号

[数字・記号] タブを選択すると以下のようなキーが表示されます。

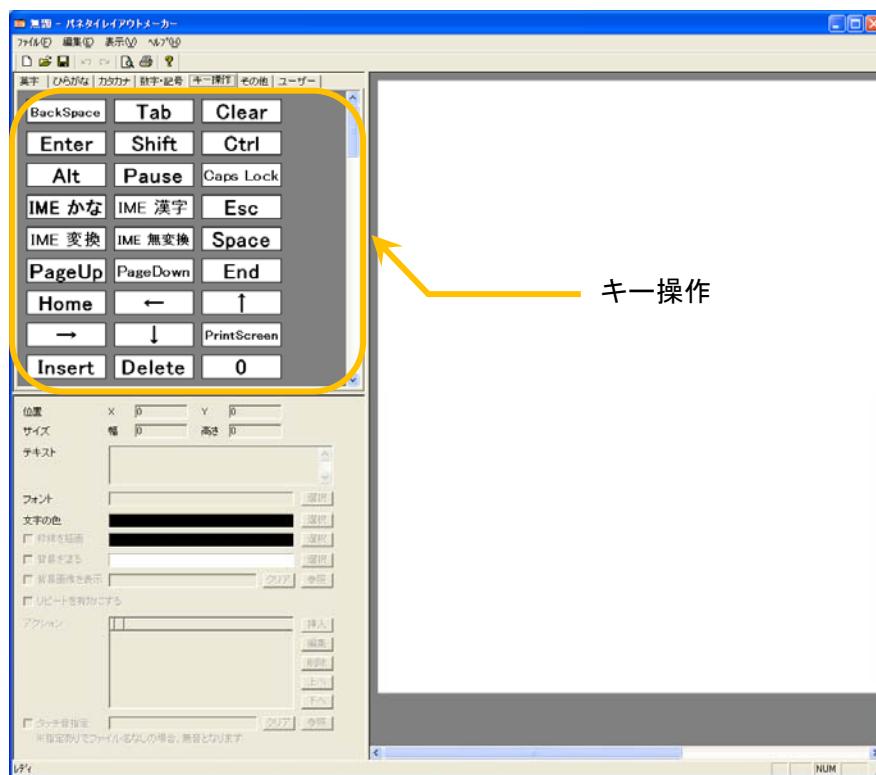
キーをタッチした時の動作は [ 6.1.4 数字・記号 ] を参照してください。



#### 2.3.5. キー操作

[キー操作] タブを選択すると以下のようなキーが表示されます。

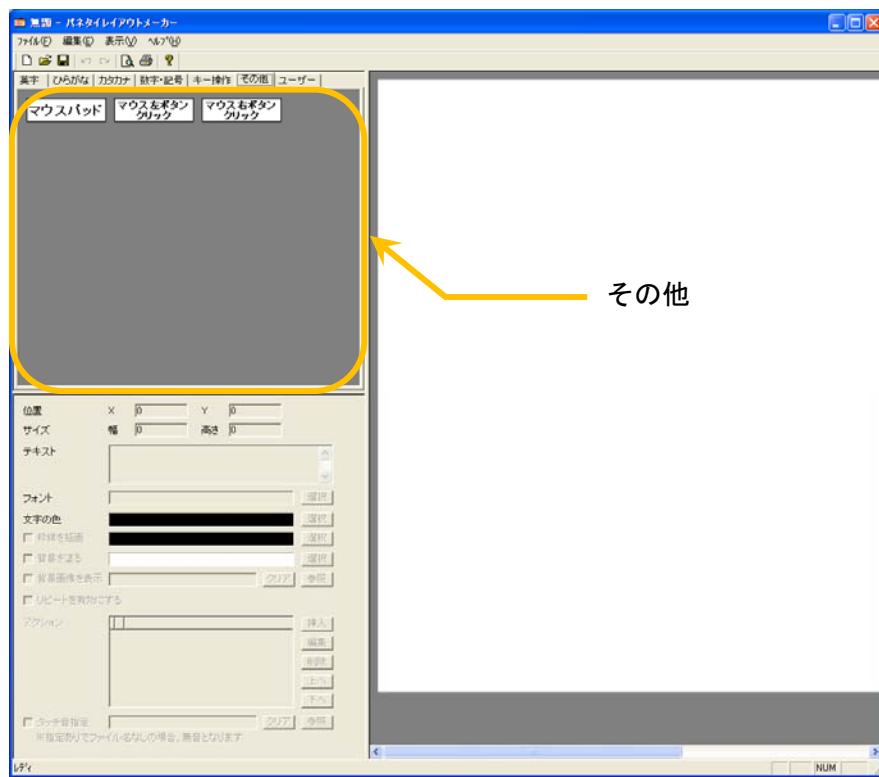
キーをタッチした時の動作は [ 6.1.5 キー操作 ] を参照してください。



### 2.3.6. その他

[その他]タブを選択すると以下のようなキーが表示されます。

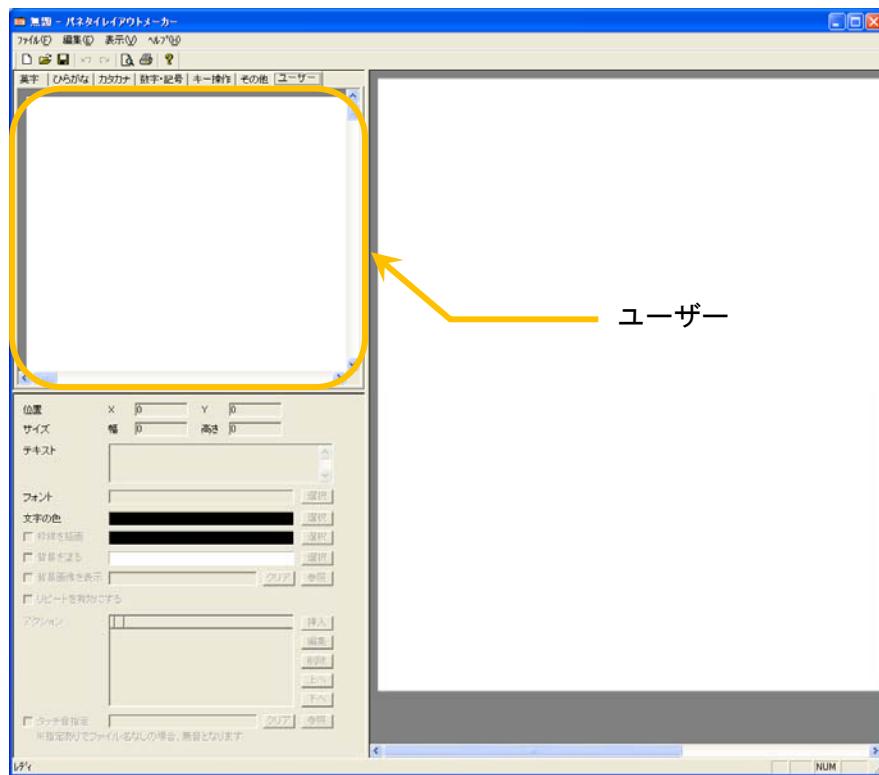
キーをタッチした時の動作は [ 6.1.6 その他 ] を参照してください。



### 2.3.7. ユーザー

[ユーザー]タブを選択すると以下のようなユーザーキャンパスが表示されます。

[ユーザー]タブはキーの保存を行うタブです、動作は[ 3.2.6 ユーザーキャンパス ] を参照してください。



### 3. 基本操作

「パネタイレイアウトメーカー プロフェッショナル」で行える主な機能としてレイアウトの作成・編集、キーや固定枠、テキストの配置や編集、オリジナルキー作成・登録があります。

また、直前の操作の取り消し、やり直しも可能です。

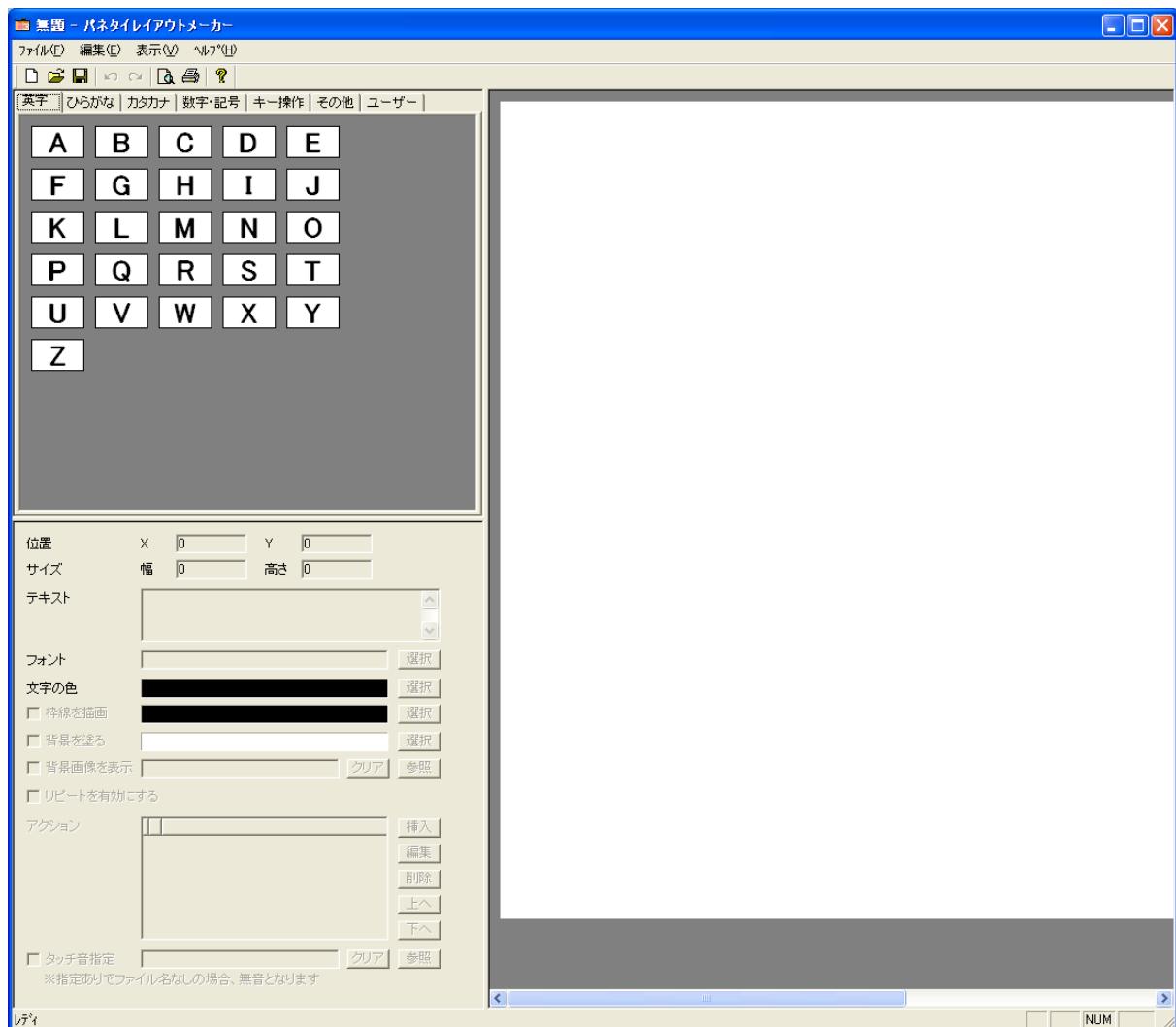
詳細は [ 3.1 レイアウトの編集 ]、[ 3.2 キーの設定 ]、[ 3.3 アクションデータ編集 ]、[ 3.4 固定枠の設定 ]、[ 3.5 テキストの設定 ]、[ 3.6 複数選択によるプロパティー括変更 ]、[ 3.7 元に戻す ]、[ 3.8 やり直し ] を参照してください。

#### 3.1. レイアウトの編集

レイアウト編集の機能として新しいレイアウトの作成、作成したレイアウトの保存、保存されているレイアウトの再編集・削除などがあります。

また、レイアウトの背景設定や一覧表示も可能です。

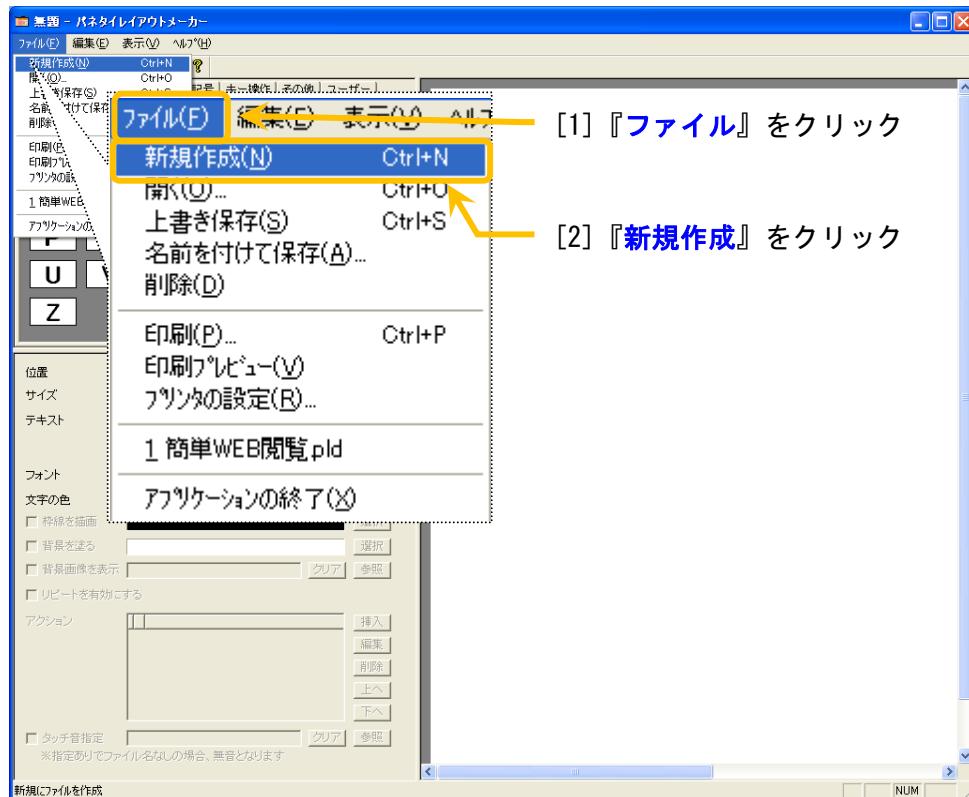
詳細は [ 3.1.1 レイアウトの新規作成 ]、[ 3.1.2 レイアウトデータを開く ]、[ 3.1.3 レイアウトデータの保存 ]、[ 3.1.4 レイアウトプロパティ ]、[ 3.1.5 レイアウトデータの削除 ] を参照してください。



### 3.1.1. レイアウトの新規作成

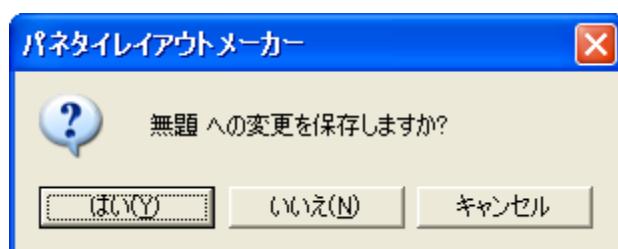
新しくレイアウトを作成します。

作成するにはメニューの『ファイル』 → 『新規作成』をクリックします。



※ 新規作成画面は、起動直後の画面と同じ画面です。

※ 編集中に新規作成を行うと、保存を促すダイアログが表示されます。



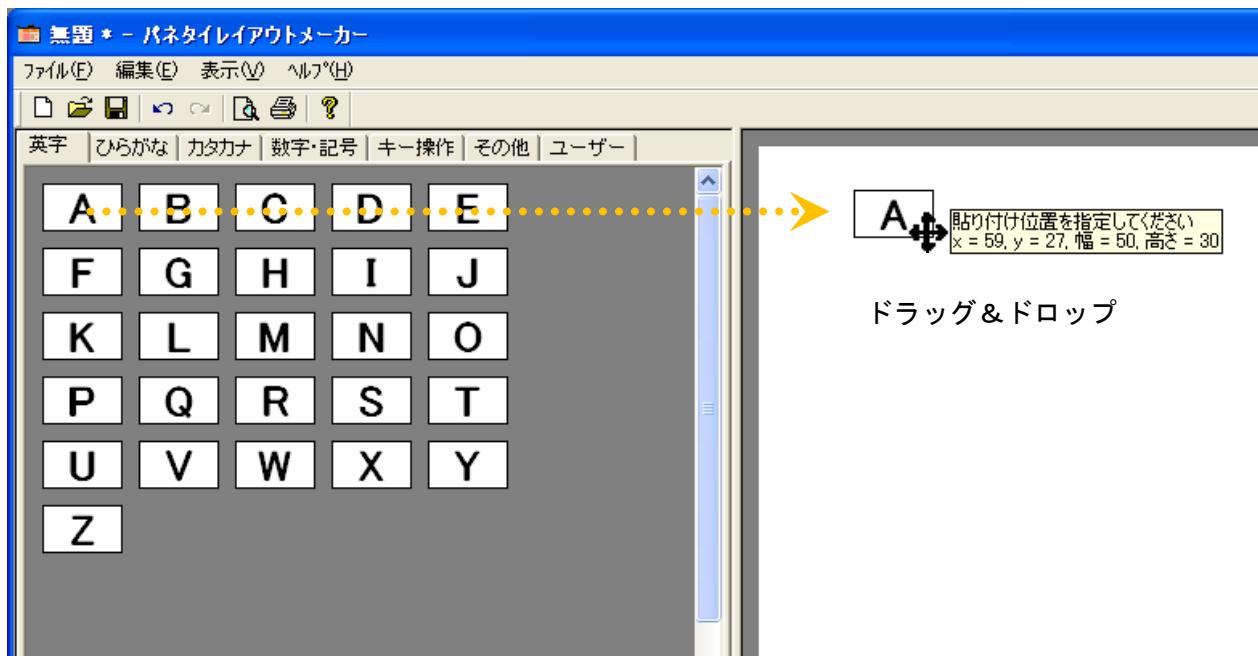
『はい』ボタンをクリック時、「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

『いいえ』ボタンをクリック時、保存せずに新規作成します。

『キャンセル』ボタンをクリック時、新規作成を中止し、レイアウト編集の画面に戻ります。

## [基本動作]

キー ボタンをマウスで ドラッグ & ドロップすることでボタンをレイアウト ウィンドウに貼り付けることができます。



### 3.1.2. レイアウトデータを開く

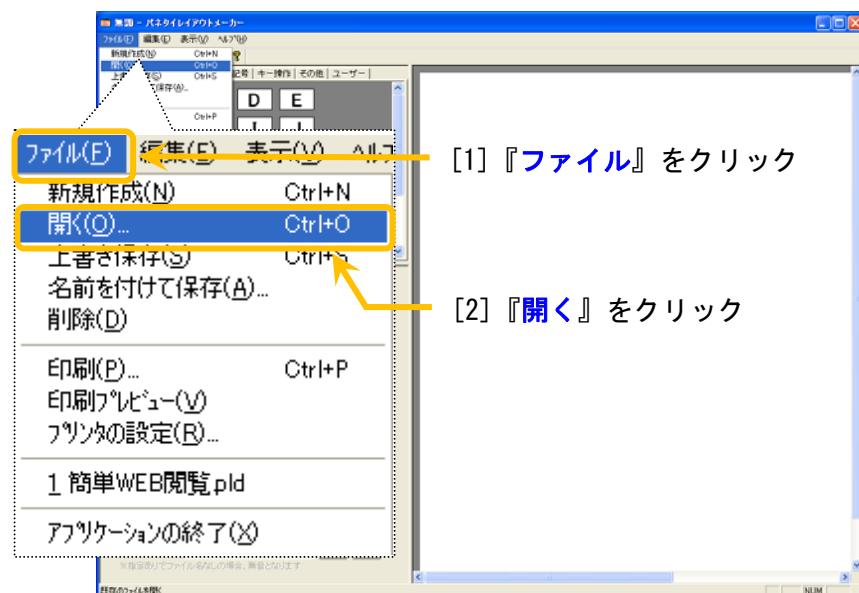
レイアウトデータを開く方法はファイル選択ダイアログから開く場合と以前開いたデータの履歴から開く方法があります。

詳細は [ 3.1.2.1 ファイルを選択して開く ]、[ 3.1.2.2 履歴から開く ] を参照してください。

#### 3.1.2.1. ファイルを選択して開く

保存しておいたレイアウトデータを開いて再編集します。

レイアウトデータを開くにはメニューの『ファイル』 → 『開く』をクリックします。



すると、レイアウト選択のダイアログが表示されます。

表示されたダイアログの「レイアウトリスト」からレイアウトを選択し、『OK』ボタンをクリックします。



選択したレイアウトが開き、編集可能になります。

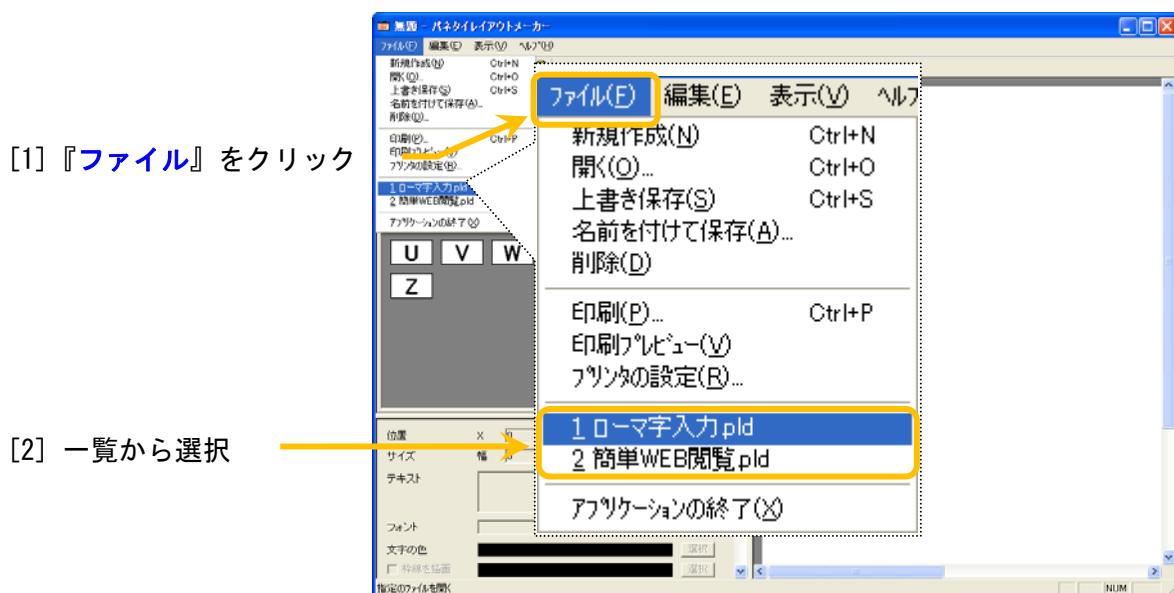
※ 保存せずに新たにレイアウトを開こうとすると、保存確認のダイアログ(3.1.3.2)が表示されます。

### 3.1.2.2. 履歴から開く

一度開いたことのあるレイアウトはメニューリストに履歴として表示されます。

ここから直接レイアウトを開くことも可能です。

履歴メニューの『ファイル』 → レイアウト一覧のレイアウトをクリックします。



選択したレイアウトが開き、編集可能になります。

※ 保存せずに新たにレイアウトを開こうとすると、保存確認のダイアログ(3.1.3.2)が表示されます。

※ レイアウト一覧に表示される数は、最大で4つまでです。

### 3.1.3. レイアウトデータの保存

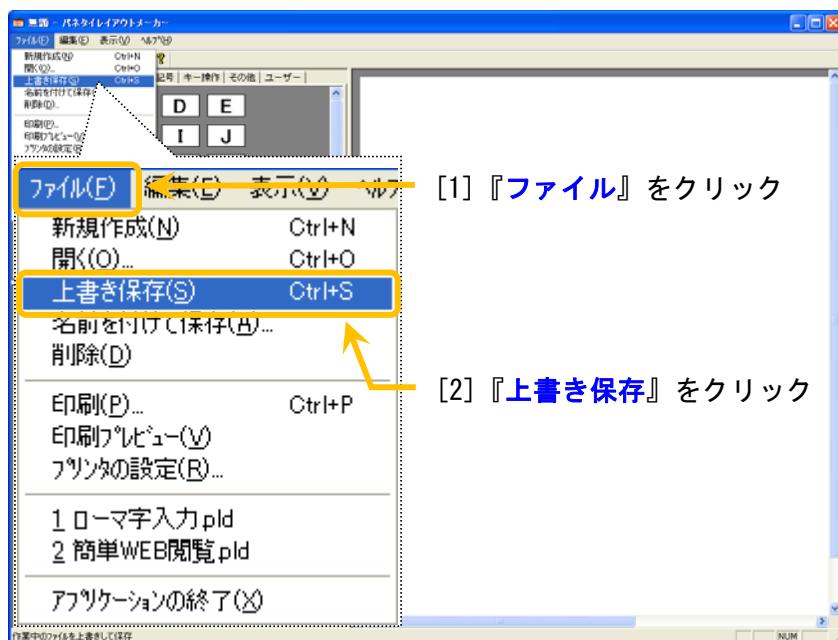
編集中のレイアウトを上書き保存したり、新しく保存したりすることができます。

詳細は [ 3.1.3.1 上書き保存する ]、[ 3.1.3.2 名前を付けて保存する ] を参照してください。

#### 3.1.3.1. 上書き保存する

既に作成されているレイアウトを上書き保存することができます。

上書き保存するにはメニューの『ファイル』 → 『上書き保存』をクリックします。



※ 編集中のレイアウトが上書きされます。

また、作成したレイアウトを1度も保存していない場合や、インストール時に作成されるレイアウトを編集した場合は、名前を付けて保存と同じ動作になります。(詳細は [ 3.1.3.2 名前を付けて保存する ] を参照)

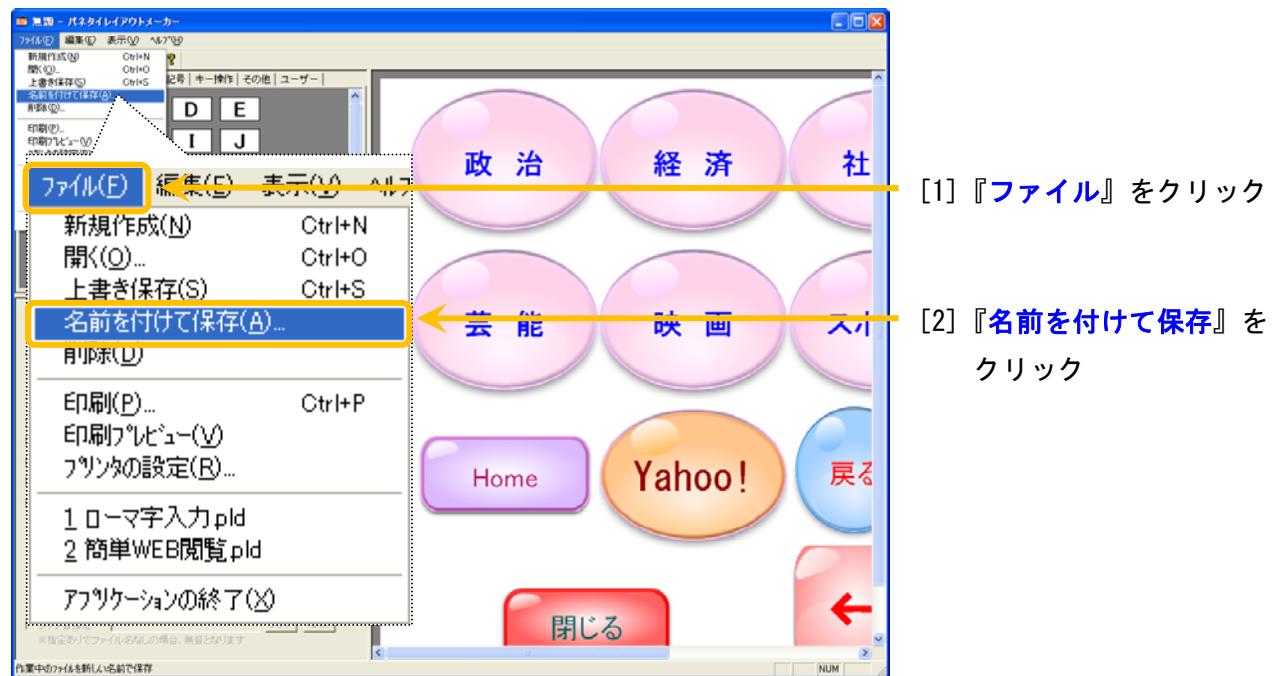
#### ＜注意＞

- デスクトップにショートカットがある場合、上書き保存直後は前のレイアウトのアイコンになっています。
- アイコンを更新したい場合はパソコンの再起動を行ってください。

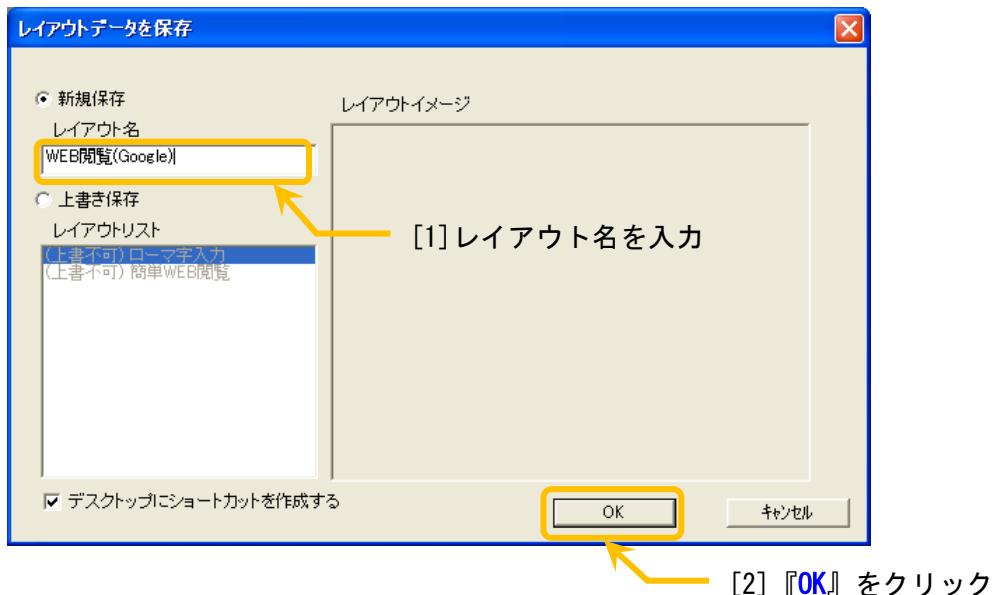
### 3.1.3.2. 名前を付けて保存する

編集中のレイアウトを新しく保存することができます。

新しくレイアウトデータを保存するにはメニューの『ファイル』→『名前を付けて保存』をクリックします。



すると、レイアウトデータ保存のダイアログが開きます。



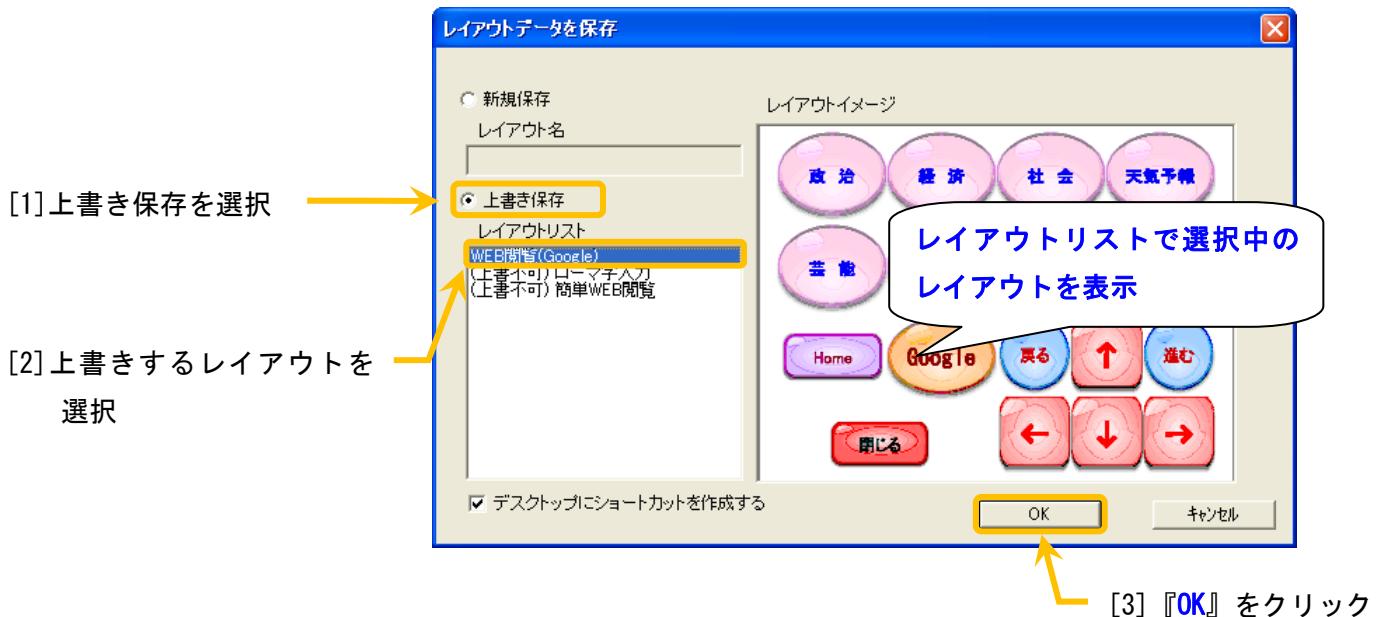
ここでレイアウトリストに存在しない名前を付けて、『OK』をクリックします。

ここで既にあるレイアウトと同じ名前を入力した場合は、上書き確認が行われます。

(詳細は [ 3.1.3.4 新規保存時に既にある名前を指定した場合 ]を参照)

[デスクトップにショートカットを作成する]がON(□)の場合はレイアウト変更のショートカットが作成されます。(詳細は [ 3.1.3.3 デスクトップのショートカットについて ]を参照)

また、上書き保存を選択した場合はレイアウトリストに選択されているレイアウトが上書きされます。



### 3.1.3.3. デスクトップのショートカットについて

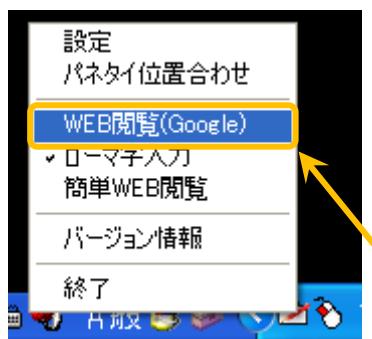
レイアウトデータを保存ダイアログにある「デスクトップにショートカットを作成する」のチェックボックスがON(□)の場合、レイアウトの切り替えを簡単に行うことができるショートカットが作成されます。

※ このショートカットはパネタイレイアウトメーカーを起動したアカウントのデスクトップのみに作成されます。

他のアカウントでショートカットを作成したい場合は、ショートカットをコピーするか、そのアカウントでレイアウトを上書き保存してください。

別のアカウントのデスクトップにショートカットをコピーするためには管理者権限が必要になります。

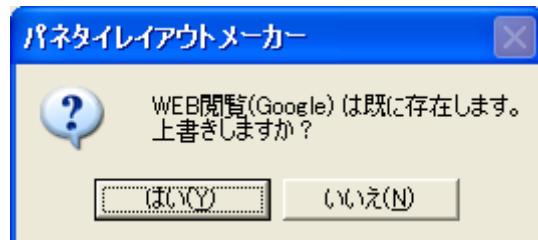
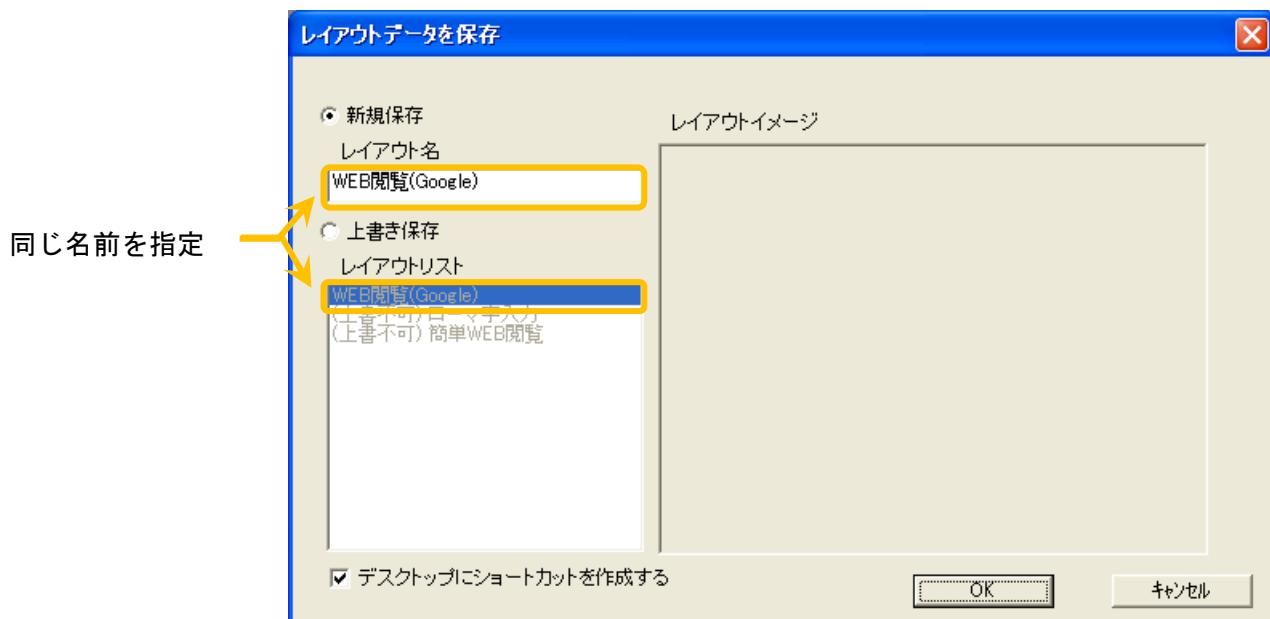
また、ショートカットを作成しない場合でも、タスクバーのアイコンでの切り替えは可能です。



ショートカットの有無に関わらず保存するとここに追加されます。  
※ 全員のアカウントで共通

### 3.1.3.4. 新規保存時に既にある名前を指定した場合

※ 名前を付けて保存のダイアログで、新規保存のレイアウト名にレイアウトリストに表示されているレイアウト名を指定すると、上書き確認が行われます。

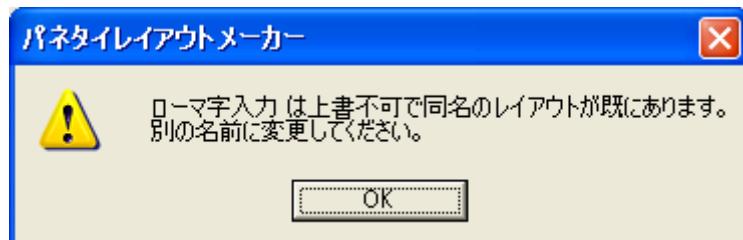


『はい』ボタンをクリック時、既にあるレイアウトに現在のレイアウトが保存されます。

『いいえ』ボタンをクリック時、保存ダイアログに戻ります。

※ パネタイシリーズのインストールを行った時に含まれるレイアウトには、名前の先頭に(上書き不可)が付いています。

これらと同じレイアウト名前を指定した場合は下記のようなメッセージが表示されて保存できません。



これらのレイアウトとは違う名前で保存してください。

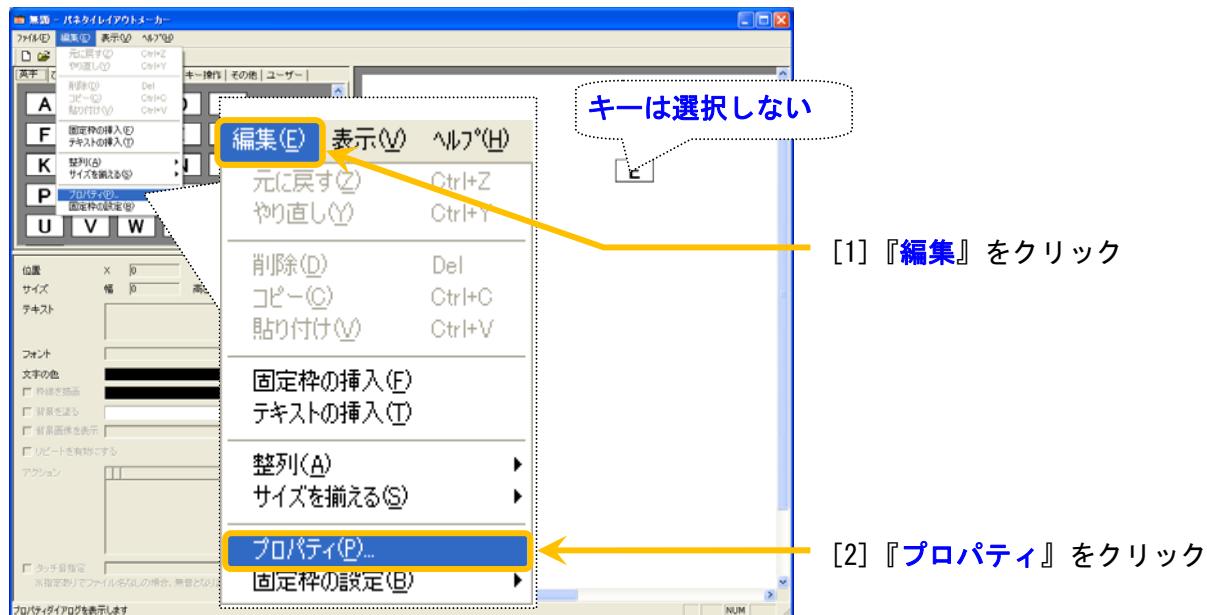
### 3.1.4. レイアウトプロパティ

レイアウトプロパティで編集中のレイアウトの背景を変更することができます。

レイアウトプロパティを開くには、メニューから開く方法（3.1.4.1）、右クリックから開く方法（3.1.4.2）、ダブルクリックから開く方法（3.1.4.3）があります。

#### 3.1.4.1. メニューから開く

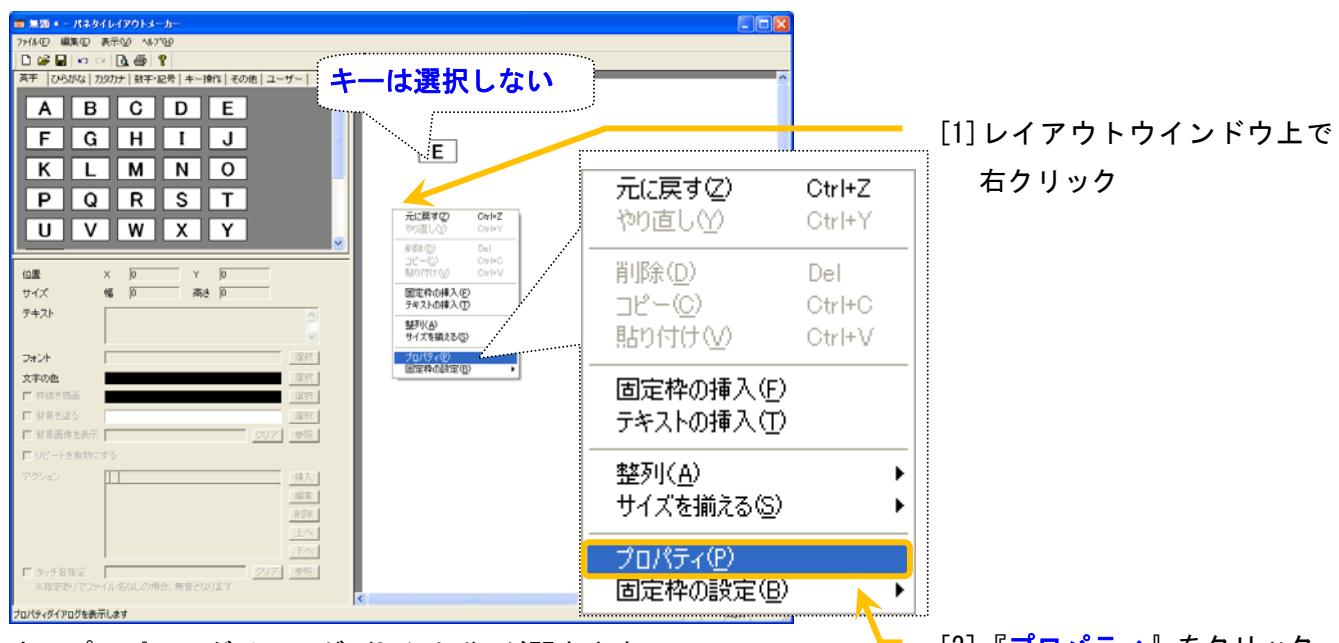
キーなどが選択されていない状態で、メニューの『編集』→『プロパティ』をクリックします。



レイアウトプロパティダイアログ（3.1.4.4）が開きます。

#### 3.1.4.2. 右クリックから開く

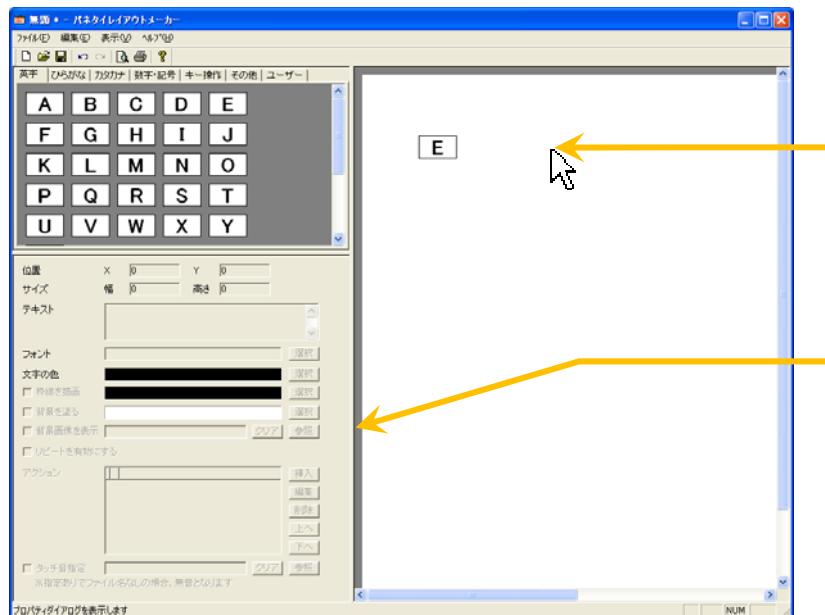
キーなどが選択されていない状態で、レイアウトウィンドウ上で右クリックし、『プロパティ』をクリックします。



レイアウトプロパティダイアログ（3.1.4.4）が開きます。

### 3.1.4.3. ダブルクリックから開く

レイアウトウインドウの余白部分か、なにもない部分でダブルクリックします。



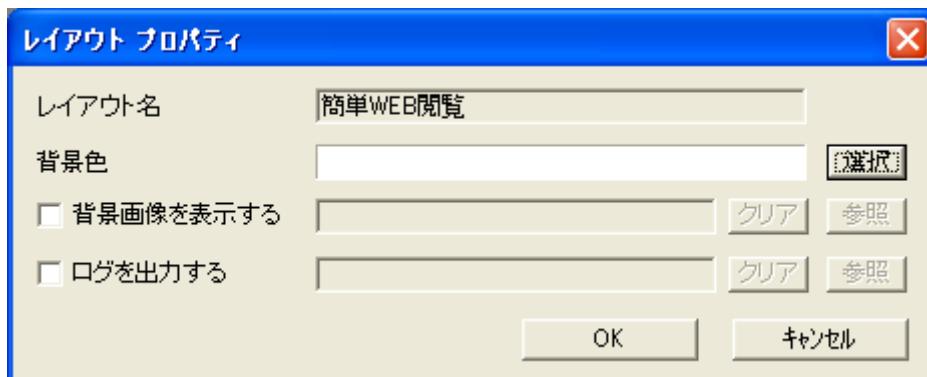
『なにもない部分』で  
ダブルクリック

『余白部分』で  
ダブルクリック

レイアウトプロパティダイアログ (3.1.4.4) が開きます。

### 3.1.4.4. レイアウトプロパティダイアログ

レイアウトの背景および、ログ出力有無を変更します。



このダイアログで背景色、背景画像、ログ出力を変更して、『OK』ボタンをクリックすると内容が変更されます。

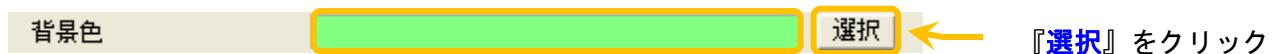
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。

詳細は [ ① 背景色変更 ]、[ ② 背景画像変更 ]、[ ③ ログ出力設定 ] を参照してください。

※ レイアウト名はレイアウト作成時にファイル名としてのみ指定でき、後から変更できません。

## ① 背景色変更

[背景色]の内容を変更すると背景の色を変更することができます。



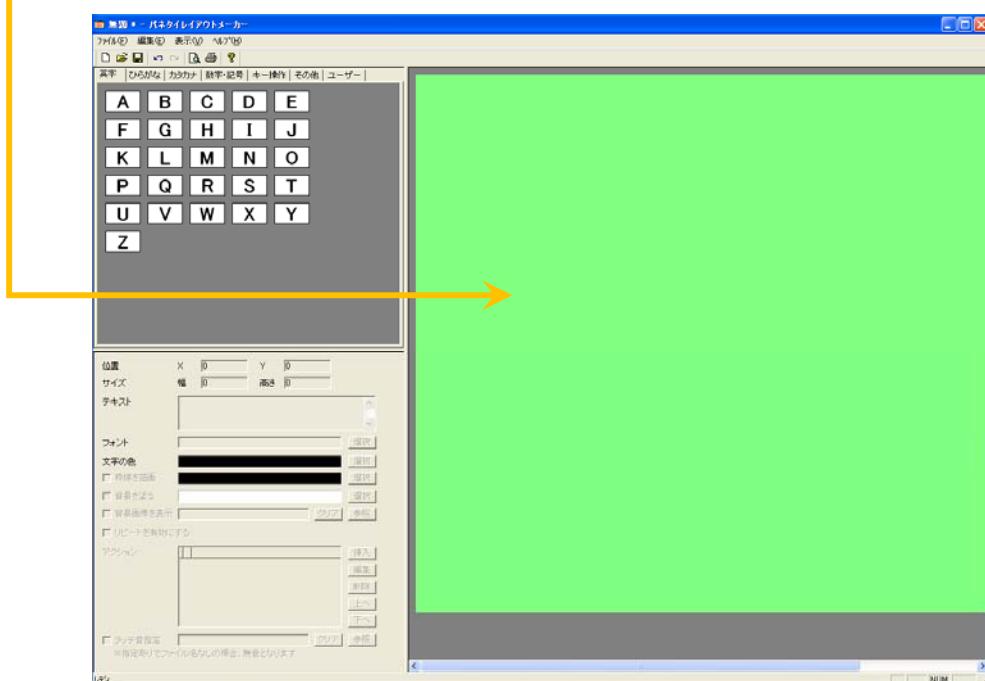
色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで色を選択し、『OK』ボタンをクリックすることで背景色が指定されます。

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



## ② 背景画像変更

[背景画像を表示する]の内容を変更すると背景に画像を設定する・しないを変更することができます。

背景画像を表示する  クリア 参照 

ON(□) … 背景画像を使用する (※)

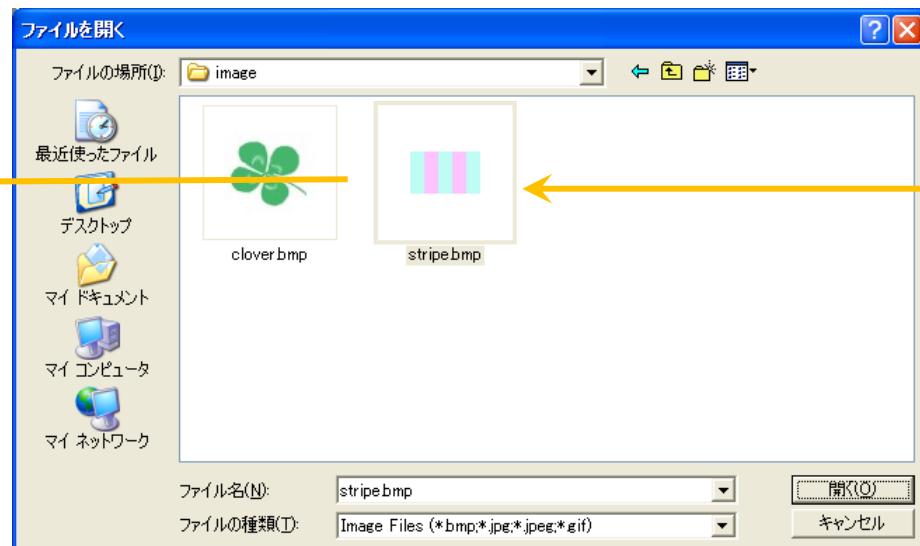
OFF(□) … 背景画像を使用しない

※ 背景画像指定時は背景色の指定は無視されます。

設定したファイルを取り消したい場合は『クリア』ボタンをクリックしてください。

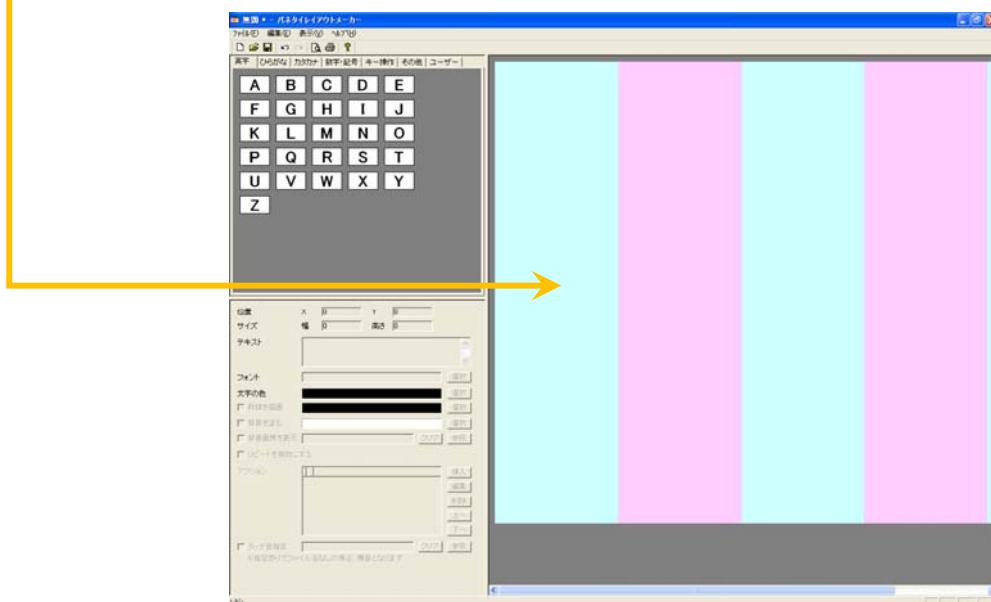
背景画像を設定するにはチェックをON(□)にしてから右にある『参照』ボタンをクリックします。

すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。



ここで画像を選択し、『開く』ボタンをクリックすることで背景画像が指定されます。

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



※ 画像とレイアウトの縦横比が異なる場合は、領域いっぱいに画像が引き伸ばされます。

### ③ ログ出力設定

[ログを出力する]の内容を変更するとログ出力を設定する・しないを変更することができます。

ログ出力の対象はエリアプロパティのアクションに「URL」「ファイル実行」が含まれているキーとなります。

ログを出力する  クリア 参照  『参照』をクリック

ON() … ログ出力を行う

OFF() … ログ出力を行わない

設定したフォルダを取り消したい場合は『クリア』ボタンをクリックしてください。

ログ出力を行うフォルダを設定するにはチェックをON()にしてから右にある『参照』ボタンをクリックします。すると、「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。



ここでログ出力するフォルダを選択し『OK』ボタンをクリックすることでログ出力先フォルダが指定されます。また、『キャンセル』ボタンをクリックするとログ出力先フォルダの選択が中断されます。

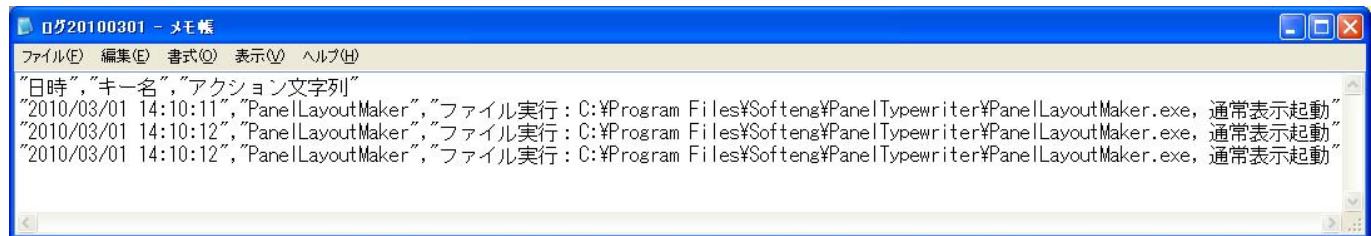
選択されたフォルダ内に、[レイアウト名 + 日付]の形式でログ出力が行われます。

例：レイアウト名が”ログ”で日付が“2010/3/1”的場合

ファイル名が「ログ 20100301.log」のログファイルが作成されます。

※ 出力されたログファイルは自動では削除されませんので、不要となったログファイルは手動で削除してください。

出力されたログを開くと、下記の形式(csv)でログ表示が行われます。



ログ20100301 - メモ帳

ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

"日時", "キー名", "アクション文字列"  
"2010/03/01 14:10:11", "Panel\LayoutMaker", "ファイル実行: C:\Program Files\Softeng\Panel\Typewriter\Panel\LayoutMaker.exe, 通常表示起動"  
"2010/03/01 14:10:12", "Panel\LayoutMaker", "ファイル実行: C:\Program Files\Softeng\Panel\Typewriter\Panel\LayoutMaker.exe, 通常表示起動"  
"2010/03/01 14:10:12", "Panel\LayoutMaker", "ファイル実行: C:\Program Files\Softeng\Panel\Typewriter\Panel\LayoutMaker.exe, 通常表示起動"

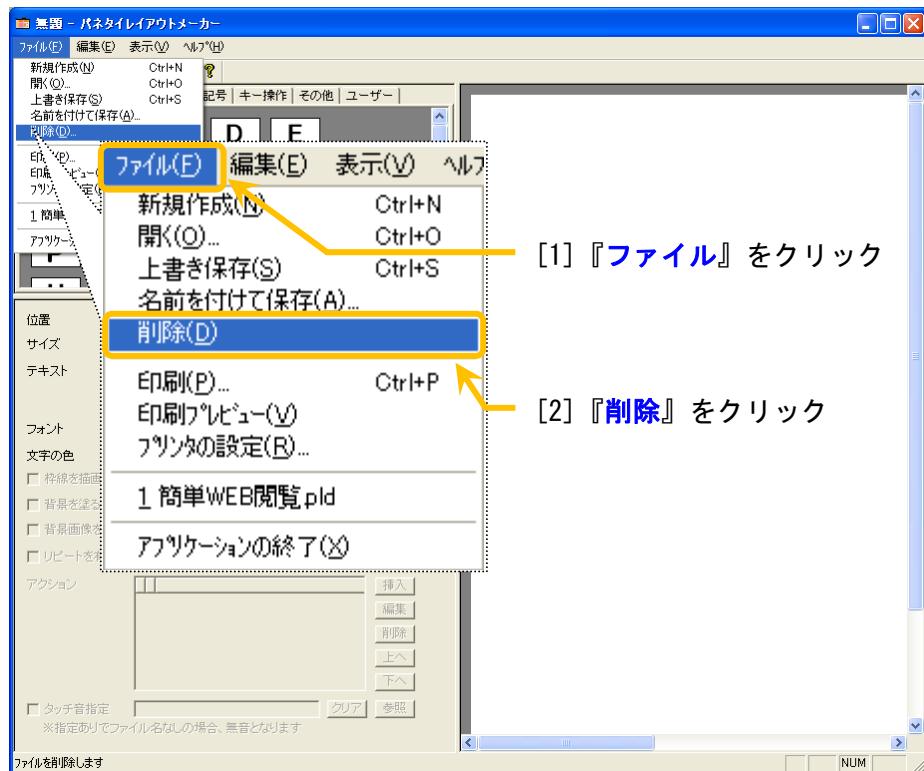
出力されるログは、「日時」、「キー名」、「アクション文字列」が表示されています。

- |          |   |
|----------|---|
| 日時       | … 西暦/月/日 時:分:秒 の形式で出力されます。                |
| キー名      | … キーのエリアプロパティで設定したテキスト文字列が出力されます。         |
| アクション文字列 | … キー操作を行った時の、「URL」、「ファイル実行」のアクションが出力されます。 |

### 3.1.5. レイアウトデータの削除

不要になったレイアウトを削除します。

削除するにはメニューの『ファイル』 → 『削除』をクリックします。



すると、レイアウトデータ削除ダイアログが表示されます。



ここでレイアウトリストから削除したいレイアウトを削除候補リストに移動させ(移動方法の詳細は[3.1.5.1 削除対象レイアウトの移動]参照)、『OK』をクリックすると確認メッセージ(3.1.5.2)が表示されますので『はい』をクリックします。

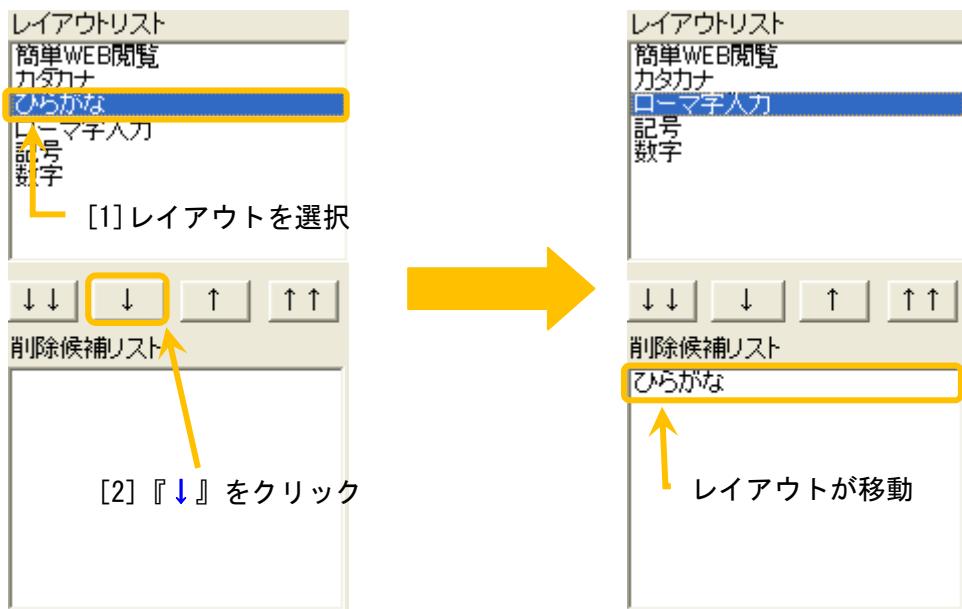
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。

### 3.1.5.1. 削除対象レイアウトの移動

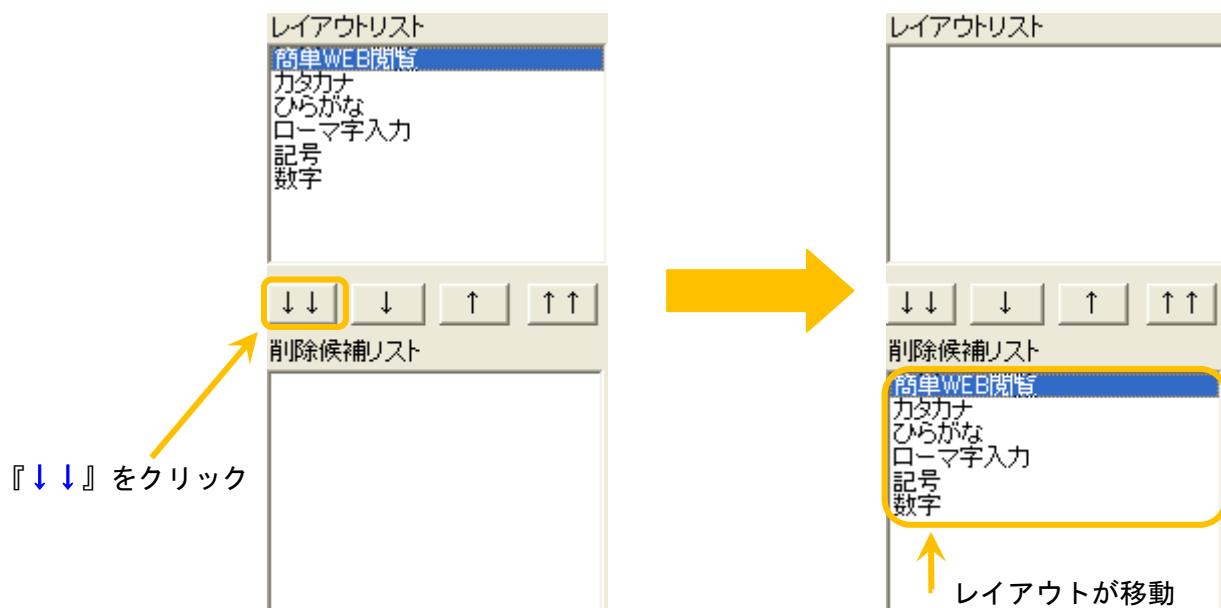
削除候補リストへの移動方法はレイアウトリストから削除したいレイアウトを選択して『↓』を、全てのレイアウトを削除候補リストへ移動させたい場合は『↓↓』をクリックします。

また、削除候補リストのレイアウトをレイアウトリストに戻したい場合は戻したい削除したいレイアウトを選択して『↑』を、全てのレイアウトをレイアウトリストへ移動させたい場合は『↑↑』をクリックします。

選択して削除候補リストへ移動



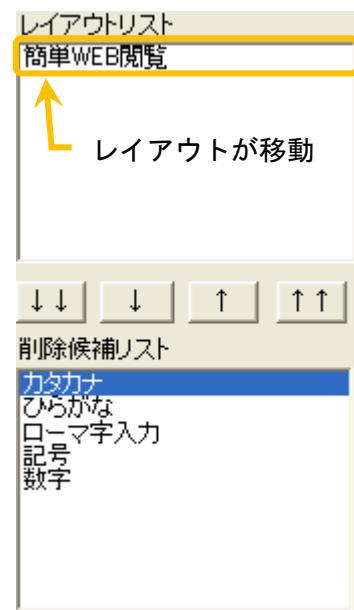
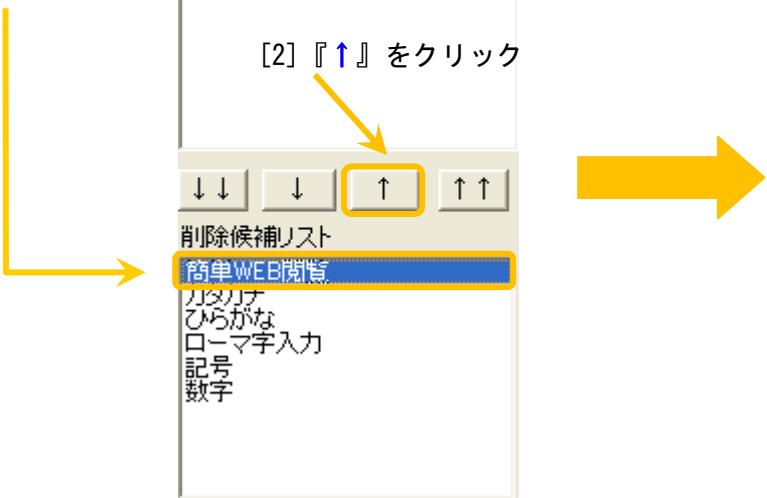
全てのレイアウトを削除候補リストへ移動



### 選択してレイアウトリストへ移動

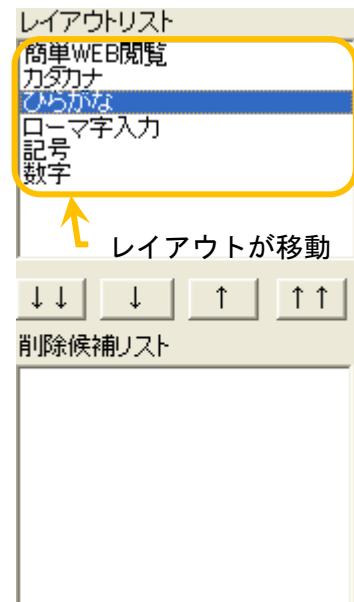
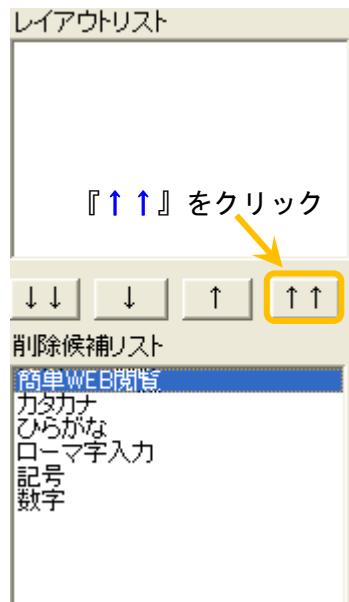
[1] レイアウトを選択

[2] 『↑』をクリック

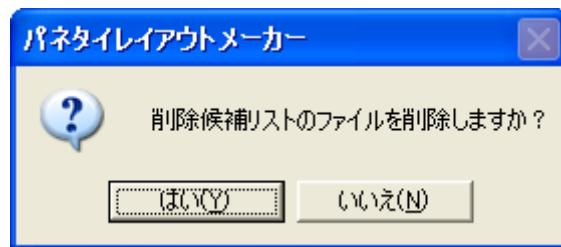


### 全てのレイアウトをレイアウトリストへ移動

『↑↑』をクリック



### 3.1.5.2. 削除確認

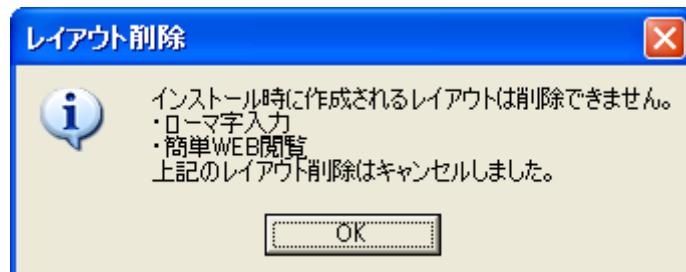


『はい』ボタンをクリック時、削除候補リストのレイアウトが削除されます。

『いいえ』ボタンをクリック時、削除ダイアログに戻ります。

#### ＜注意＞

- パネタイシリーズのインストールを行った時に作成されるレイアウトは、削除することができません。  
以下のメッセージが表示されます。



※ 複数削除時に、パネタイシリーズのインストールを行った時に作成されるレイアウトが混じっている場合は、それ以外のレイアウトのみ削除されます。

### 3.2. キーの設定

レイアウトにキーを配置します。

詳細は [ 3.2.1 キーの配置 ]、[ 3.2.2 キーの移動・サイズ変更 ]、[ 3.2.4 エリアプロパティダイアログを使用してのキーのプロパティ変更 ] を参照してください。

#### 3.2.1. キーの配置

キーをドラッグ&ドロップ（選択した状態でマウスの左ボタンを押したままマウスを移動させ、配置したい場所でボタンを離す）することでレイアウトウィンドウにキーを追加します。



#### 3.2.2. キーの移動・サイズ変更

キーのサイズを変更します。

キーの枠付近にカーソルを移動させるとキーの形状が以下のように変化します。



マウスカーソルが移動(+)や拡大・縮小(↑・↓・←・→)に変化します。

この状態でドラッグ&ドロップを行うことで移動やサイズ変更をすることができます。

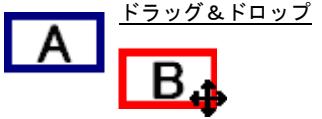
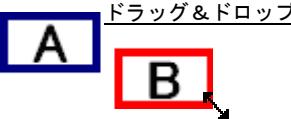
キーを移動	キーの拡大・縮小
 枠内にカーソルを置いて ドラッグ & ドロップ	 枠上にカーソルを置いて ドラッグ & ドロップ

キーの移動・サイズ変更は複数のキーを同時に行うこともできます。

Ctrl キーを押しながら複数のキーをクリックすると、キーの形状が以下のように変化します。



この状態で Ctrl キーを押しながらドラッグを開始することで複数キーの移動やサイズ変更をすることができます。

複数キーを移動	複数キーの拡大・縮小
 枠内にカーソルを置いて Ctrl+ドラッグ & ドロップ	 枠上にカーソルを置いて Ctrl+ドラッグ & ドロップ

また、お使いのキーボードにあるカーソルキーを使用してもキーを移動することができます。



カーソルキーを使用することで細かなキー移動を行うことができます。

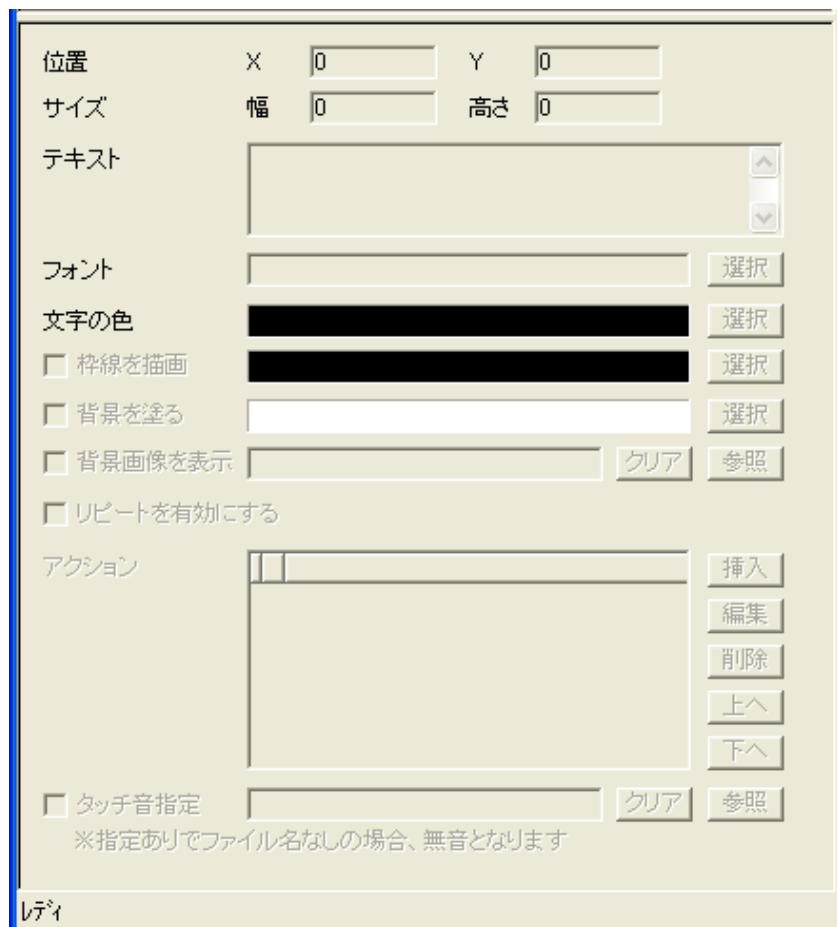
キーの移動	複数キーの移動
 キーを選択状態にして カーソルキー押下	 複数キーを選択状態にして カーソルキー押下

### 3.2.3. プロパティウィンドウを使用してのキーのプロパティ変更

プロパティウィンドウにてキーに表示されている文字や色、背景を変更します。

また、複数のキーを同時に変更したい場合は [ 3.6 複数選択によるプロパティ一括変更 ] を参照してください。

#### 3.2.3.1. プロパティウィンドウ



ここで内容の変更を行うと、即座にテキストが変更されます。

各項目の詳細は [ 3.2.4.7 テキスト(表示文字)変更 ]、[ 3.2.4.8 フォント変更 ]、[ 3.2.4.9 文字の色変更 ]、[ 3.2.4.10 枠線の表示・非表示 ]、[ 3.2.4.11 背景色の指定 ]、[ 3.2.4.12 背景画像の設定 ]、[ 3.2.4.13 リピート設定 ]、[ 3.2.4.14 アクション設定 ]、[ 3.2.4.15 タッチ音の設定 ] を参照してください。

### 3.2.4. エリアプロパティダイアログを使用してのキーのプロパティ変更

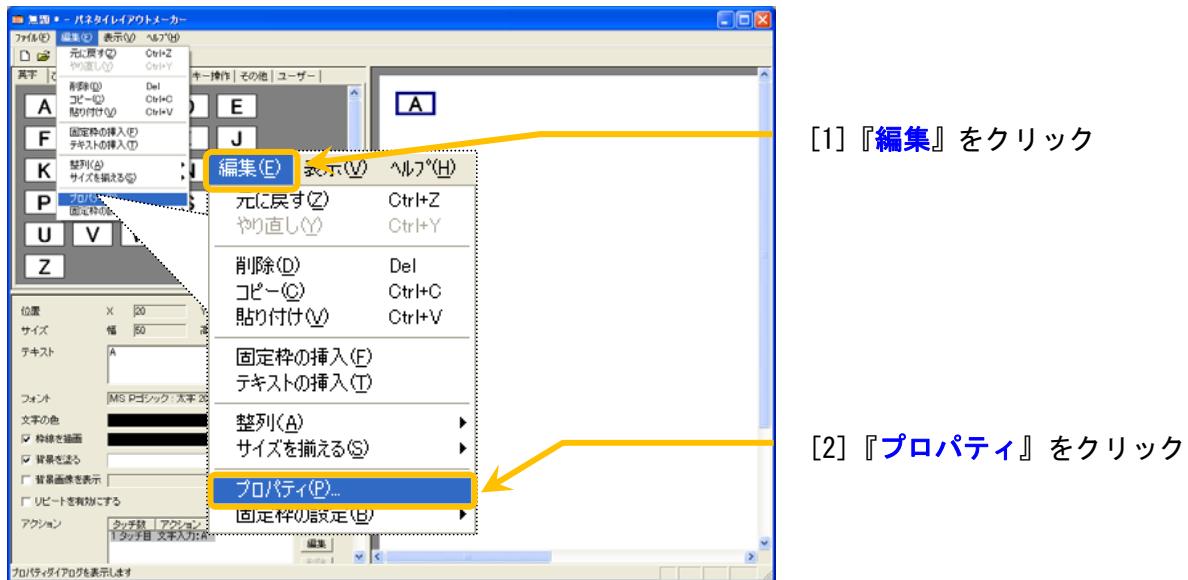
プロパティダイアログにてキーに表示されている文字や色、背景を変更することができます。

プロパティダイアログ表示方法は、メニューから表示 (3.2.4.1) と右クリックから表示 (3.2.4.2)、ダブルクリックから表示 (3.2.4.3) の 3 通りあります。

また、複数のキーを同時に変更したい場合は [ 3.6 複数選択によるプロパティ一括変更 ] を参照してください。

### 3.2.4.1. メニューから表示

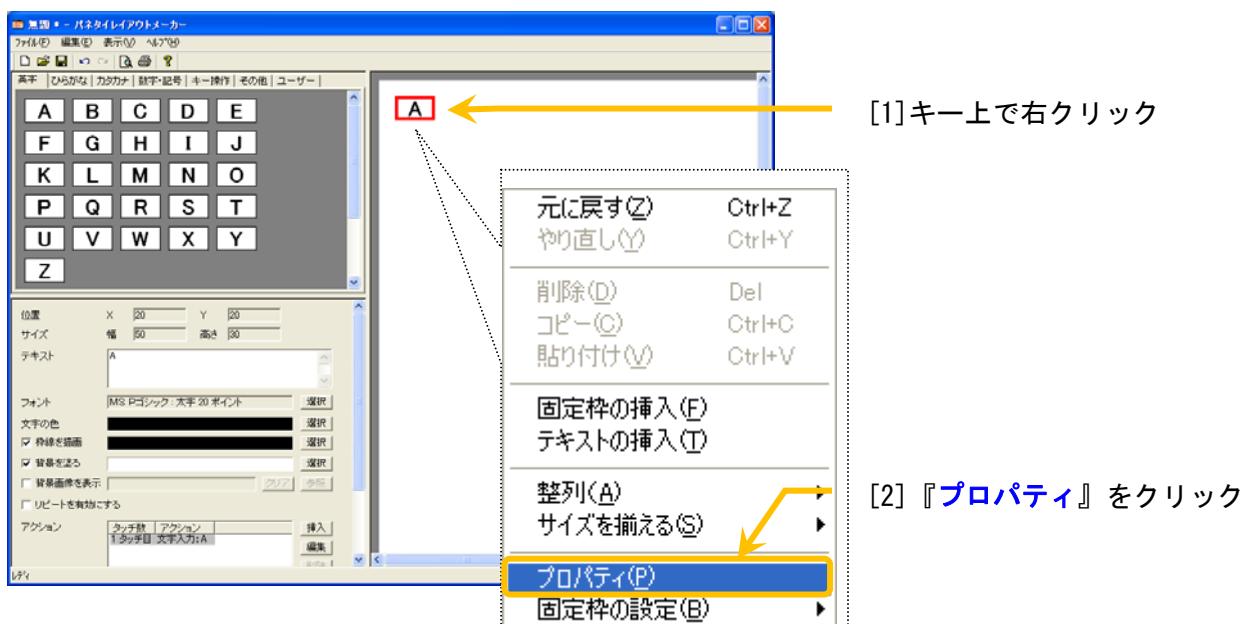
キーをクリックにて選択した状態でメニューの『編集』→『プロパティ』をクリックします。



すると、エリアプロパティダイアログ(3.2.4.4)が表示されます。

### 3.2.4.2. 右クリックから表示

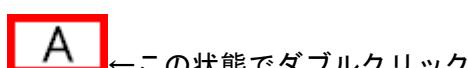
キー上で右クリックし、『プロパティ』をクリックします。



すると、エリアプロパティダイアログ(3.2.4.4)が表示されます。

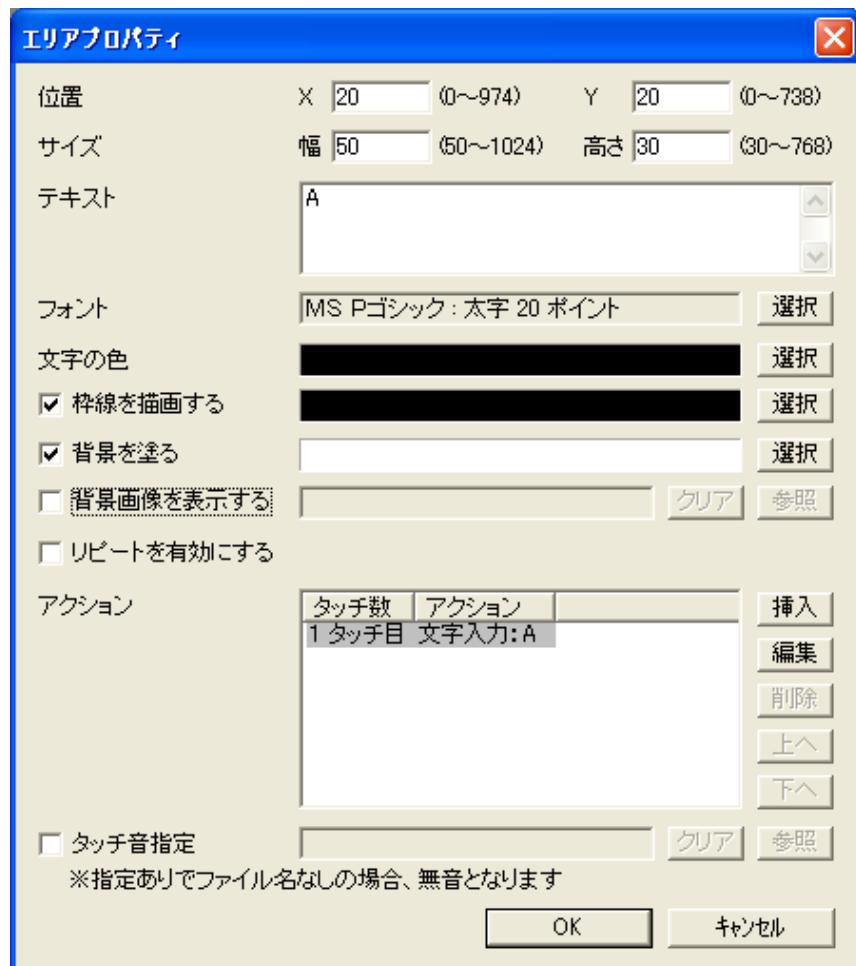
### 3.2.4.3. ダブルクリックから表示

キーの枠付近にカーソルを移動させるとキーの形状が以下のように変化します。



この状態でダブルクリックすると、エリアプロパティダイアログ(3.2.4.4)が表示されます。

### 3.2.4.4. エリアプロパティダイアログ



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることでキーが実際に変更されます。  
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。

各項目の詳細は [ 3.2.4.5 位置変更 ]、[ 3.2.4.6 サイズ変更 ]、[ 3.2.4.7 テキスト(表示文字)変更 ]、  
[ 3.2.4.8 フォント変更 ]、[ 3.2.4.9 文字の色変更 ]、[ 3.2.4.10 枠線の表示・非表示 ]、[ 3.2.4.11 背景色の指定 ]、  
[ 3.2.4.12 背景画像の設定 ]、[ 3.2.4.13 リピート設定 ]、[ 3.2.4.14 アクション設定 ]、  
[ 3.2.4.15 タッチ音の設定 ] を参照してください。

### 3.2.4.5. 位置変更

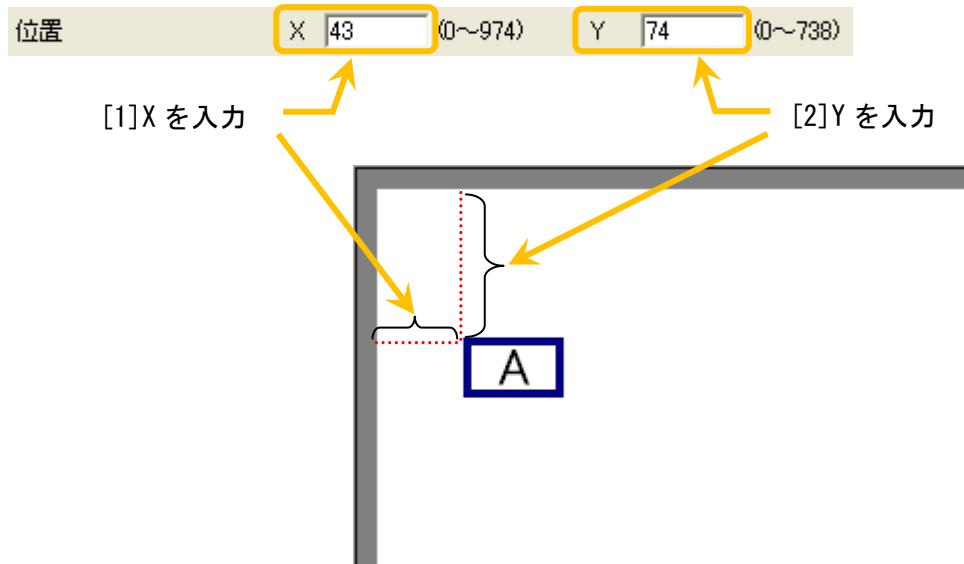
[位置]の値を変更するとキーの場所を変更することができます。

X…レイアウトの左端からの距離(横)

0 から 974 までの数値を入力します。

Y…レイアウトの上端からの距離(縦)

0 から 738 までの数値を入力します。



### 3.2.4.6. サイズ変更

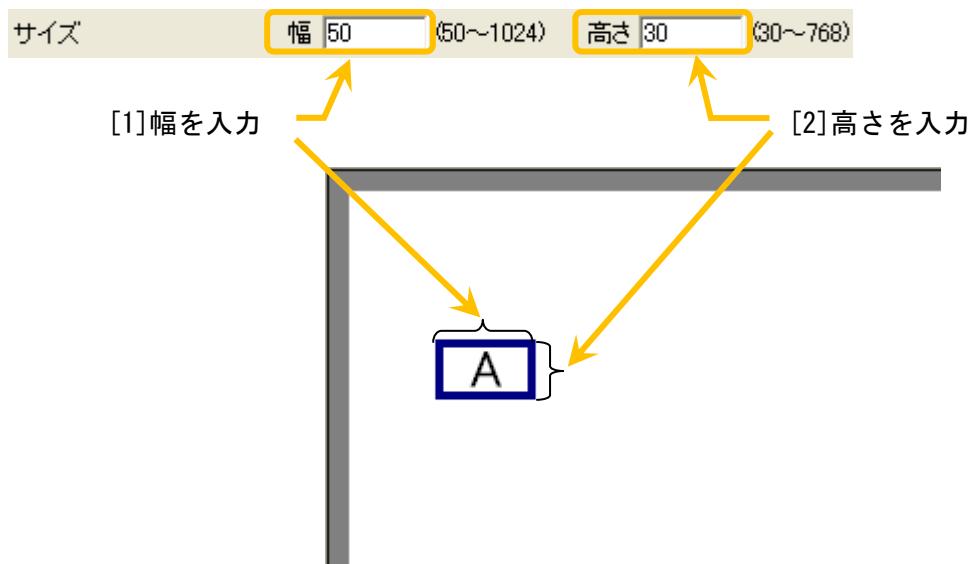
[サイズ]の値を変更するとキーの大きさを変更することができます。

幅…キーの横幅

50 から 1024 の数値を入力します。

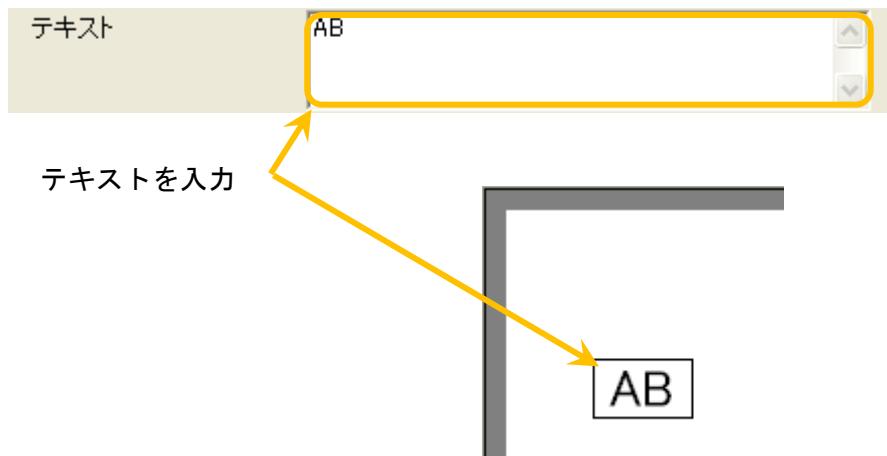
高さ…キーの高さ

30 から 768 の数値を入力します。



### 3.2.4.7. テキスト(表示文字)変更

[テキスト]の内容を変更するとキーに表示されている文字を変更します。

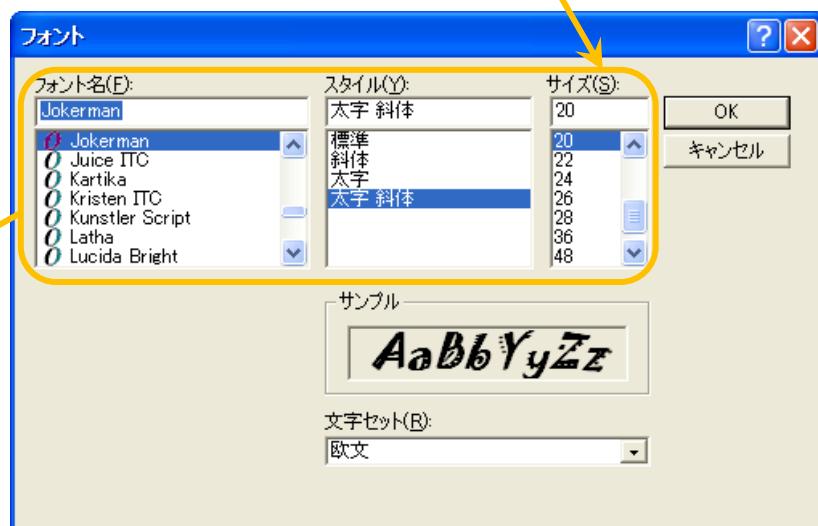


### 3.2.4.8. フォント変更

[フォント]の内容を変更するとキーに表示されている文字のフォントを変更します。

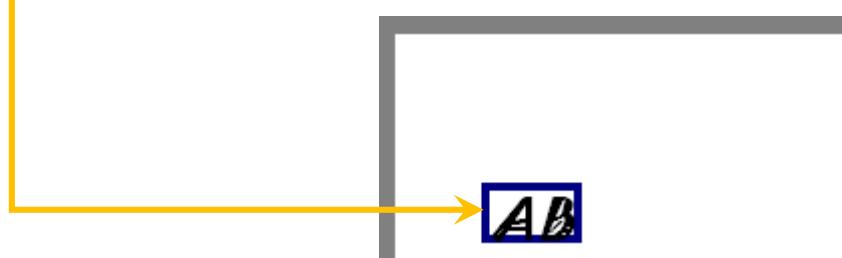
変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

すると、フォントダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることでフォントが変更されます。

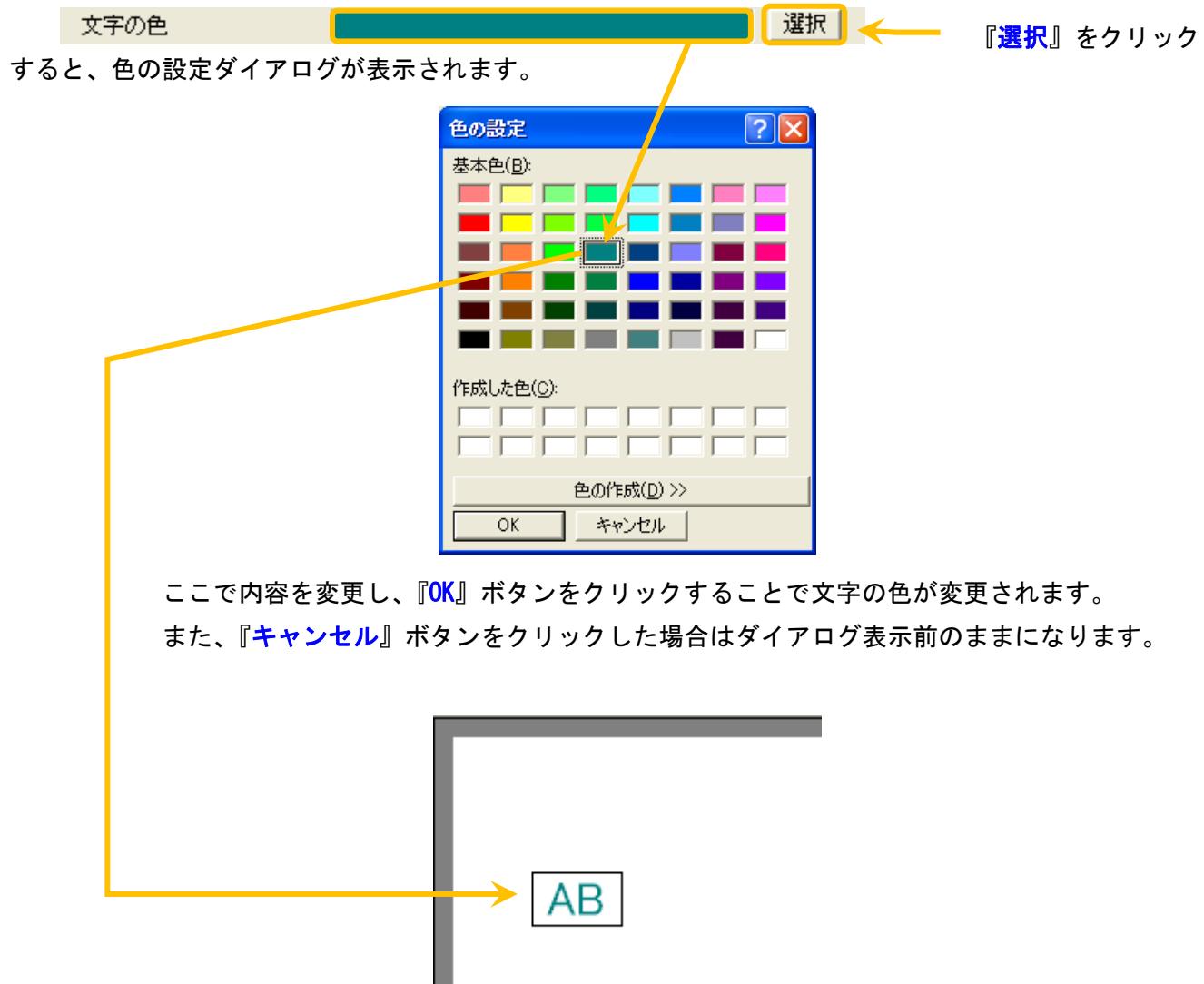
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.2.4.9. 文字の色変更

[文字の色]の内容を変更するとキーに表示されている文字の色を変更します。

色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。



### 3.2.4.10. 枠線の表示・非表示

[枠線を描画する]の内容を変更すると枠線の色や表示する・しないを変更することができます。

枠線を描画する 選択 『選択』をクリック

ON(□) … 枠線を表示

OFF(□) … 枠線を非表示

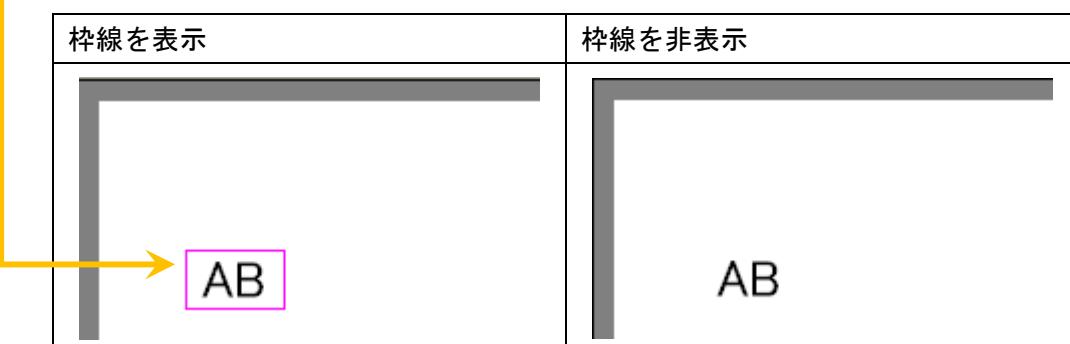
色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで枠線の色が変更されます。

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.2.4.11. 背景色の指定

[背景を塗る]の内容を変更すると背景の色や背景を塗る・塗らないを変更することができます。



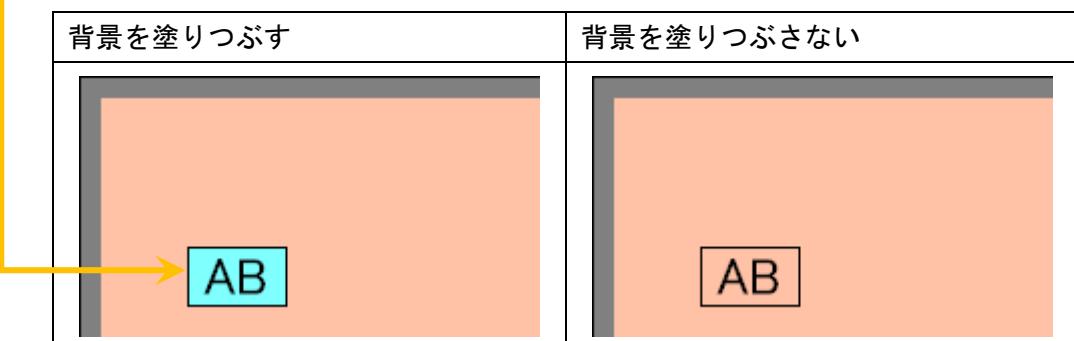
色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで背景の色が変更されます。

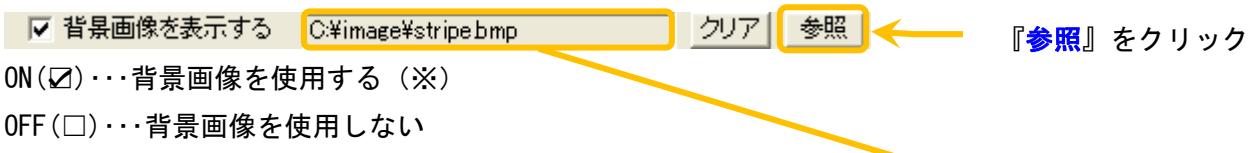
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



※ 背景を塗りつぶさない場合、レイアウトの背景色で塗りつぶされます。

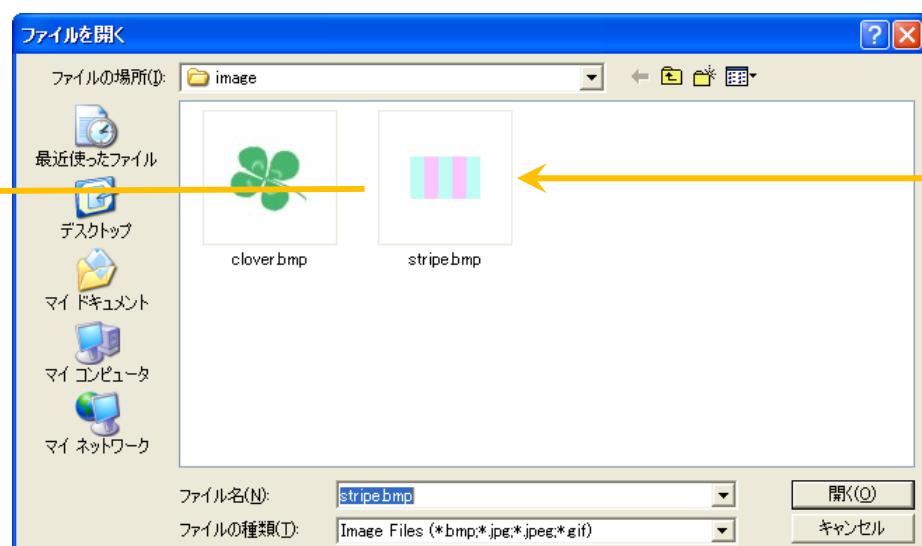
### 3.2.4.12. 背景画像の設定

[背景画像を表示する]の内容を変更すると背景に画像を設定する・しないを変更することができます。

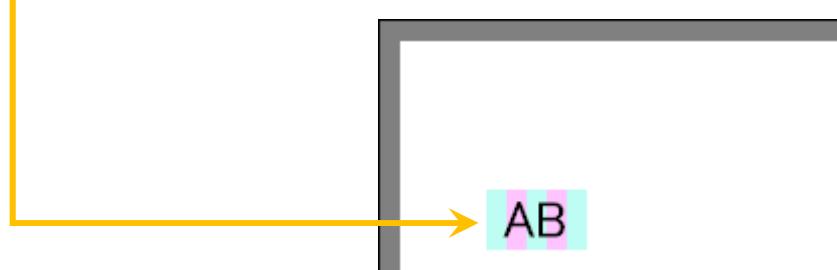


設定したファイルを取り消したい場合は『クリア』ボタンをクリックします。

背景画像を設定するにはチェックをON(□)にしてから右にある『参照』ボタンをクリックします。すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。



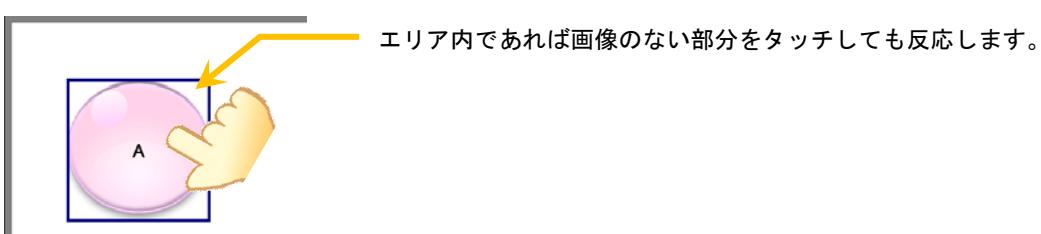
ここで画像を選択し、『開く』ボタンをクリックすることで背景画像が指定されます。また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



※ 画像とキーの縦横比が異なる場合も領域いっぱいに引き伸ばされます。

#### <注意>

- 四角以外の画像を設定した場合でも、タッチしてアクションが行われる範囲は変わりません。



### 3.2.4.13. リピート設定

[リピートを有効にする]の内容を変更するとキーを長押しされた場合にアクションを繰り返す・繰り返さないを変更することができます。

リピートを有効にする

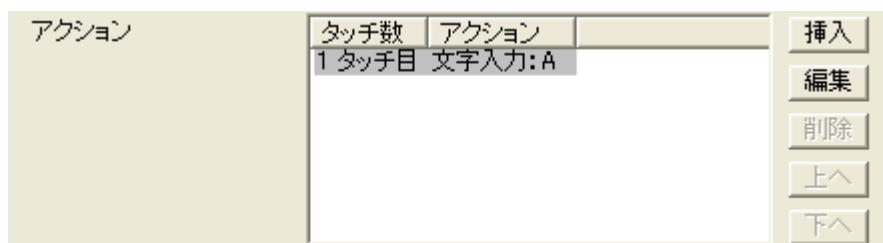
ON() … キーを長押しにアクションを繰り返す

OFF() … キーを長押しにアクションを繰り返さない

### 3.2.4.14. アクション設定

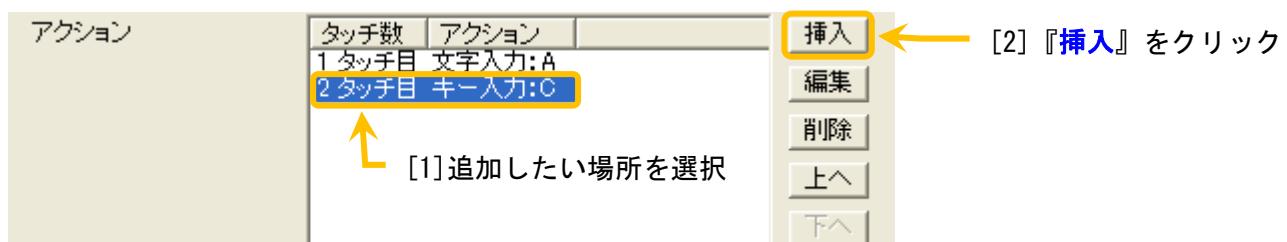
[アクション]の内容を変更するとキーをタッチされた場合に実行されるアクションを変更、追加、削除、実行順の変更を行うことができます。

詳細は [① アクション挿入]、[② アクション編集]、[③ アクション削除]、[④ アクション並び替え]、[⑤ アクションデータ編集]を参照してください。

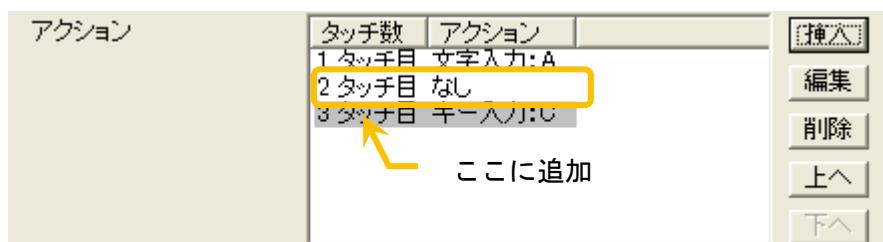


#### ① アクション挿入

新しくアクションを追加したい場合は、リストから追加したい場所を選択して『挿入』をクリックします。

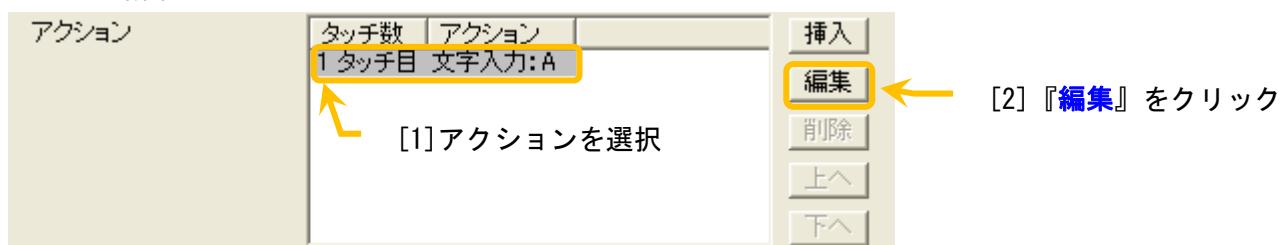


すると、選択した行の上にアクション「なし」の行が追加されます。

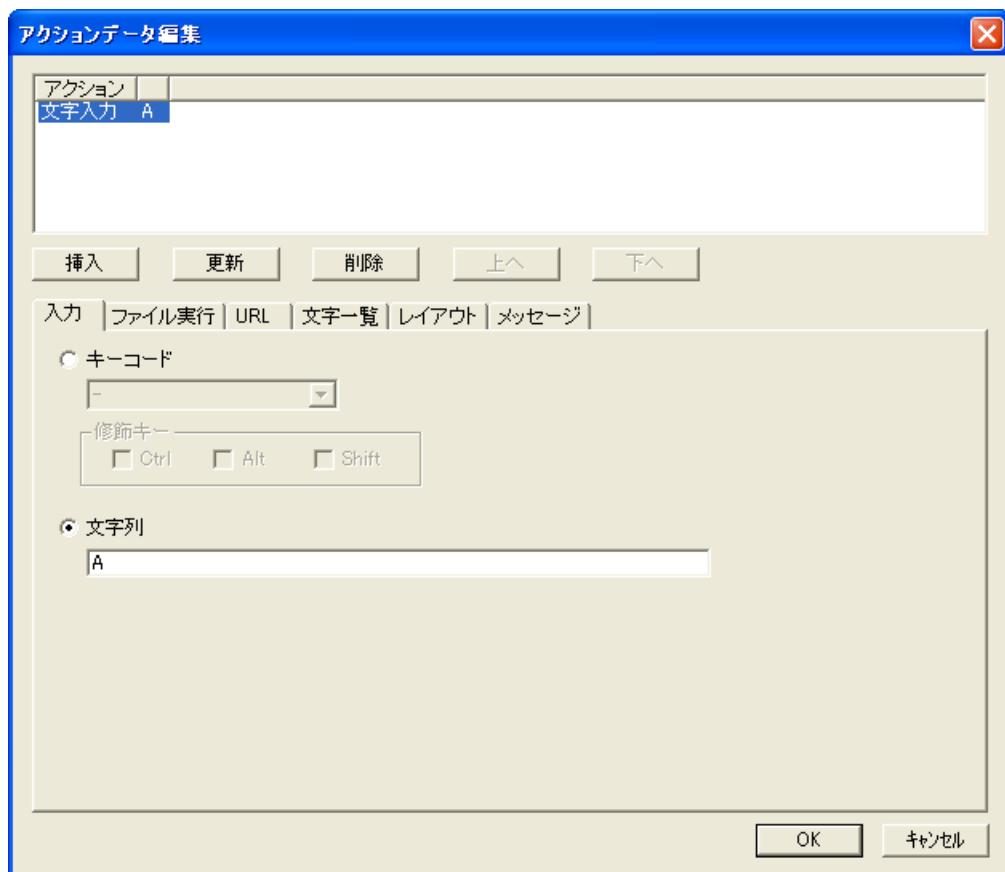


## ② アクション編集

挿入したアクションや既に設定されているアクションを変更したい場合は、リストから変更したいアクションを選択して『編集』をクリックします。



すると、アクションデータ編集ダイアログが表示されます。

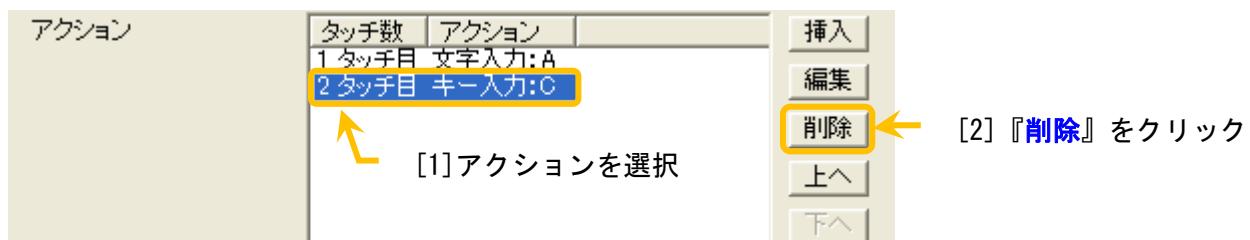


ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることでアクションが変更されます。

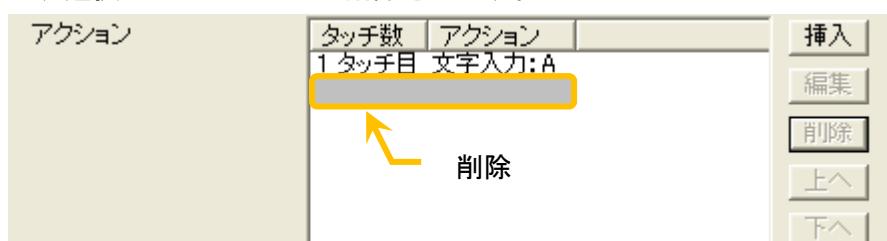
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。

### ③ アクション削除

既にあるアクションを削除したい場合はリストからアクションを選択して『削除』をクリックします。



すると、選択したアクションが削除されます。

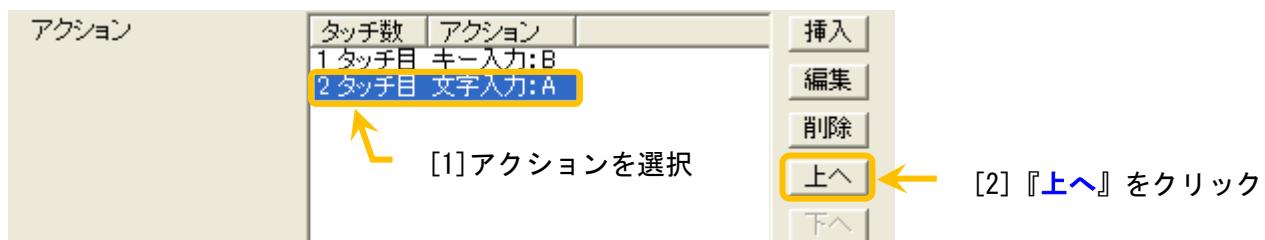


※ アクションが1つしかない場合は削除できません。

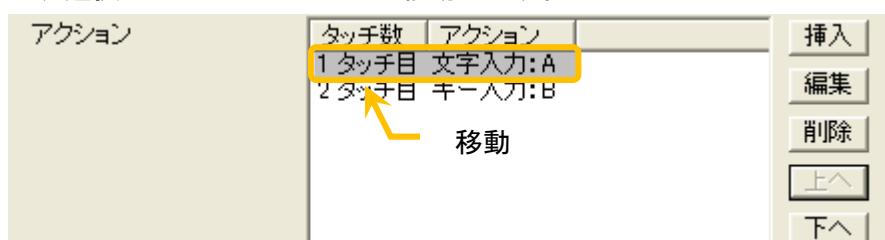
#### ④ アクション並び替え

複数あるアクションの実行順を変更したい場合はリストからアクションを選択して『上へ』または『下へ』をクリックします。

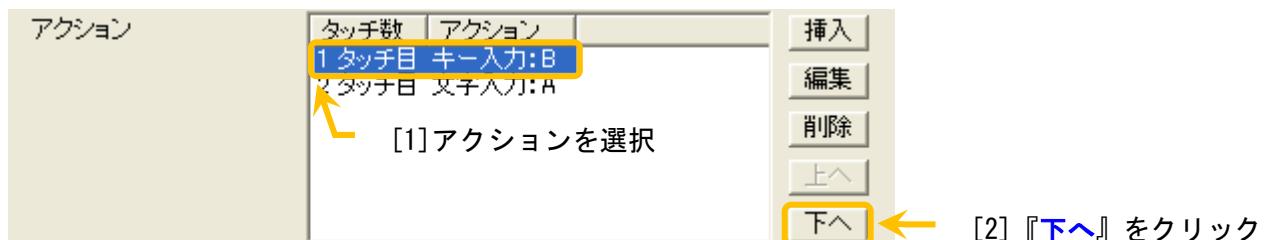
『上へ』をクリックした場合



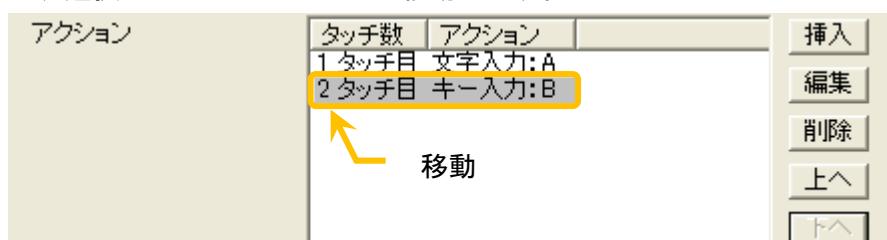
すると、選択したアクションが上へ移動します。



『下へ』をクリックした場合



すると、選択したアクションが下へ移動します。



## ⑤ アクションデータ編集

ここではキーを1回タッチされた時のアクションを設定します。

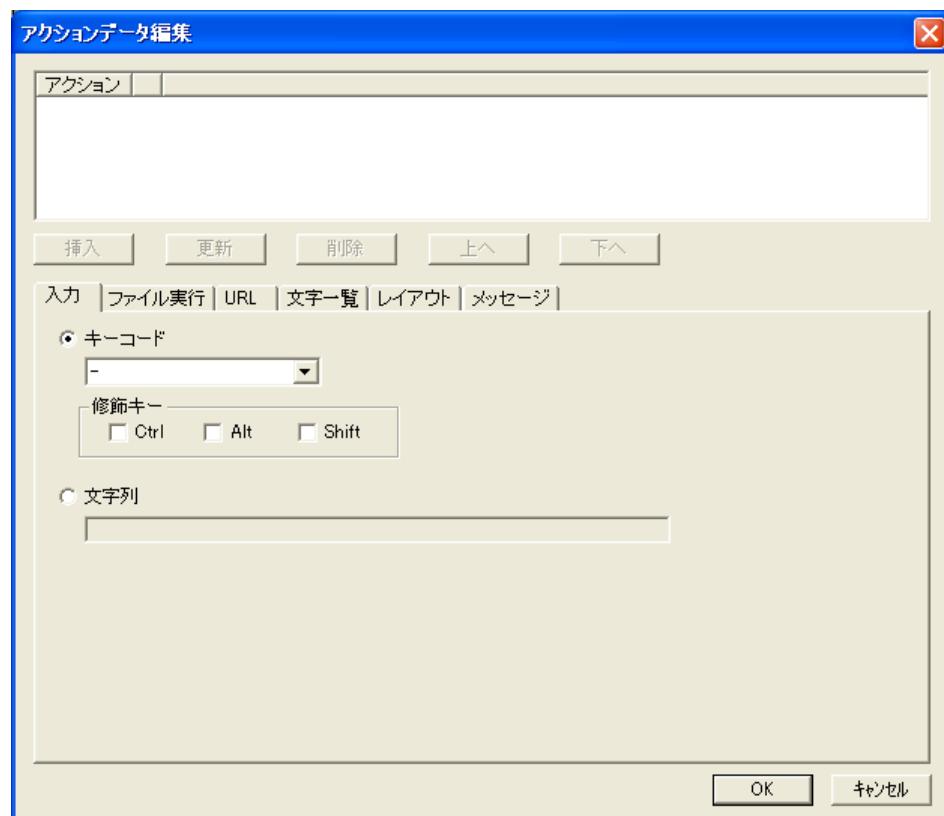
このダイアログで複数のアクションを設定した場合は1回のタッチで複数のアクションが実行されます。

アクションの種類として文字の入力、ファイルの実行、URLジャンプ、文字一覧の表示、レイアウト設定やメッセージ設定などがあります。

また、追加したアクションの内容変更、削除、順番の変更なども可能です。

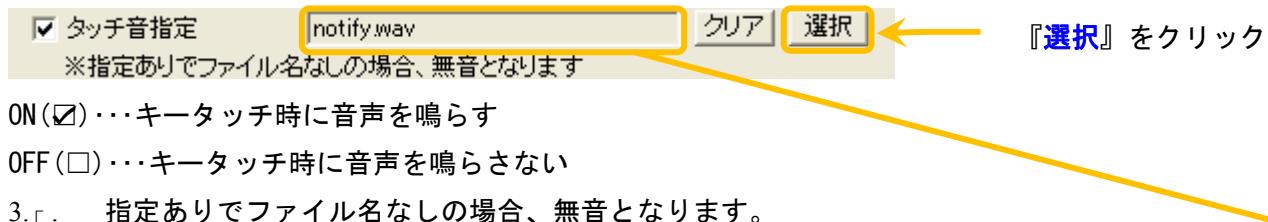
詳細は以下を参照してください。

- |                 |   |                           |
|-----------------|---|---------------------------|
| 3.3.1 アクションの挿入  | … | アクションを新規で追加します。           |
| 3.3.2 アクションの更新  | … | アクションの内容を変更します。           |
| 3.3.3 アクションの削除  | … | アクションを削除します。              |
| 3.3.4 アクション並べ替え | … | アクションの実行順を変更します。          |
| 3.3.5 入力        | … | 文字を入力するアクションの設定です。        |
| 3.3.6 ファイルを実行する | … | ファイルを実行するアクションの設定です。      |
| 3.3.7 URLジャンプ   | … | URLジャンプを実行するアクションの設定です。   |
| 3.3.8 文字一覧を追加   | … | 文字／タスクの一覧を表示するアクションの設定です。 |
| 3.3.9 レイアウト設定   | … | レイアウトを変更するアクションの設定です。     |
| 3.3.10 メッセージ設定  | … | メッセージ表示を行うアクションの設定です。     |



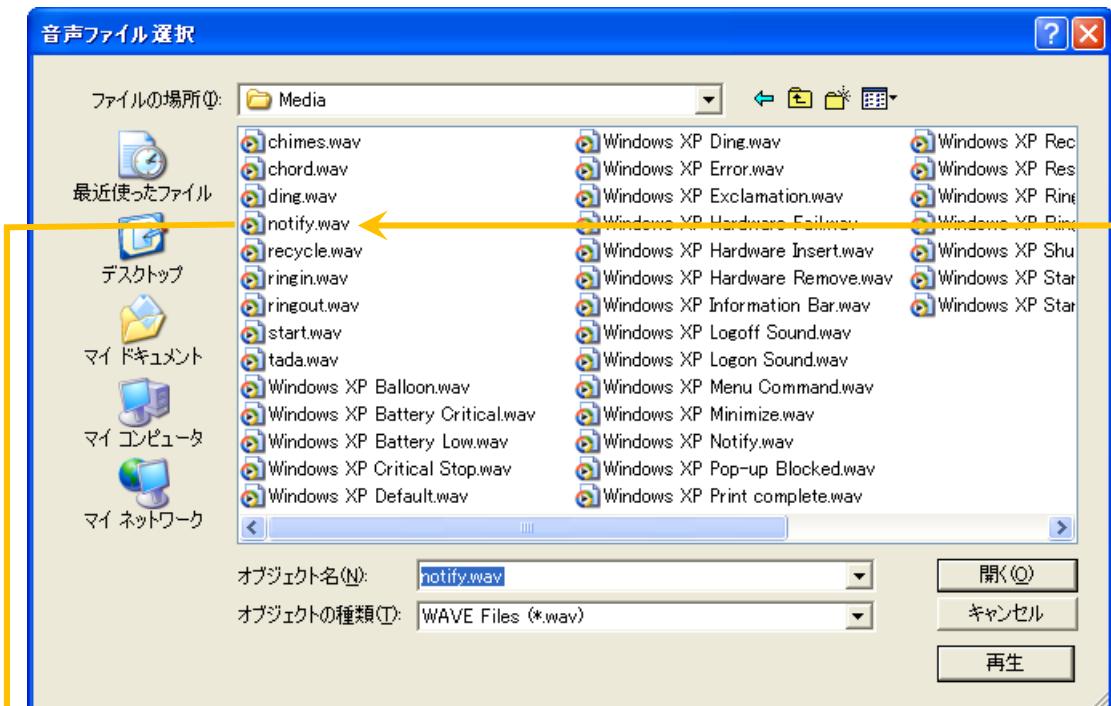
### 3.2.4.15. タッチ音の設定

[タッチ音指定]の内容を変更するとキーをタッチされた場合に音声を鳴らす・鳴らさないを変更することができます。



タッチ音をクリアする場合は『クリア』ボタンをクリックします。

タッチ音を設定するにはチェックをON(□)にしてから右にある『選択』ボタンをクリックします。すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。



ここで音声を選択し、『開く』ボタンをクリックすることでタッチ音が指定されます。また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。選択しているタッチ音を確認したい場合は、『再生』を選択してください。



### 3.2.5. キーの削除

不要なキーを削除します。

削除方法は、メニューから削除（3.2.4.1）と右クリックから削除（3.2.4.2）、『Delete』キーで削除（3.2.4.3）の3通りあります。

#### 3.2.5.1. メニューから削除

キーをクリックにて選択した状態でメニューの『編集』→『削除』をクリックします。

[1] 『編集』をクリック

[2] 『削除』をクリック



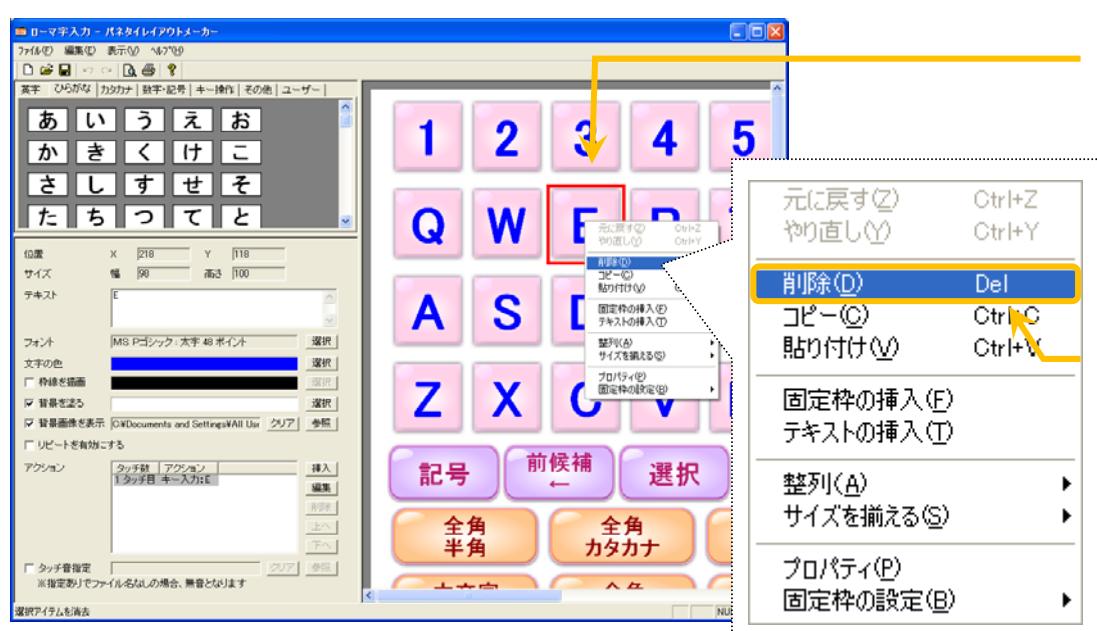
選択したキーが削除されます。

#### 3.2.5.2. 右クリックから削除

削除したいキー上で右クリックし、『削除』をクリックします。

[1] キー上で右クリック

[2] 『削除』をクリック



選択したキーが削除されます。

### 3.2.5.3. Deleteキーで削除



キーを選択して『Delete』キー押下

選択したキーが削除されます。

### 3.2.6. ユーザーキャンパス

他のレイアウトにも必要なキーを保存する事が行えるスペースを「[ユーザーキャンパス](#)」と呼びます。

ユーザーキャンパスはキータブの「ユーザー」を選択することで表示されます。

ユーザーキャンパスはパネタイレイアウトメーカーを終了してもキーデータを保持しています。

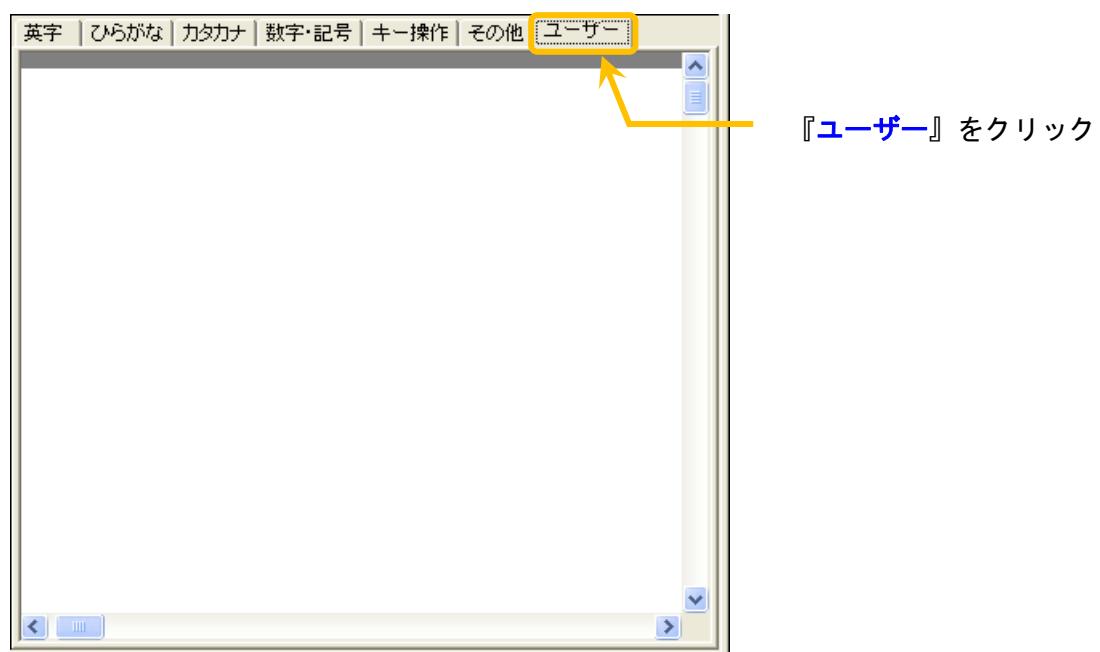
詳細は、[ 3.2.6.1 ドラッグ&ドロップでキーをユーザーキャンパスに移動する ][ 3.2.6.2 ユーザーキャンパスのキーを使用する ][ 3.2.6.3 ユーザーキャンパスのキーを削除する ]を参照してください。

#### ＜注意＞

- ・ ユーザーキャンパスはキーを保存するためのエリアです。そのため、エリア内では下記の操作が行えません。
  - ・ マウス右クリックメニューが表示されません。
  - ・ カーソルキーを使用してのキー移動が行えません。
  - ・ 元に戻す・やり直し操作が保存されません。
  - ・ 固定枠の挿入は行えません。
  - ・ テキストの挿入は行えません。

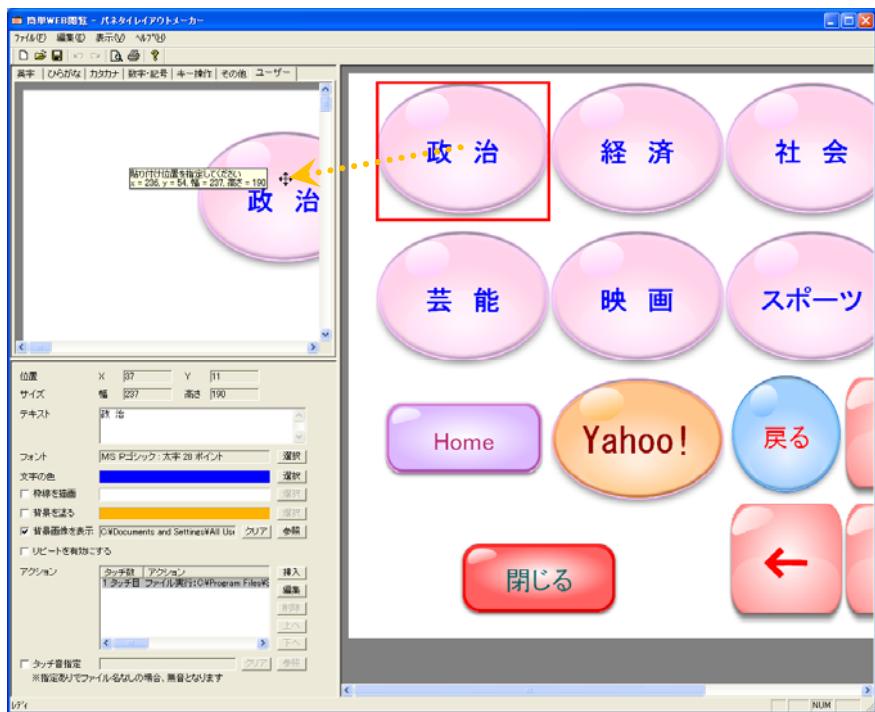
#### 3.2.6.1. ドラッグ&ドロップでキーをユーザーキャンパスに移動する

タブの『ユーザー』をクリックします。



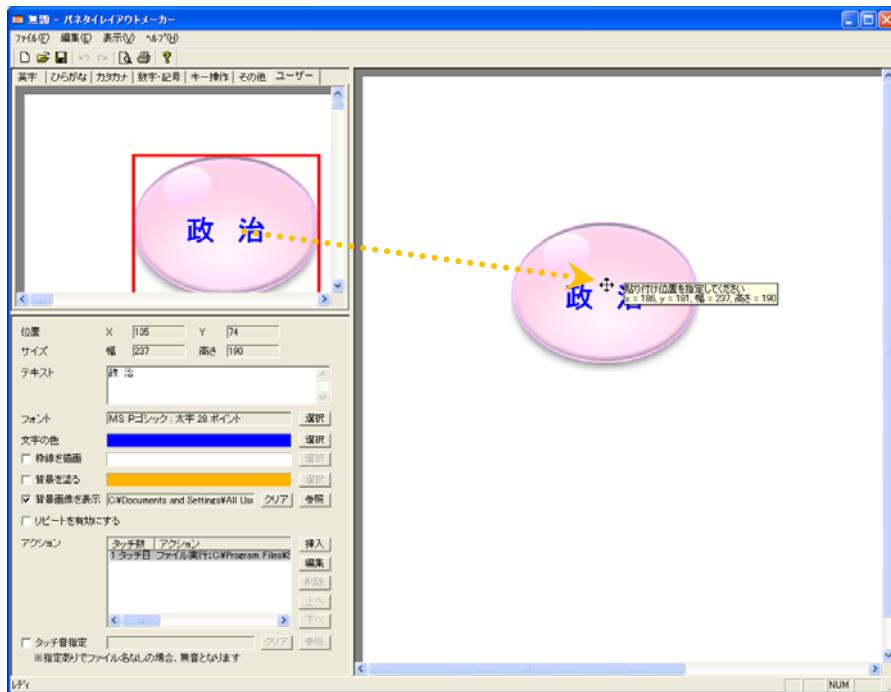
ユーザーキャンパスが表示されます。

キーまたは固定枠をユーザーキャンバスに、ドラッグ&ドロップで配置します。



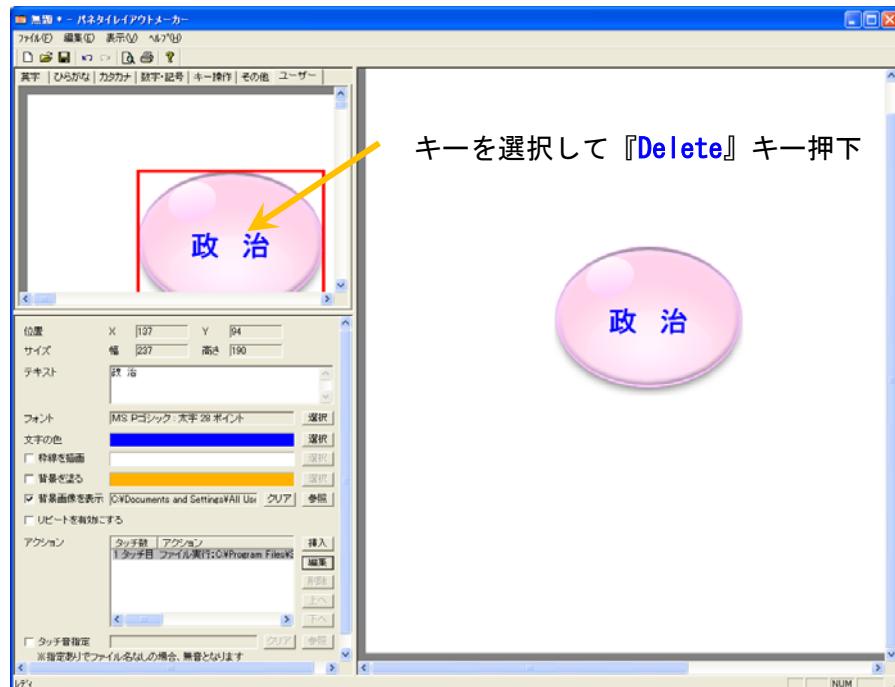
### 3.2.6.2. ユーザーキャンバスのキーを使用する

ユーザーキャンバスに保存されているキーを使用する時は、キーまたは固定枠を、ドラッグ&ドロップでレイアウトウインドウに配置します。



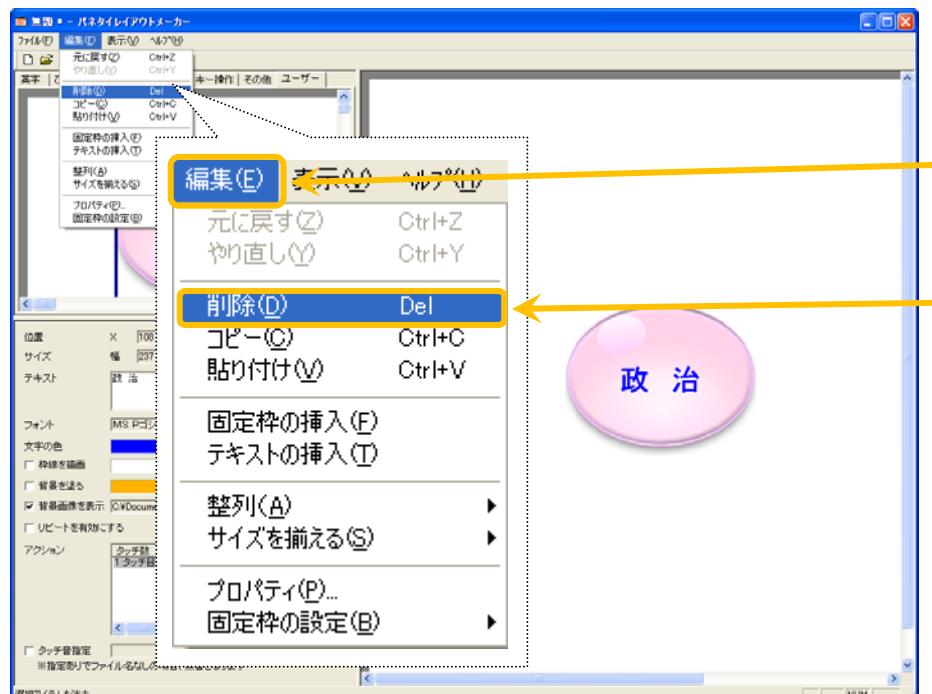
### 3.2.6.3. ユーザーキャンパスのキーを削除する

ユーザーキャンパスに保存されているキーを選択して、『Delete』キーを押下します。



選択したキーが削除されます。

もしくは、キーをクリックし選択した状態でメニューの『編集』→『削除』をクリックします。



選択したキーが削除されます。

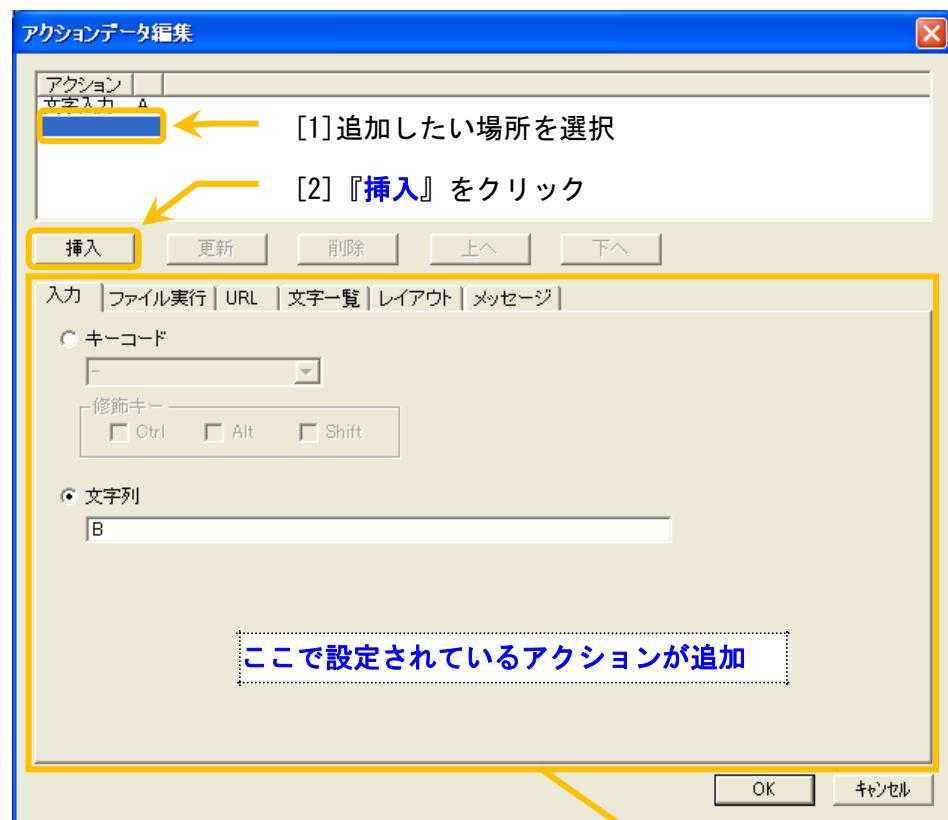
### 3.3. アクションデータ編集

キーが1回タッチされた時のアクションを設定します。

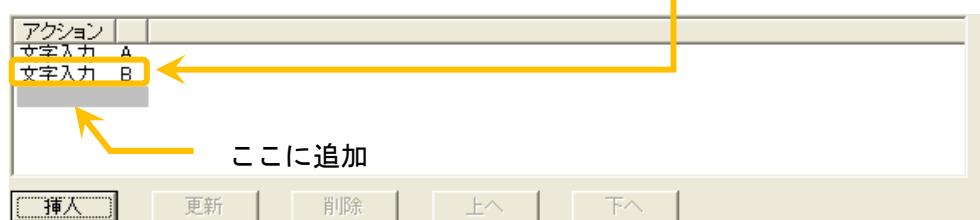
このダイアログで複数のアクションを設定した場合は1回のタッチで複数のアクションが実行されます。

#### 3.3.1. アクションの挿入

新しくアクションを追加したい場合は、リストから追加したい場所を選択して『挿入』ボタンをクリックします。



下部のタブで設定されているアクションが追加されます。

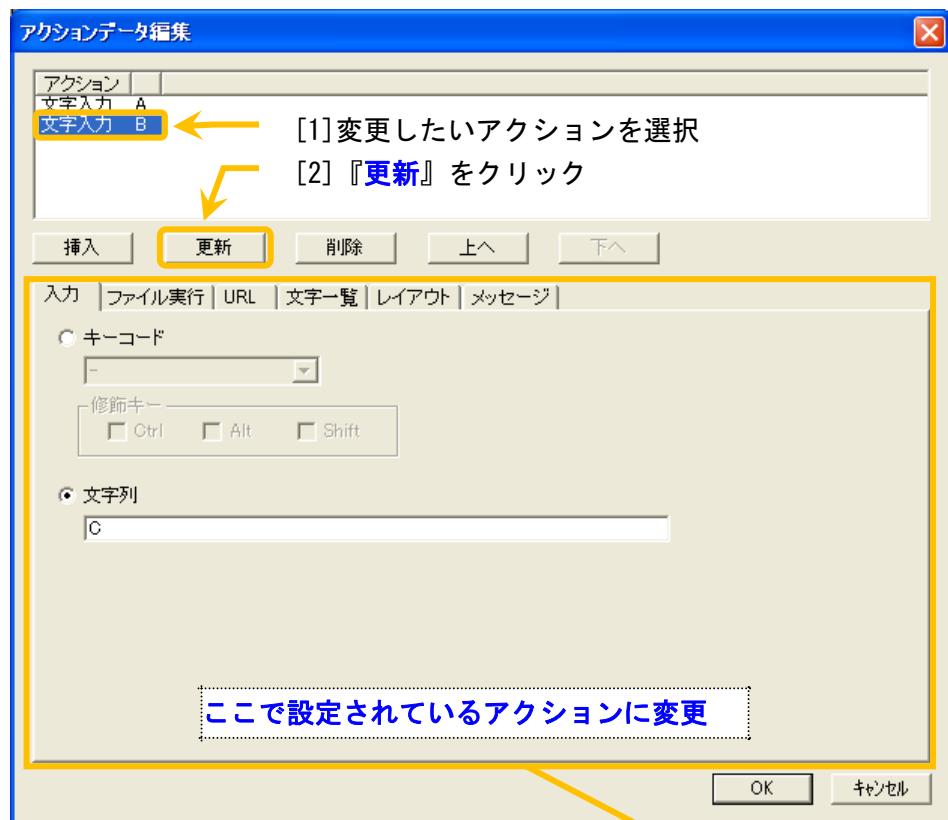


アクションの詳細については下記を参照してください。

- |                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| 3.3.5 入力        | … 文字を入力するアクションの設定です。                 |
| 3.3.6 ファイルを実行する | … ファイルを実行するアクションの設定です。               |
| 3.3.7 URLジャンプ   | … ブラウザを起動して指定した URL を表示するアクションの設定です。 |
| 3.3.8 文字一覧を追加   | … 文字一覧ダイアログの操作を行うアクションの設定です。         |
| 3.3.9 レイアウト設定   | … レイアウトの変更を行うアクションの設定です。             |
| 3.3.10 メッセージ設定  | … メッセージを表示するアクションの設定です。              |

### 3.3.2. アクションの更新

挿入したアクションや既に設定されているアクションを変更したい場合は、リストから変更したいアクションを選択して『更新』をクリックします。



下部のタブで設定されているアクションに更新されます。

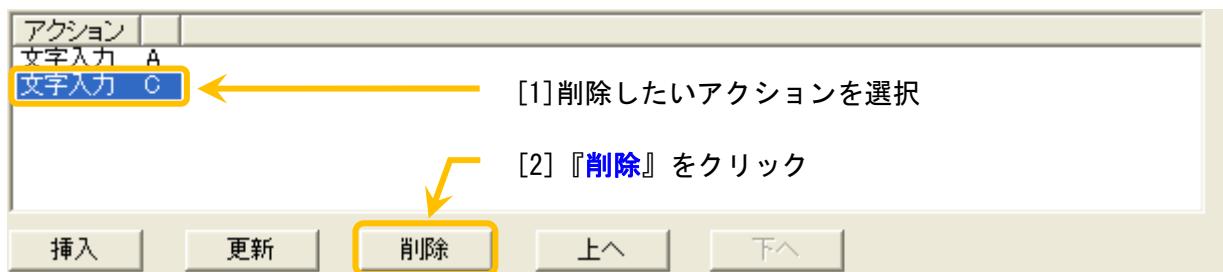


アクションの詳細については下記を参照してください。

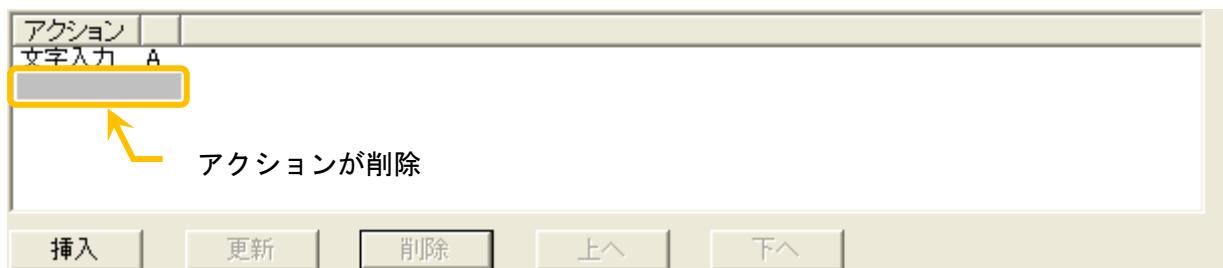
- |                 |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|
| 3.3.5 入力        | … 文字を入力するアクションの設定です。                 |
| 3.3.6 ファイルを実行する | … ファイルを実行するアクションの設定です。               |
| 3.3.7 URLジャンプ   | … ブラウザを起動して指定した URL を表示するアクションの設定です。 |
| 3.3.8 文字一覧を追加   | … 文字一覧ダイアログの操作を行うアクションの設定です。         |
| 3.3.9 レイアウト設定   | … レイアウトの変更を行うアクションの設定です。             |
| 3.3.10 メッセージ設定  | … メッセージを表示するアクションの設定です。              |

### 3.3.3. アクションの削除

既にあるアクションを削除したい場合はリストからアクションを選択して『削除』をクリックします。



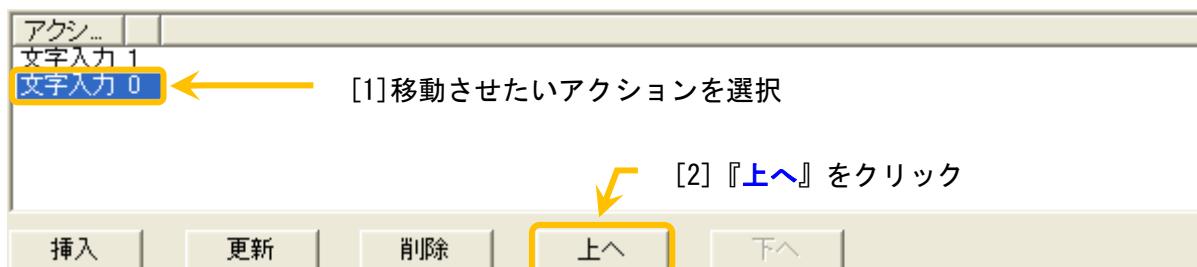
選択したアクションが削除されます。



### 3.3.4. アクション並べ替え

複数あるアクションの実行順を変更したい場合はリストからアクションを選択して『上へ』または『下へ』をクリックします。

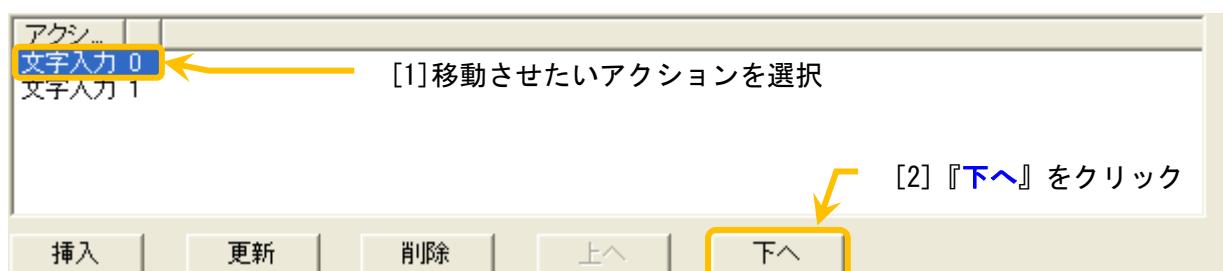
『上へ』をクリックした場合



すると、選択したアクションが上へ移動します。



『下へ』をクリックした場合



すると、選択したアクションが下へ移動します。



### 3.3.5. 入力

キーのタッチを行った時に文字を入力するアクションです。

キーコードまたは文字列が選択可能です。



#### ・キーコードの場合

タッチを行った時に実行されるキーコードをリストから選択します。

修飾キーをON(□)にすることで『**Ctrl + C**』などの組み合わせも可能です。

#### ・文字列の場合

タッチを行った時に入力される文字列をテキストボックスに入力します。

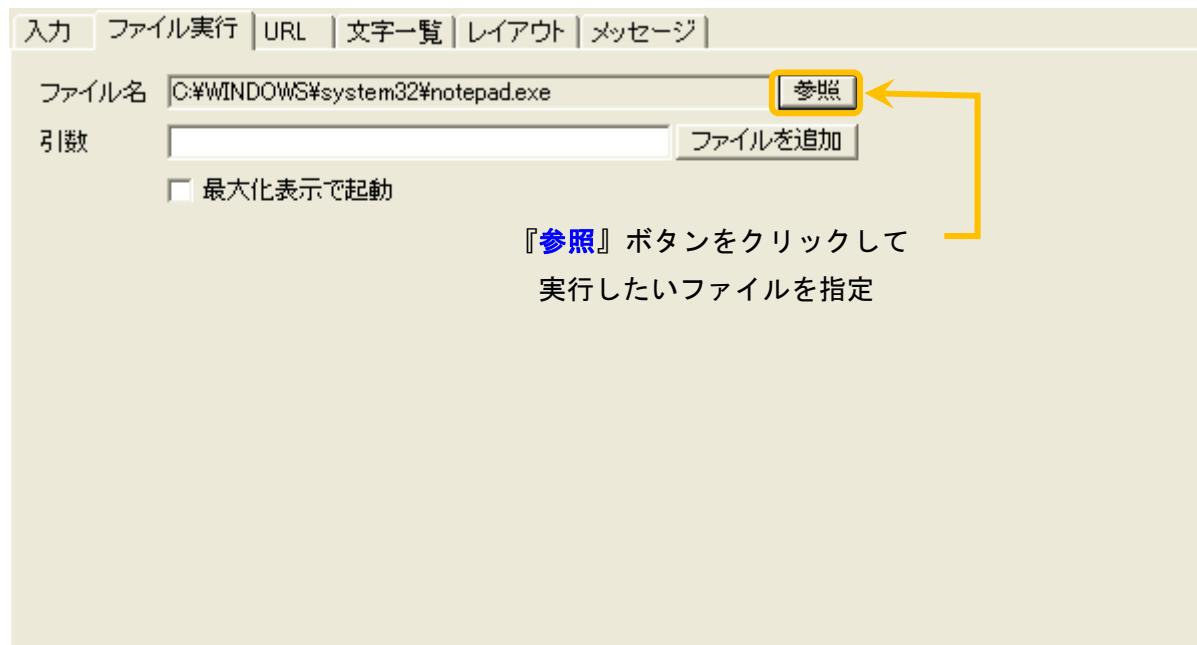
※ 複数の文字（「あいうえお」など）の入力も可能です。

### 3.3.6. ファイルを実行する

キーのタッチを行った時にファイルを実行するアクションです。

タッチされると『**ファイル名**』に指定したファイルをダブルクリックした時と同じ動作になります。

また、『**ファイル名**』にアプリケーションを指定し、『**引数**』に対応するファイルを指定することで、指定したアプリケーションで指定したファイルが開きます。



※ 最大化表示で起動がON(□)の場合は起動するアプリケーションが最大表示で起動します。

### 3.3.7. URLジャンプ

キーのタッチを行った時にブラウザが起動して指定した URL を表示するアクションです。



### 3.3.8. 文字一覧を追加

キーのタッチを行った時に文字一覧ダイアログの操作を行うアクションです。

文字一覧表示を選択した場合は表示する一覧のファイルも指定してください。



※ 指定するファイルの記述方法や動作の詳細は次ページを参照してください。

下記の内容のファイルを指定した場合

この場合は 5 列 10 行分のサイズのウインドウが表示されます。

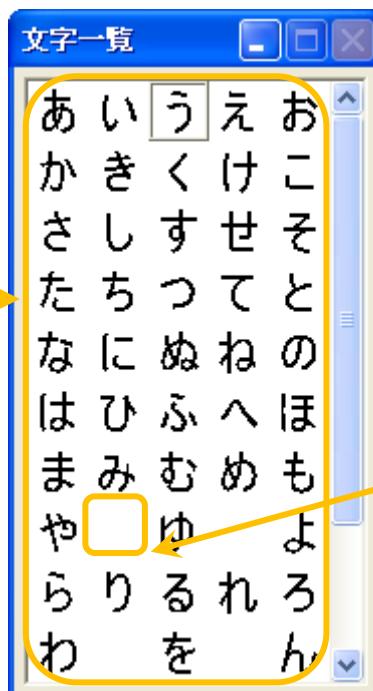
※ 指定可能な範囲は行、列共に 1~20 です。

RowCol=5,10

“あ”,“い”,“う”,“え”,“お”,“か”,“き”,“く”,“け”,“こ”,“さ”,“し”,“す”,“せ”,“そ”,“た”,“ち”,“つ”,“て”,“と”,“な”,“に”,“ぬ”,“ね”,“の”,“は”,“ひ”,“ふ”,“へ”,“ほ”,“ま”,“み”,“む”,“め”,“も”,“や”,“”,“ゆ”,“”,“よ”,“ら”,“り”,“る”,“れ”,“ろ”,“わ”,“”,“を”,“”,“ん”,“あ”,“い”,“う”,“え”,“お”,“つ”,“や”,“ゆ”,“よ”,“わ”,“”,“”,“カ”,“ケ”

空白にしたい場合は“”を記述

[文字一覧表示] のキーをタッチすると次のようなウインドウが表示されます。



先頭行で指定したサイズに收まりきらなかった文字はカーソルを移動させると表示されます。

この状態で [文字一覧非表示] のキーをタッチするとこのウインドウを閉じます。

また、ウインドウが表示されている状態でのその他のキーをタッチすると以下の動作になります。

文字一覧 - 文字入力 … 選択されている文字（この場合は『う』）を入力

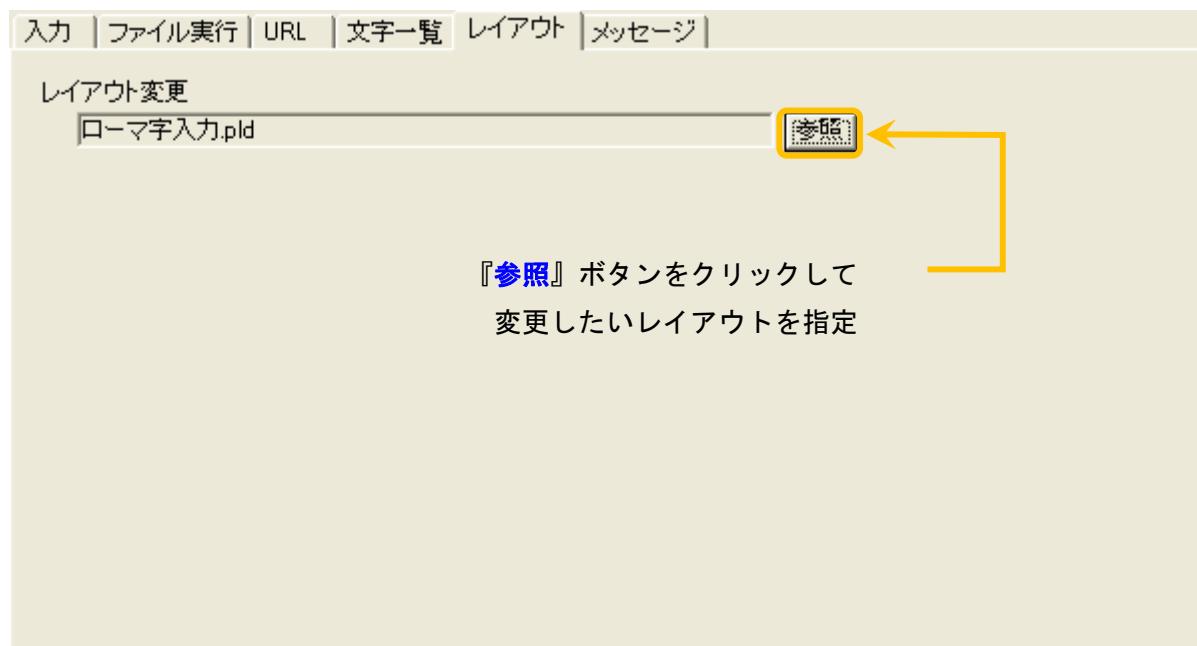
文字一覧 - カーソルを次へ … 次の文字（この場合は『え』）を選択

文字一覧 - カーソルを前へ … 前の文字（この場合は『い』）を選択

### 3.3.9. レイアウト設定

キーのタッチを行った時にレイアウトの変更を行うアクションです。

タッチ時に変更するレイアウトを指定します。



『参照』ボタンをクリックすると「レイアウトデータ選択」ダイアログが表示されます。

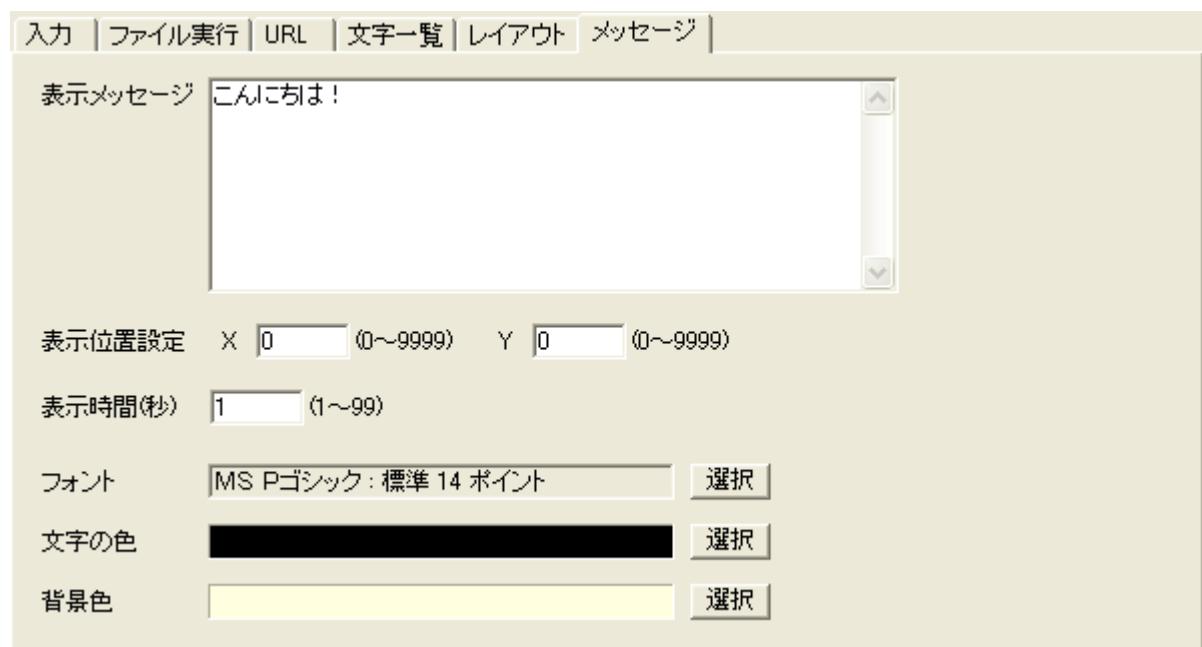
表示されたダイアログの「レイアウトリスト」からレイアウトを選択し、『OK』ボタンをクリックします。



参照を行わない場合は、『キャンセル』ボタンをクリックして、ダイアログを閉じてください。

### 3.3.10. メッセージ設定

キーのタッチを行った時にメッセージを表示するアクションです。



- |         |   |                        |
|---------|---|------------------------|
| 表示メッセージ | … | 表示されるメッセージを指定します。      |
| 表示位置設定  | … | メッセージを表示する位置を指定します。    |
| 表示時間    | … | メッセージを表示させる時間を指定します。   |
| フォント    | … | 表示されるメッセージのフォントを指定します。 |
| 文字の色    | … | 表示されるメッセージの文字の色を指定します。 |
| 背景色     | … | 表示されるメッセージの背景の色を指定します。 |



### 3.4. 固定枠の設定

レイアウトウインドウに固定枠を追加し、移動やキーの配置を行うことができます。

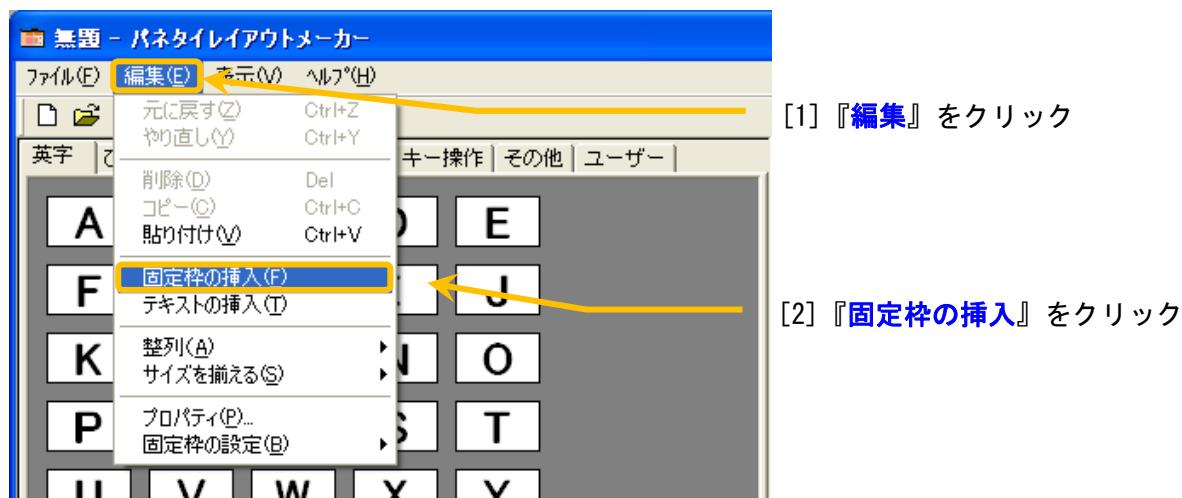
詳細は [ 3.4.1 固定枠の挿入 ]、[ 3.4.2 固定枠にキーを配置 ]、[ 3.4.3 固定枠の移動・サイズ変更 ] を参照してください。

#### 3.4.1. 固定枠の挿入

固定枠の挿入の方法は、メニューから (3.4.1.1) と右クリックから (3.4.1.2) の 2 通りあります。

##### 3.4.1.1. メニューから挿入

メニューの『編集』 → 『固定枠の挿入』をクリックします。



「固定枠の挿入」ダイアログ (3.4.1.3) が表示されます。

##### 3.4.1.2. 右クリックから挿入

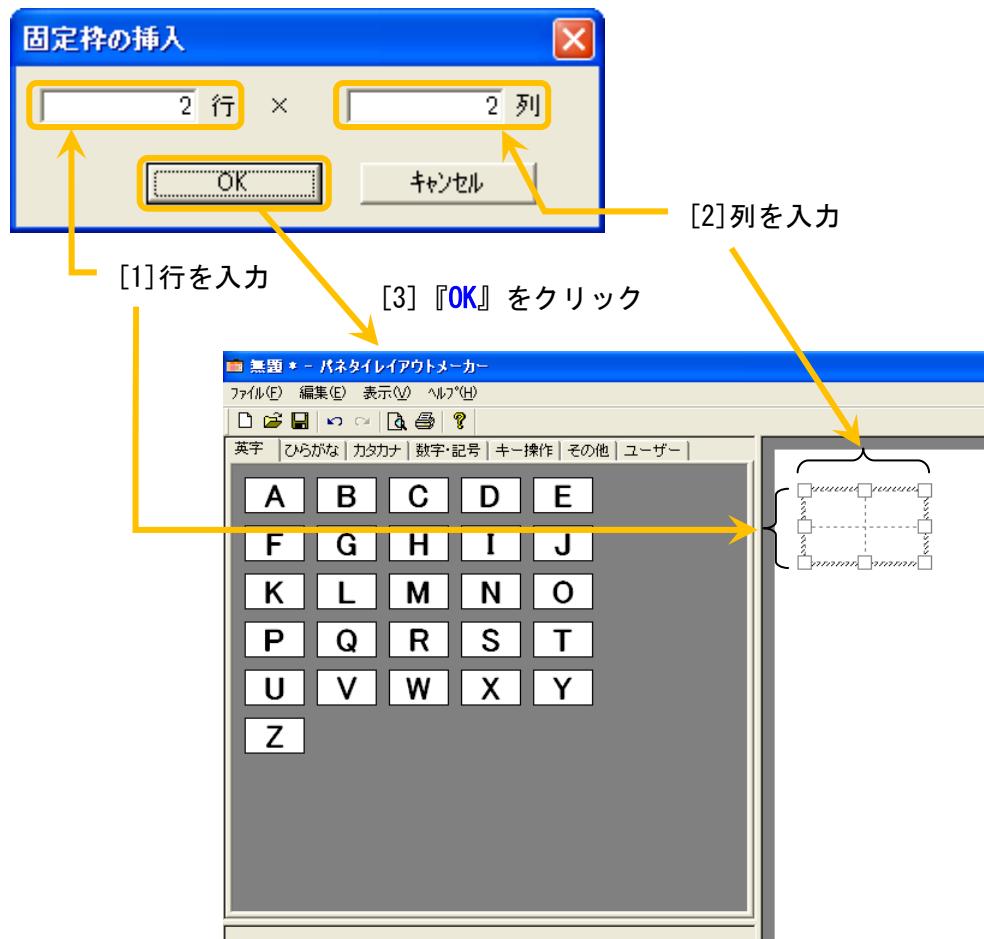
レイアウトウインドウ上で右クリックし、『固定枠の挿入』をクリックします。



「固定枠の挿入」ダイアログ (3.4.1.3) が表示されます。

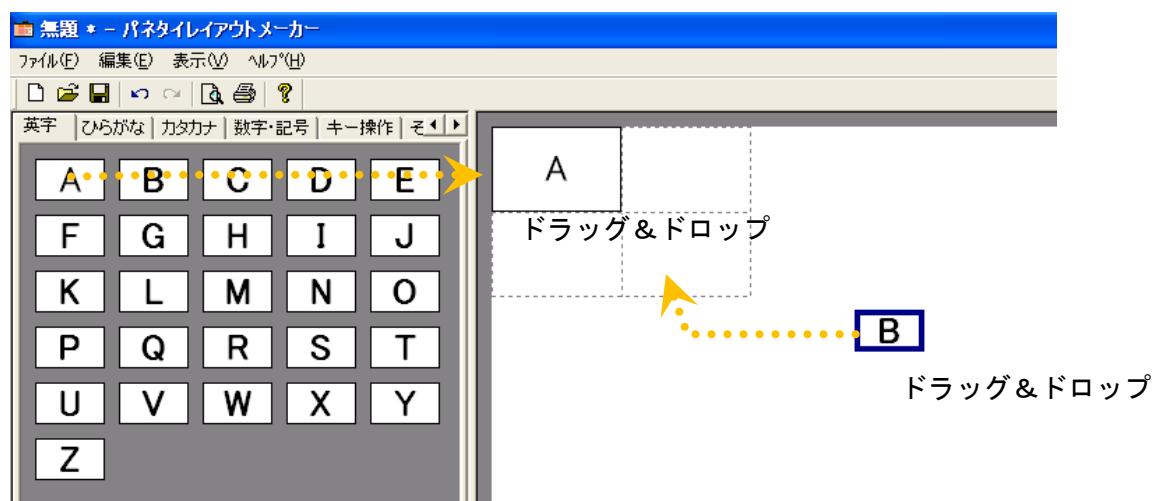
### 3.4.1.3. 「固定枠の挿入」ダイアログ

「固定枠の挿入」ダイアログが表示されるので、行と列を入力し、『OK』ボタンをクリックします。



### 3.4.2. 固定枠にキーを配置

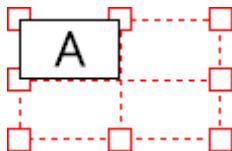
挿入された固定枠に、ドラッグ＆ドロップでキーを配置することができます。



### 3.4.3. 固定枠の移動・サイズ変更

固定枠のサイズを変更することができます。

固定枠の枠付近にカーソルを移動させると固定枠の形状が以下のように変化します。



また、マウスカーソルが移動(+)や拡大・縮小(↑・↓・←・→)に変化します。

この状態でドラッグ & ドロップを行うことで移動やサイズ変更をすることができます。

固定枠を移動	固定枠の拡大・縮小

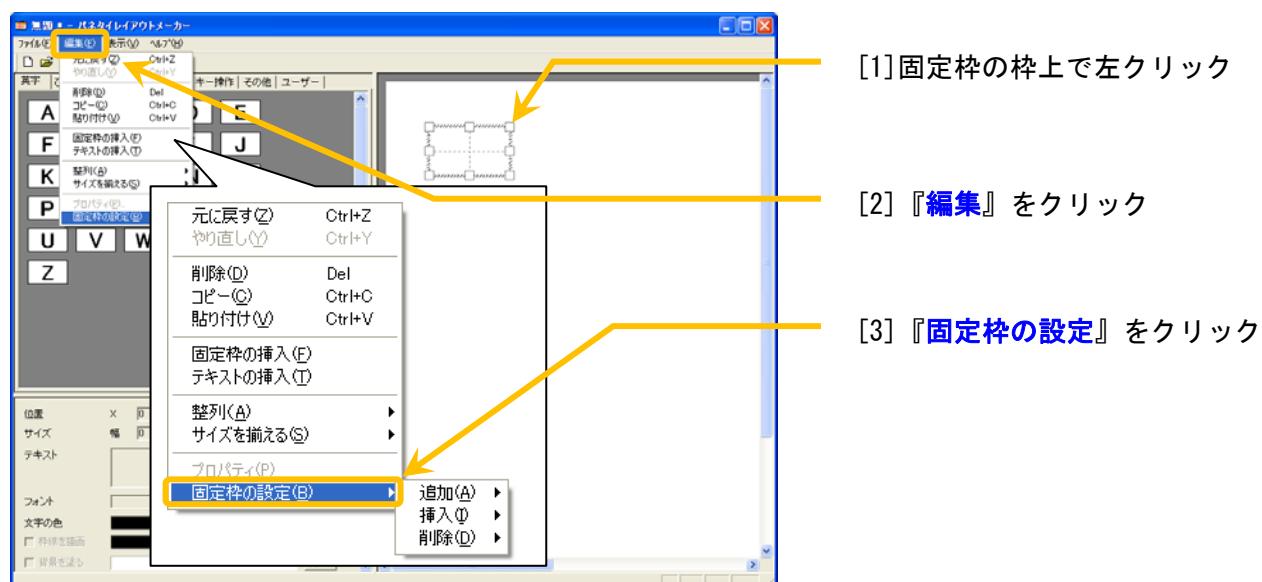
※ 配置されているキーも同時に移動やサイズ変更されます。

※ 固定枠は複数選択を行うことはできません。

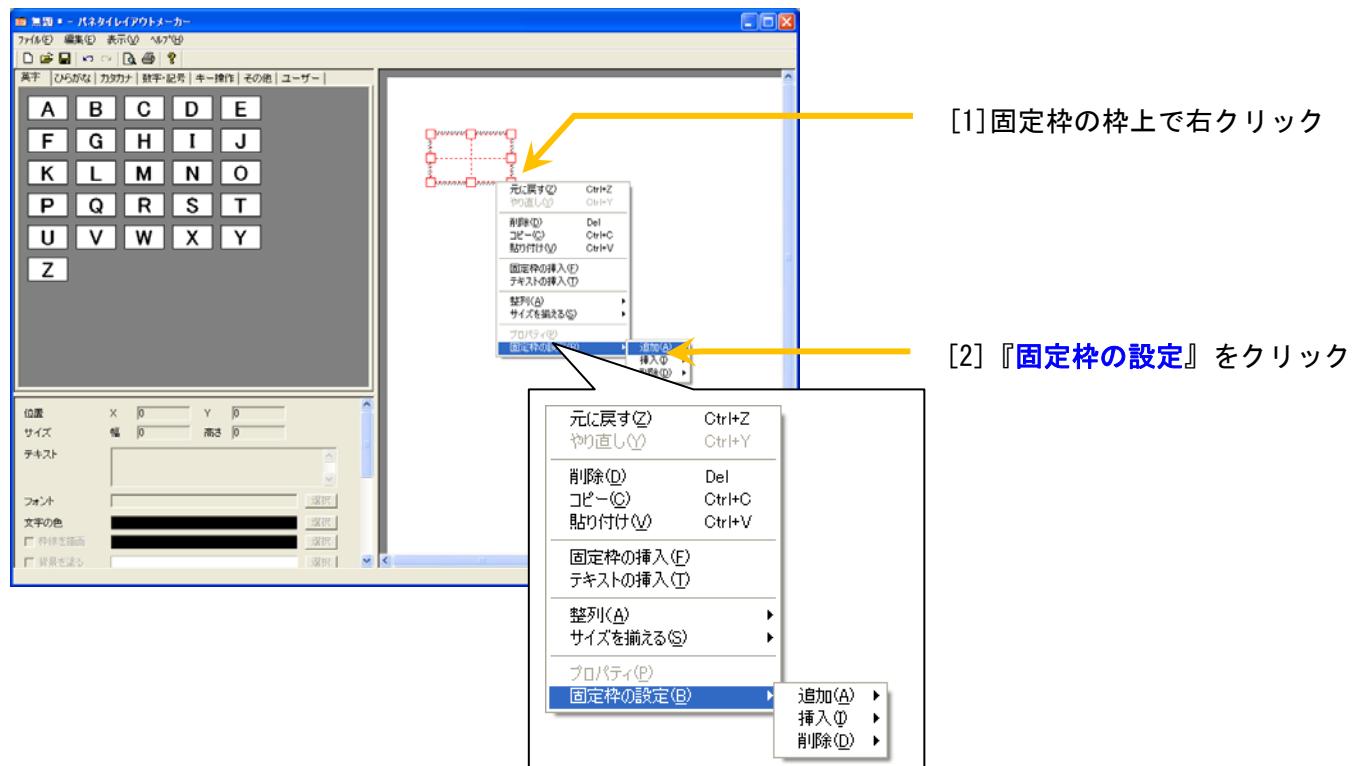
### 3.4.4. 固定枠の行列設定

選択中の固定枠に、行や列の追加・挿入・削除の操作を行うことができます。

#### メニューから設定



## 右クリックから設定



### 3.4.4.1. 固定枠の行列設定・追加

選択中の固定枠に[1行]または[1列]を追加します。

※ 行/列を追加するためのスペースが無い場合はメニュー項目がグレーアウトとなります。

この場合、固定枠の下側/右側を空けてください。

#### [行の追加]

##### メニューから追加

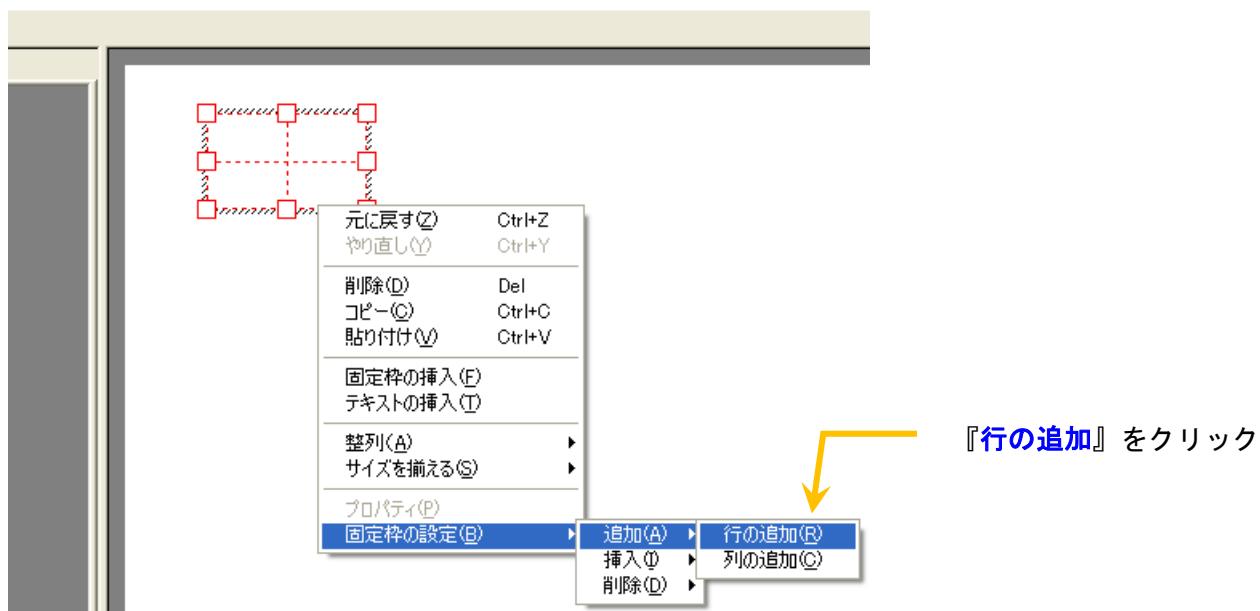
メニューの『編集』 → 『固定枠の設定』 → 『追加』 → 『行の追加』をクリックします。



『行の追加』をクリック

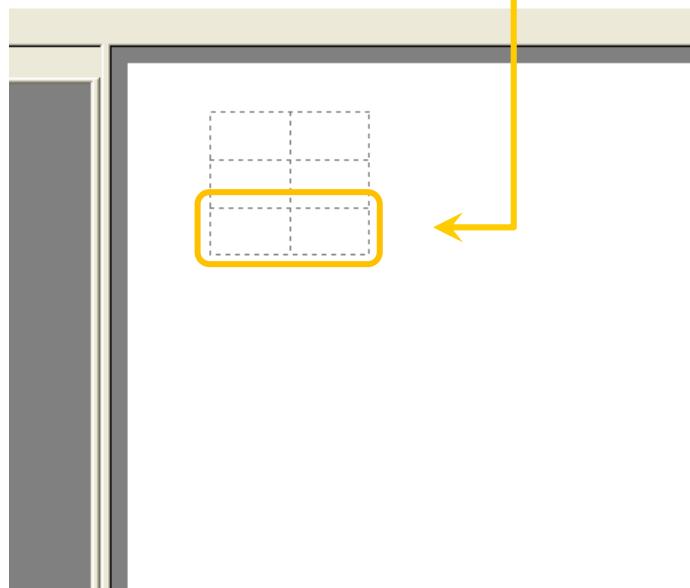
##### 右クリックから追加

固定枠の枠上で右クリックし、『固定枠の設定』 → 『追加』 → 『行の追加』をクリックします。



『行の追加』をクリック

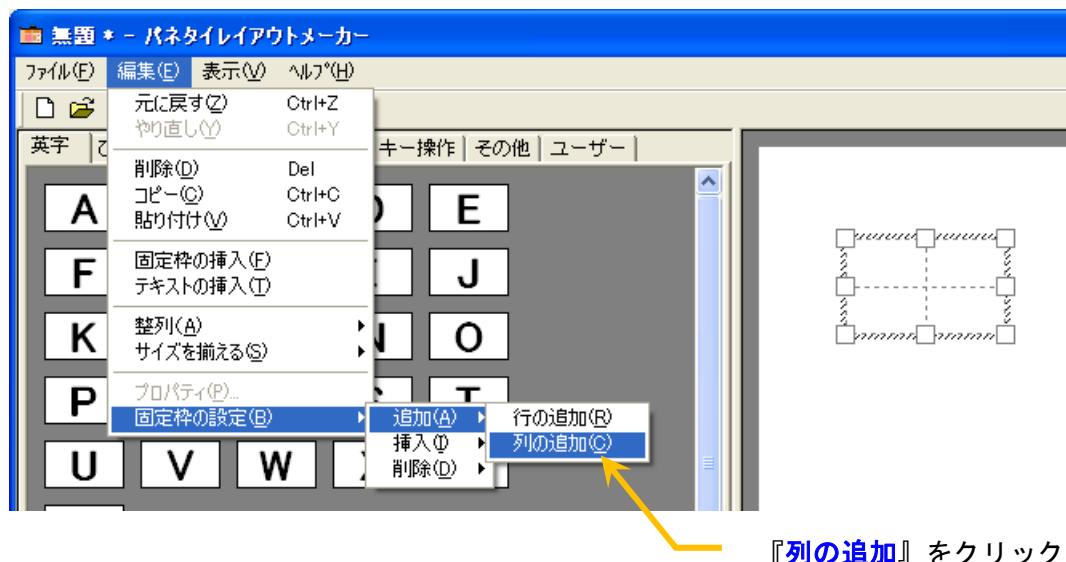
固定枠に行が1行追加されます。



## [列の追加]

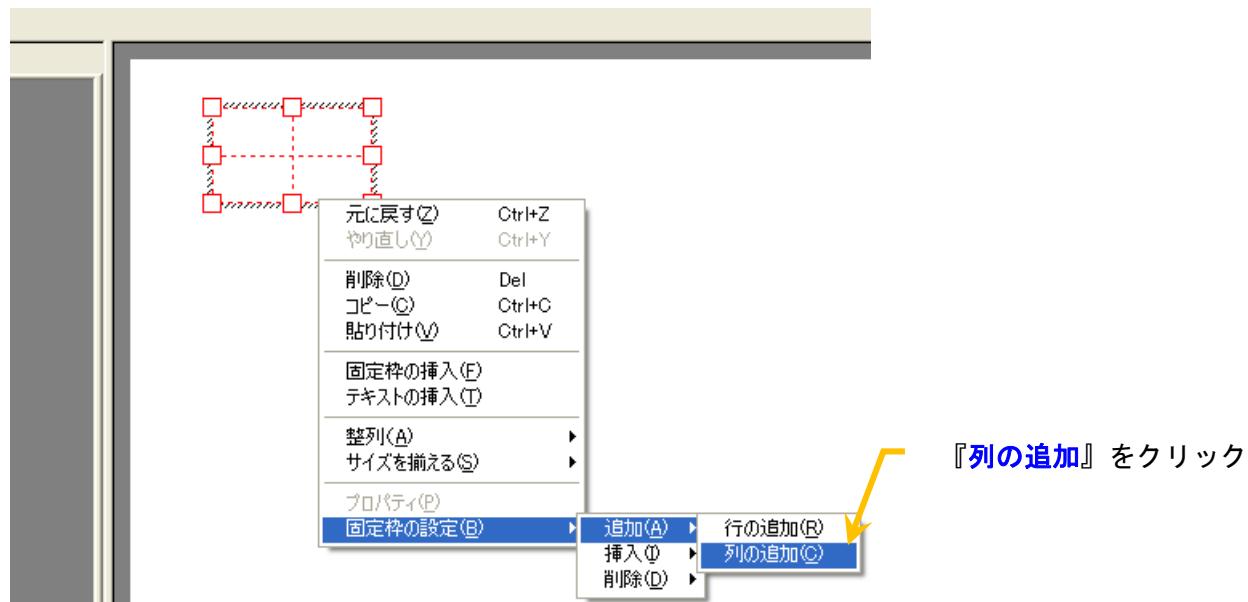
メニューから追加

メニューの『編集』 → 『固定枠の設定』 → 『追加』 → 『列の追加』をクリックします。

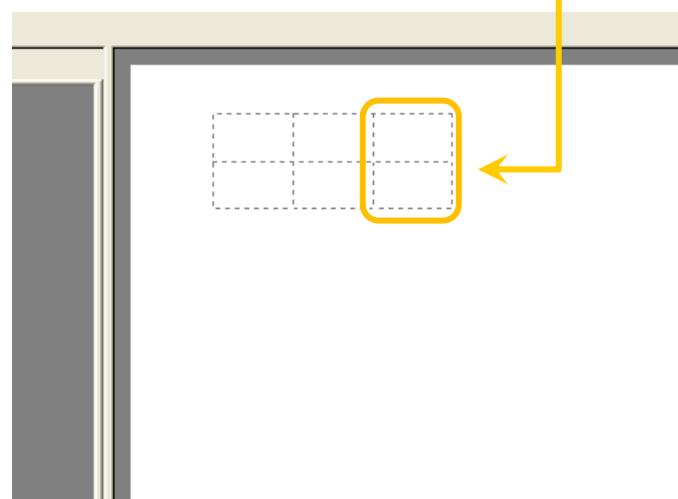


## 右クリックから追加

固定枠の枠上で右クリックし、『固定枠の設定』 → 『追加』 → 『列の追加』をクリックします。



固定枠に列が1列追加されます。



### 3.4.4.2. 固定枠の行列設定・挿入

選択中の固定枠の任意位置に[行]または[列]を連続して挿入します。

#### [行の挿入]

##### メニューから挿入

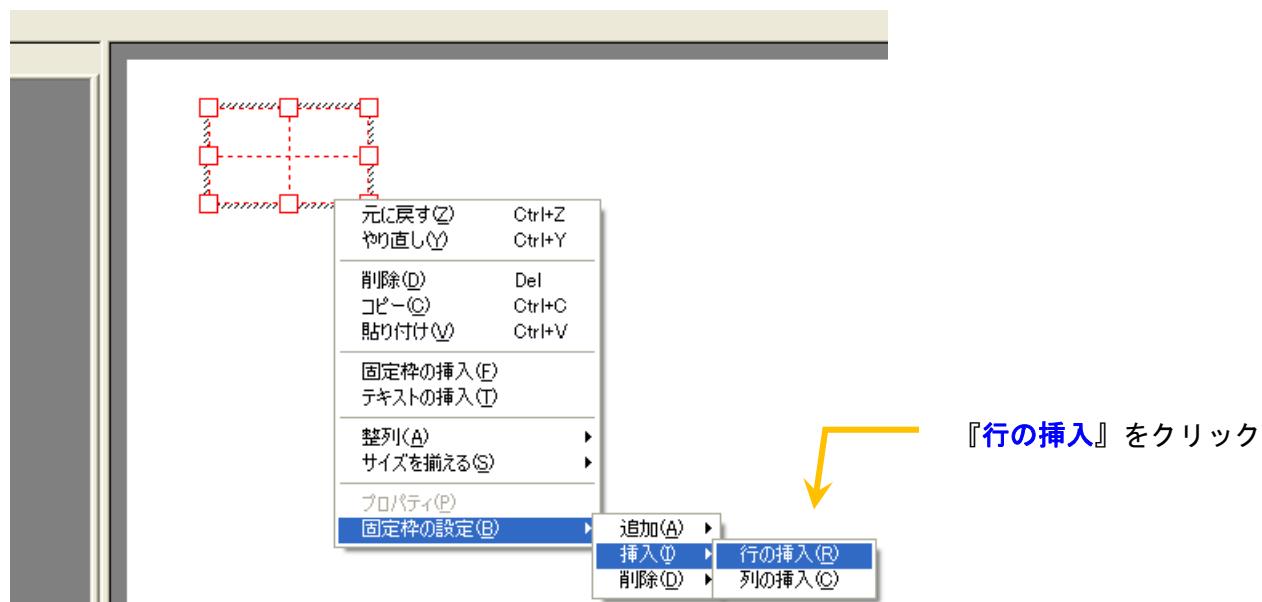
メニューの『編集』 → 『固定枠の設定』 → 『挿入』 → 『行の挿入』をクリックします。



『行の挿入』をクリック

##### 右クリックから挿入

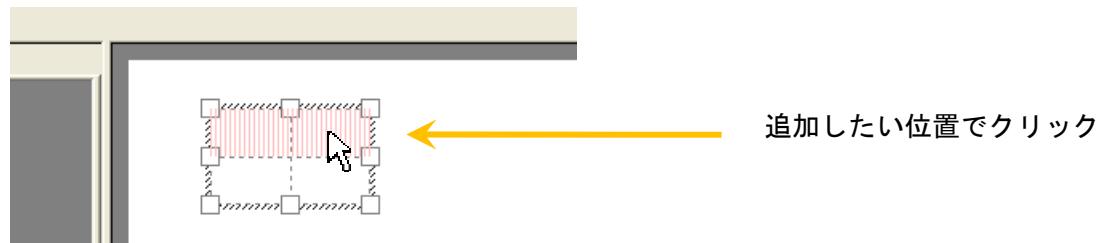
固定枠の枠上で右クリックし、『固定枠の設定』 → 『挿入』 → 『行の挿入』をクリックします。



『行の挿入』をクリック

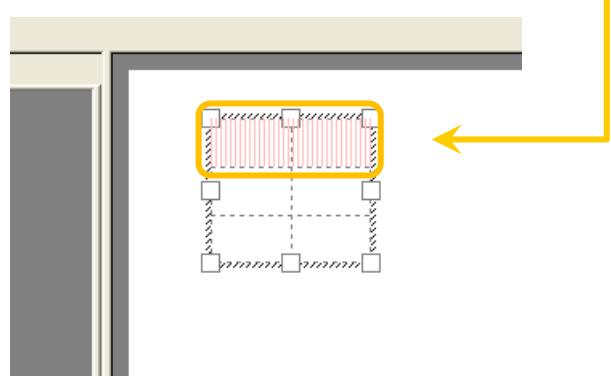
選択中の行が赤く表示されます。

行を追加したい固定枠の位置でクリックします。

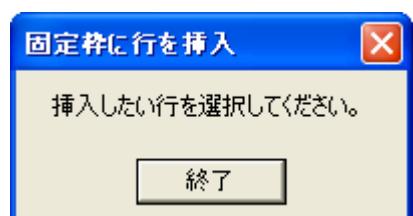


固定枠に行が1行追加されます。

この操作は連続して行うことができます。



行の挿入の操作を終了する場合はダイアログの終了ボタンを押します。



## [列の挿入]

### メニューから挿入

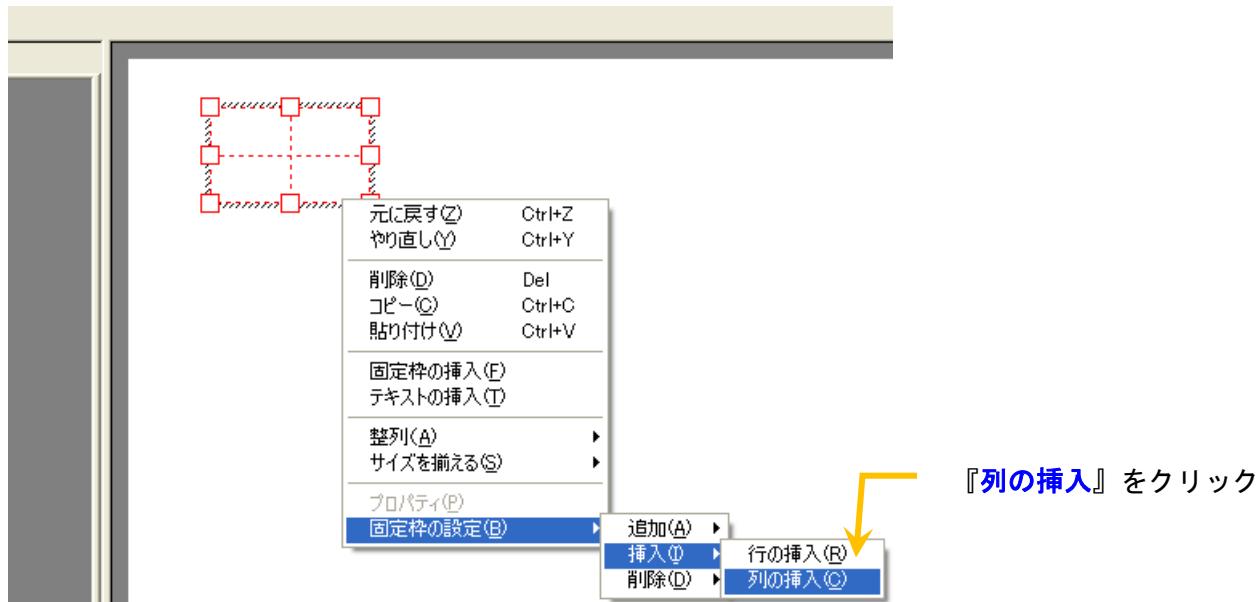
メニューの『編集』 → 『固定枠の設定』 → 『挿入』 → 『列の挿入』をクリックします。



『行の挿入』をクリック

### 右クリックから挿入

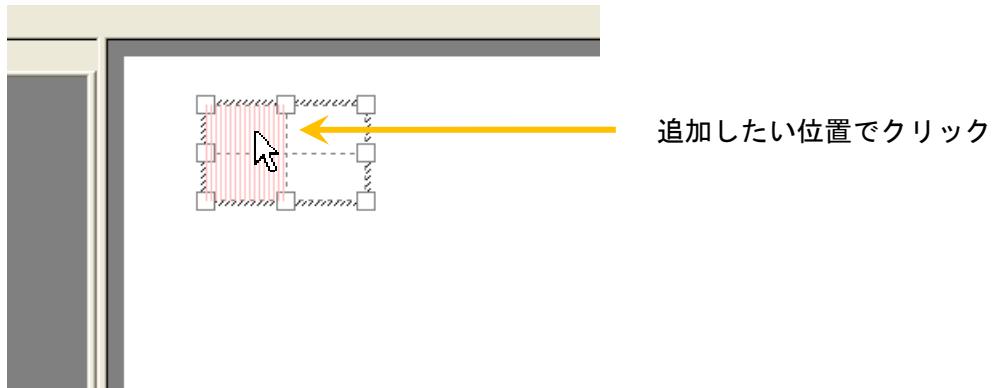
固定枠の枠上で右クリックし、『固定枠の設定』 → 『挿入』 → 『列の挿入』をクリックします。



『列の挿入』をクリック

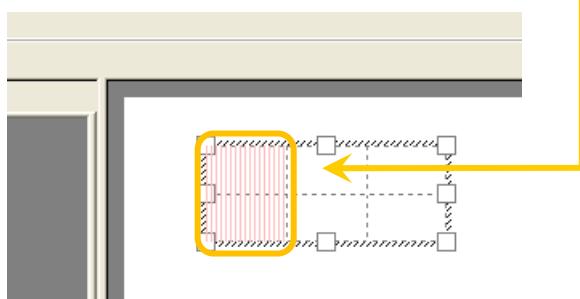
選択中の列が赤く表示されます。

列を追加したい固定枠の位置でクリックします。



固定枠に列が1列追加されます。

この操作は連続して行うことができます。



列の挿入の操作を終了する場合はダイアログの終了ボタンを押します。



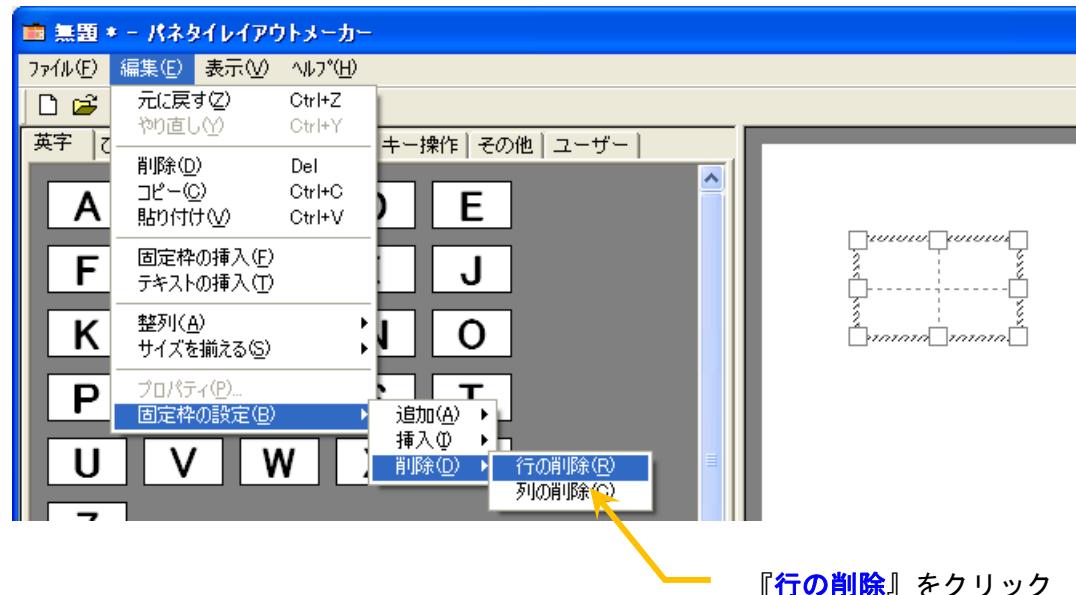
### 3.4.4.3. 固定枠の行列設定・削除

選択中の固定枠の任意位置にある[行]または[列]を連続して削除します。

#### [行の削除]

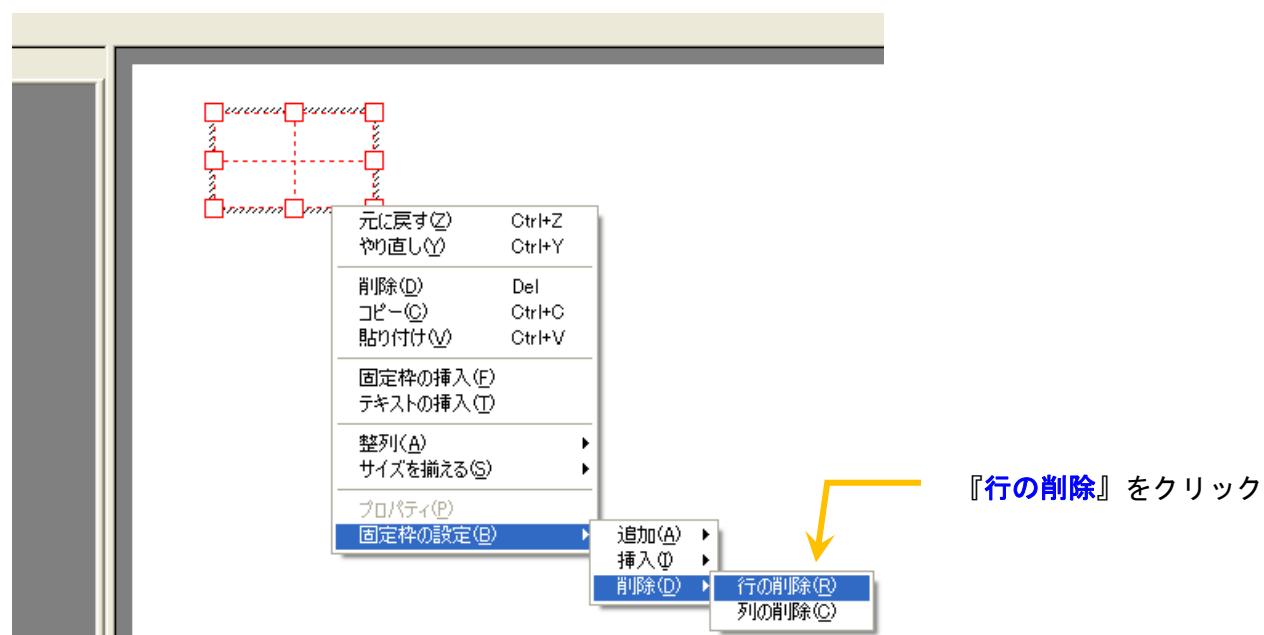
メニューから削除

メニューの『編集』 → 『固定枠の設定』 → 『削除』 → 『行の削除』をクリックします。



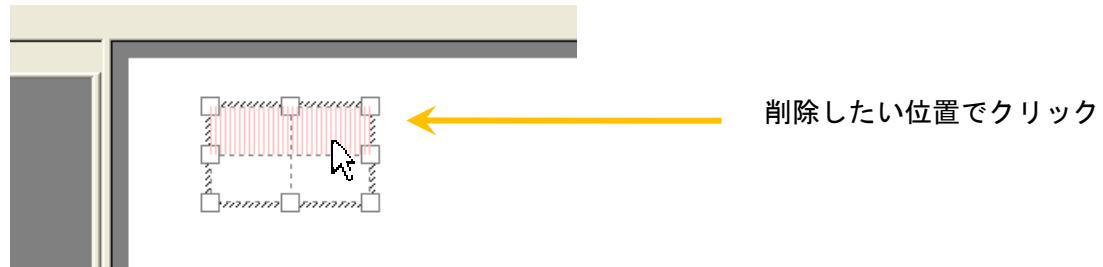
右クリックから削除

固定枠の枠上で右クリックし、『固定枠の設定』 → 『削除』 → 『行の削除』をクリックします。



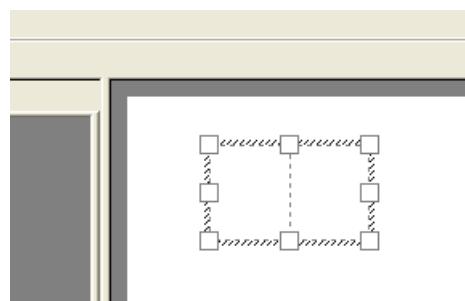
選択中の行が赤く表示されます。

行を削除したい固定枠の位置でクリックします。



固定枠の行が 1 行削除されます。

この操作は連続して行うことができます。



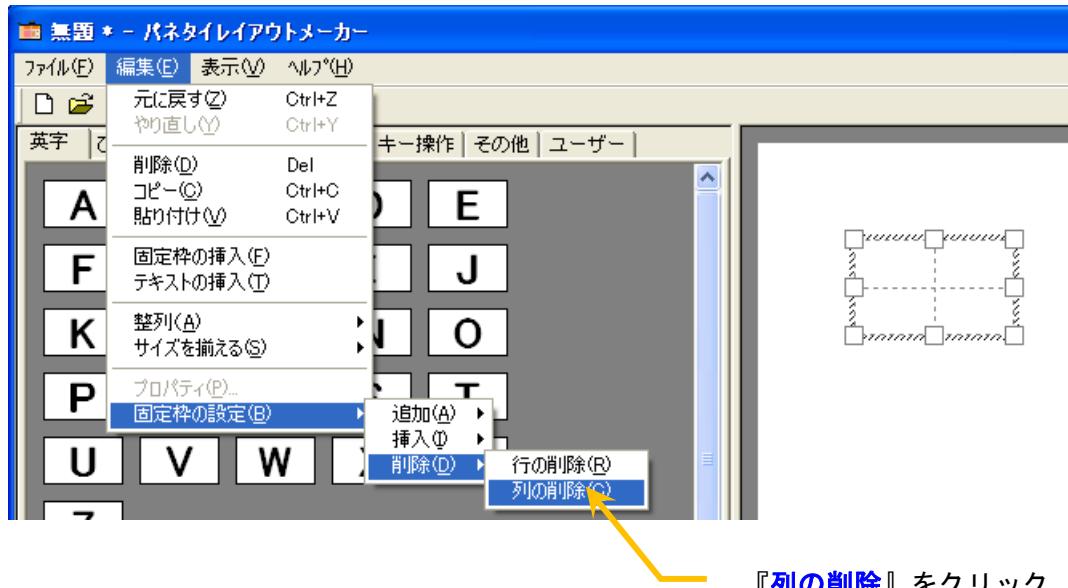
行の削除の操作を終了する場合はダイアログの終了ボタンを押します。



## [列の削除]

### メニューから削除

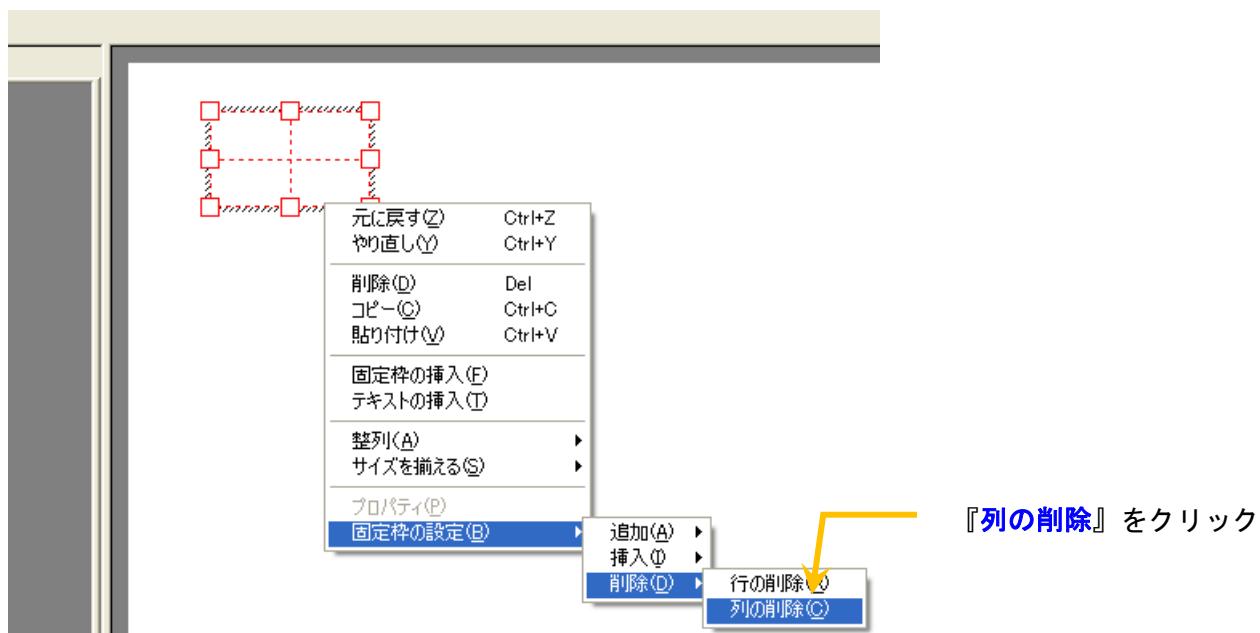
メニューの『編集』 → 『固定枠の設定』 → 『削除』 → 『列の削除』をクリックします。



『列の削除』をクリック

### 右クリックから削除

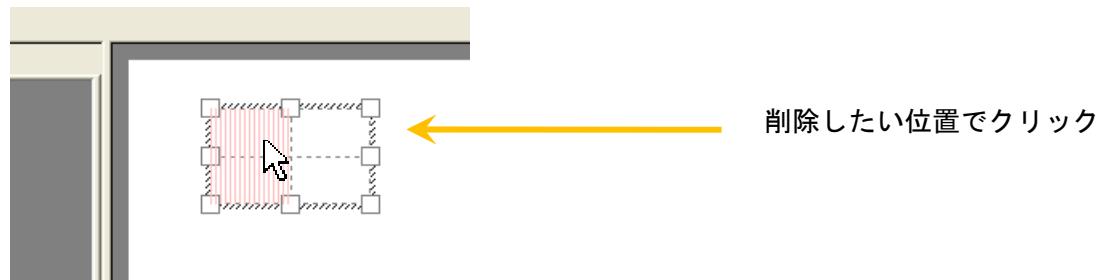
固定枠の枠上で右クリックし、『固定枠の設定』 → 『削除』 → 『列の削除』をクリックします。



『列の削除』をクリック

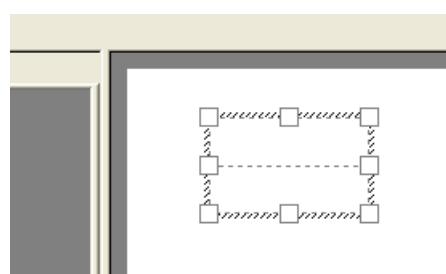
選択中の列が赤く表示されます。

列を削除したい固定枠の位置でクリックします。



固定枠の列が1行削除されます。

この操作は連続して行うことができます。



列の削除の操作を終了する場合はダイアログの終了ボタンを押します。



### 3.5. テキストの設定

レイアウトにテキストを追加し、移動やキーの配置、文字の表示を行うことができます。

詳細は [ 3.5.1 テキストの挿入 ]、[ 3.5.2 テキストの移動・サイズ変更 ]、[ 3.5.2.1 テキストのプロパティ変更 ] を参照してください。

#### 3.5.1. テキストの挿入

テキストの挿入の方法は、メニューから挿入(3.5.1.1)と右クリックから挿入(3.5.1.2)の2通りあります。

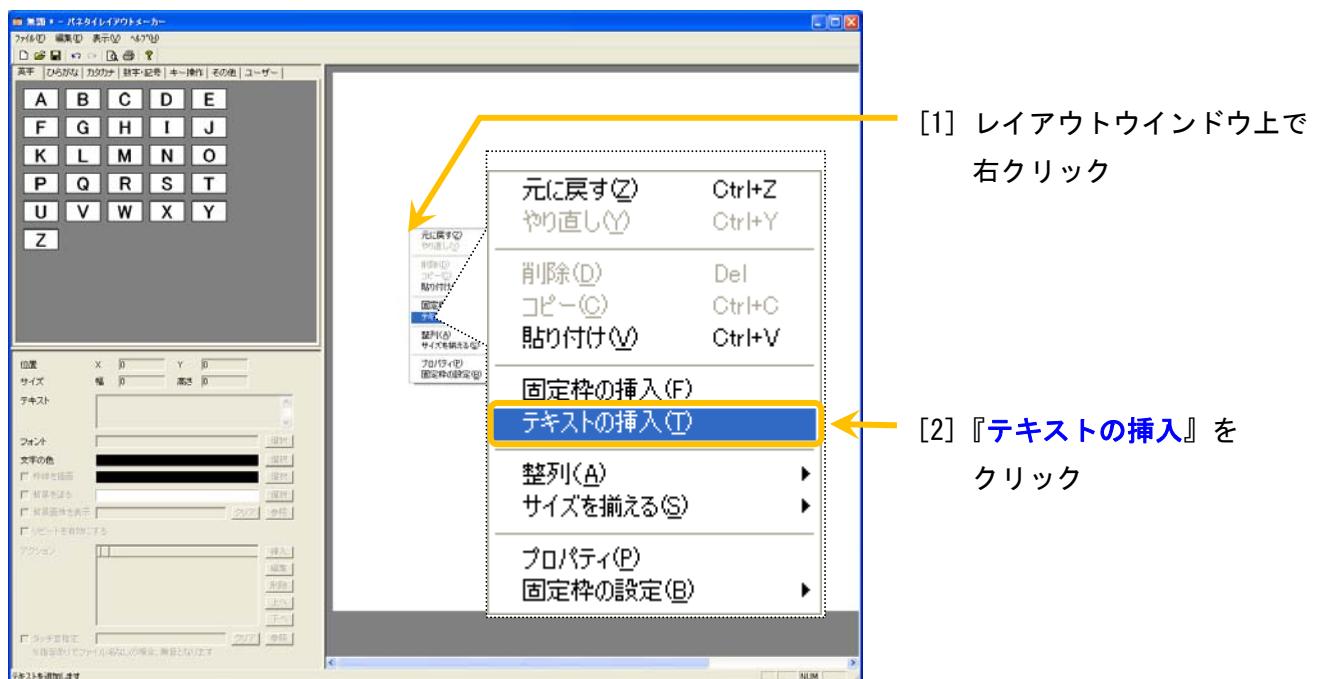
##### 3.5.1.1. メニューから挿入

メニューの『編集』 → 『テキストの挿入』をクリックすると、キーが左上に配置されます。



##### 3.5.1.2. 右クリックから挿入

レイアウトウインドウ上で右クリックし、『テキストの挿入』をクリックします。



### 3.5.2. テキストの移動・サイズ変更

テキストのサイズを変更することができます。

テキストの枠付近にカーソルを移動させるとテキストの形状が以下のように変化します。



マウスカーソルが移動(+)や拡大・縮小(↑・↓・↔)に変化します。

この状態でドラッグ&ドロップを行うことで移動やサイズ変更をすることができます。

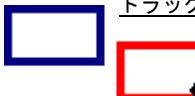
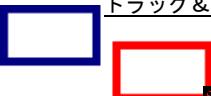
テキストを移動	テキストの拡大・縮小
 枠内にカーソルを置いて ドラッグ&ドロップ	 枠上にカーソルを置いて ドラッグ&ドロップ

テキストの移動・サイズ変更は複数のテキストを同時に行うこともできます。

Ctrlキーを押しながら複数のテキストをクリックすると、テキストの形状が以下のように変化します。



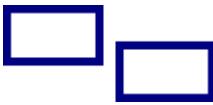
この状態でCtrlキーを押しながらドラッグを開始することで複数テキストの移動やサイズ変更をすることができます。

複数テキストを移動	複数テキストの拡大・縮小
 枠内にカーソルを置いて Ctrl+ドラッグ&ドロップ	 枠上にカーソルを置いて Ctrl+ドラッグ&ドロップ

また、お使いのキーボードにあるカーソルキーを使用してもテキストを移動することができます。



カーソルキーを使用することで細かなテキスト移動を行うことができます。

テキストの移動	複数テキストの移動
 テキストを選択状態にして カーソルキー押下	 複数テキストを選択状態にして カーソルキー押下

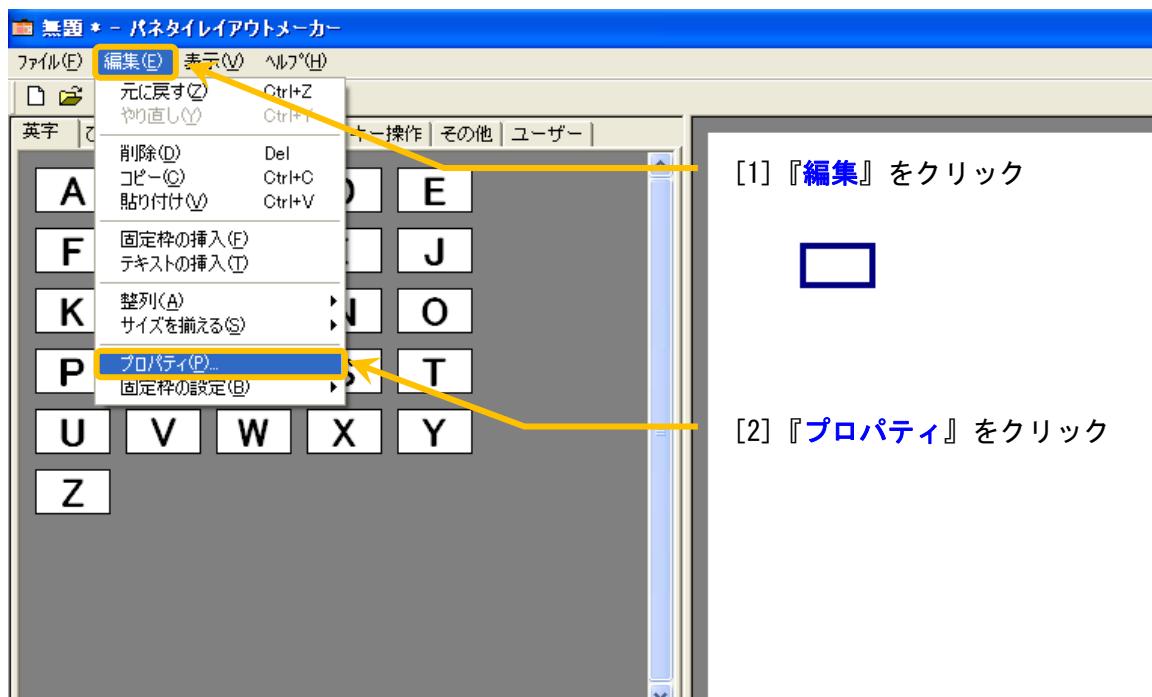
### 3.5.2.1. テキストのプロパティ変更

プロパティダイアログ、またはプロパティウィンドウにてテキストに表示されている文字や色、背景を変更することができます。

プロパティダイアログ表示方法は、メニューから表示(3.5.2.2)と右クリックから表示(3.5.2.3)、ダブルクリックから表示(3.5.2.4)の3通りあります。

### 3.5.2.2. メニューから表示

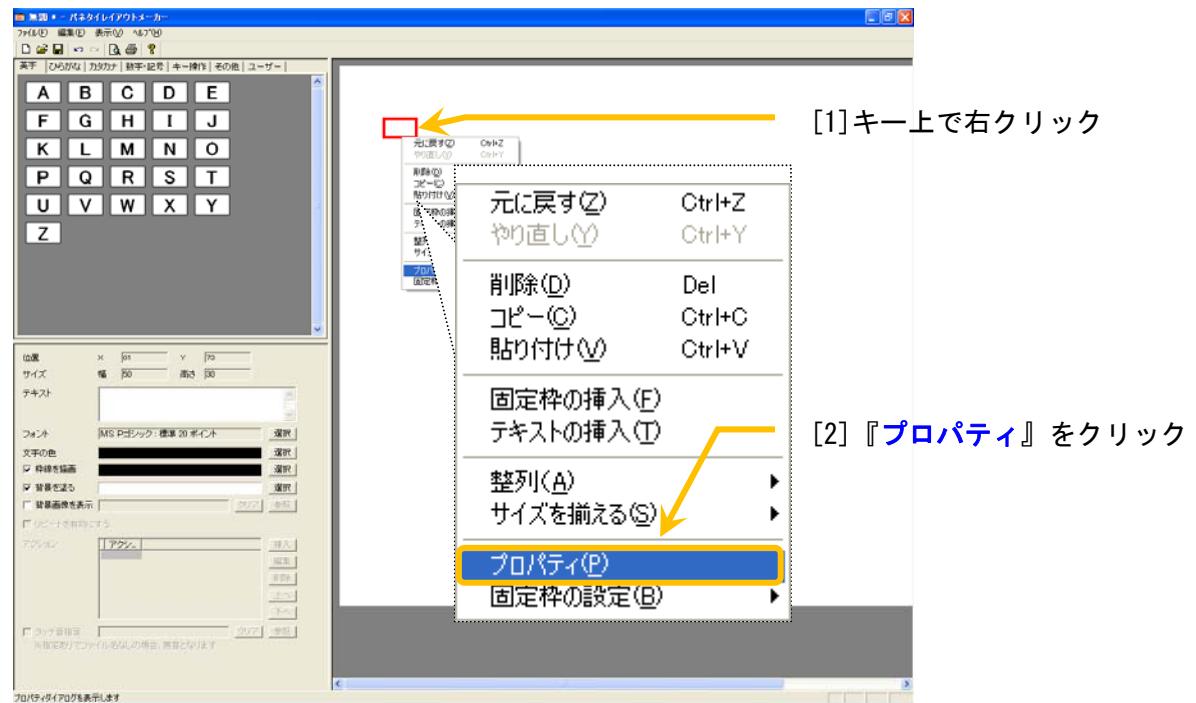
テキストをクリックにて選択した状態でメニューの『編集』→『プロパティ』をクリックします。



すると、エリアプロパティダイアログ(3.5.2.5)が表示されます。

### 3.5.2.3. 右クリックから表示

テキスト上で右クリックし、『プロパティ』をクリックします。



すると、エリアプロパティダイアログ(3.5.2.5)が表示されます。

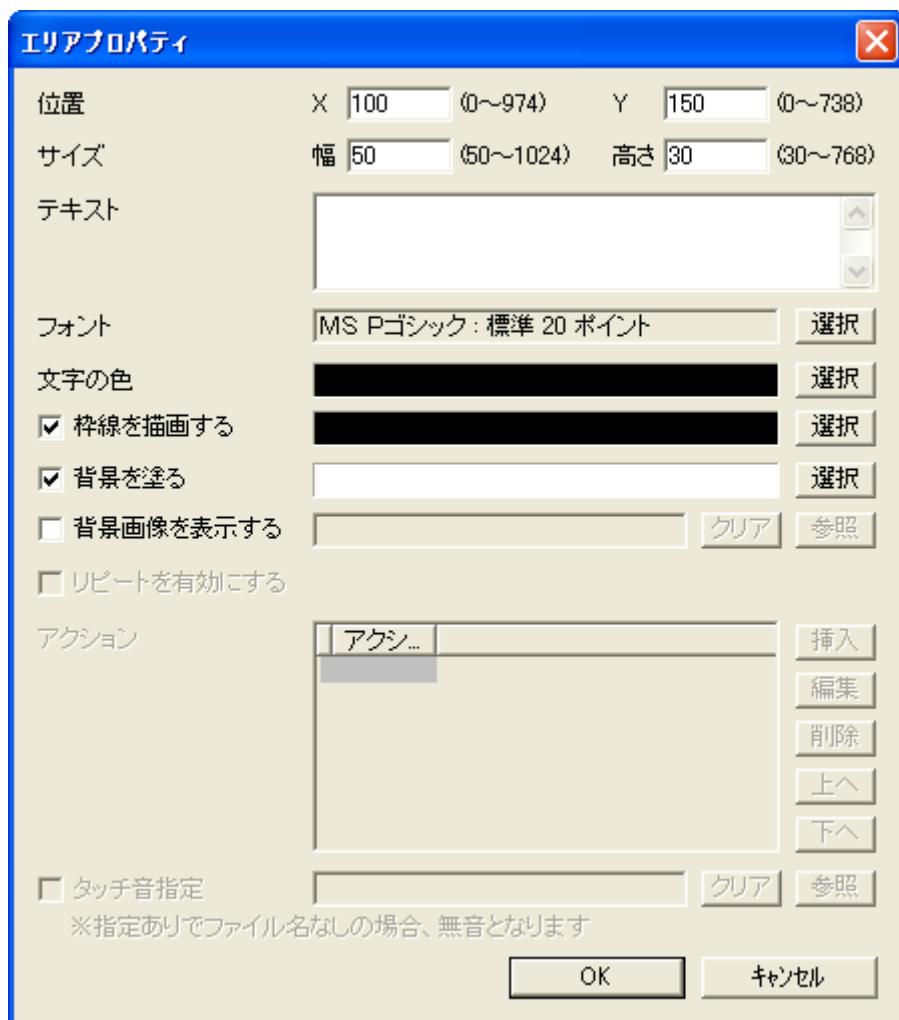
### 3.5.2.4. ダブルクリックから表示

テキストの枠付近にカーソルを移動させるとテキストの形状が以下のように変化します。



この状態でダブルクリックすると、エリアプロパティダイアログ(3.5.2.5)が表示されます。

### 3.5.2.5. エリアプロパティダイアログ



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることでテキストが実際に変更されます。

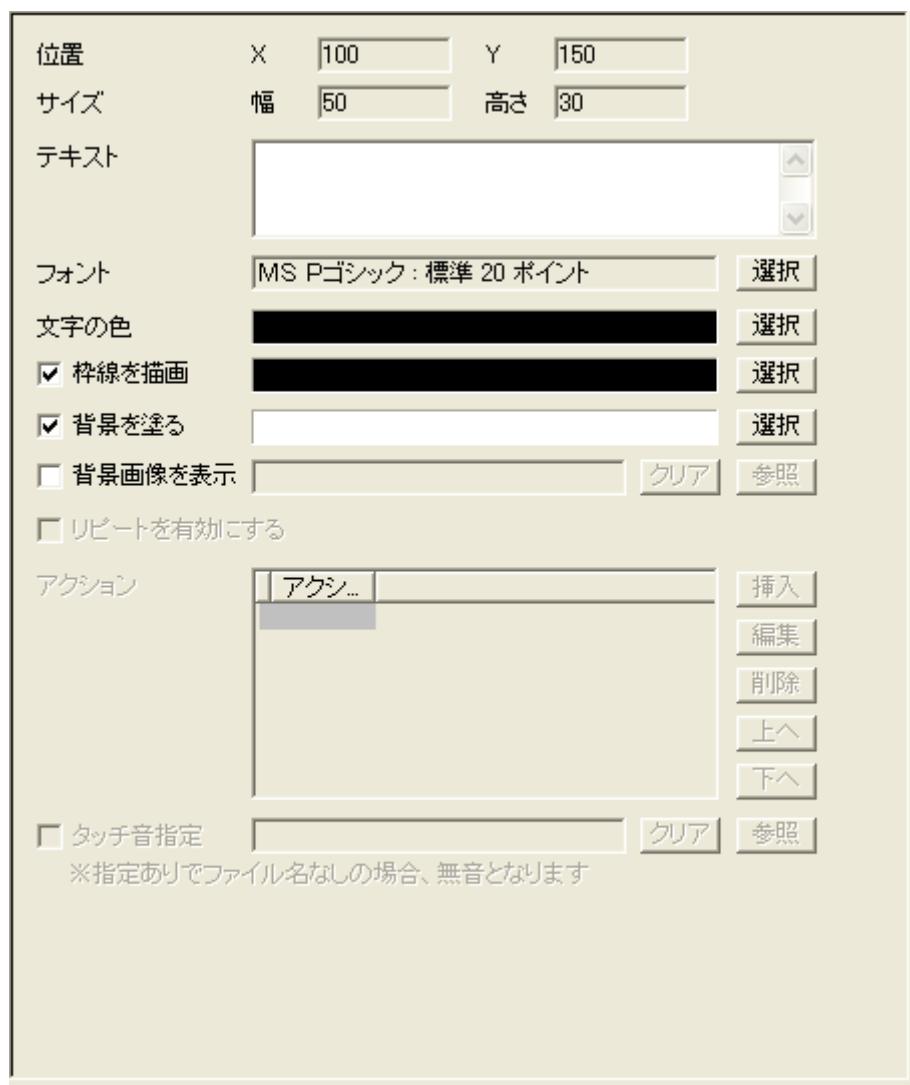
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。

各項目の詳細は、[ 3.5.2.7 位置変更 ]、[ 3.5.2.8 サイズ変更 ]、[ 3.5.2.9 テキスト(表示文字)変更 ]、[ 3.5.2.10 フォント変更 ]、[ 3.5.2.11 文字の色変更 ]、[ 3.5.2.12 枠線の表示・非表示 ]、[ 3.5.2.13 背景色の指定 ]、[ 3.5.2.14 背景画像の設定 ] を参照してください。

※ テキストではリピートを有効にする、アクション、タッチ音は指定できません。

※ アクションを指定したい場合はキーを追加(3.2.1)してください。

### 3.5.2.6. プロパティウインドウ



ここで内容の変更を行うと、即座にテキストが変更されます。

各項目の詳細は、[ 3.5.2.9 テキスト(表示文字)変更 ]、[ 3.5.2.10 フォント変更 ]、[ 3.5.2.11 文字の色変更 ]、[ 3.5.2.12 枠線の表示・非表示 ]、[ 3.5.2.13 背景色の指定 ]、[ 3.5.2.14 背景画像の設定 ] を参照してください。

※ プロパティウインドウから[位置][サイズ]を変更することはできません。

※ テキストではリピートを有効にする、アクション、タッチ音は指定できません。

※ アクションを指定したい場合はキーを追加(3.2.1)してください。

### 3.5.2.7. 位置変更

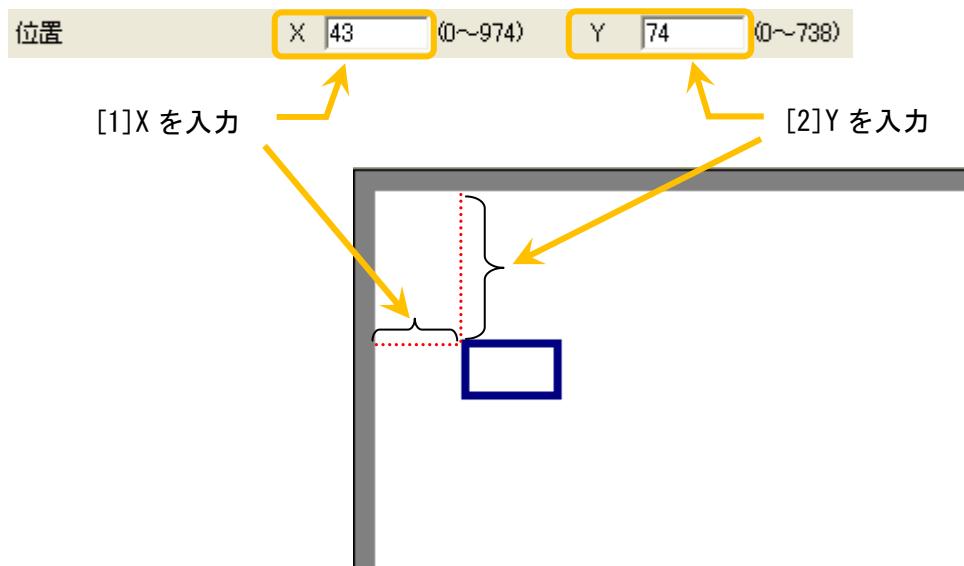
[位置]の値を変更するとテキストの場所を変更することができます。

X…レイアウトの左端からの距離(横)

0から974までの数値を入力します。

Y…レイアウトの上端からの距離(縦)

0から738までの数値を入力します。



### 3.5.2.8. サイズ変更

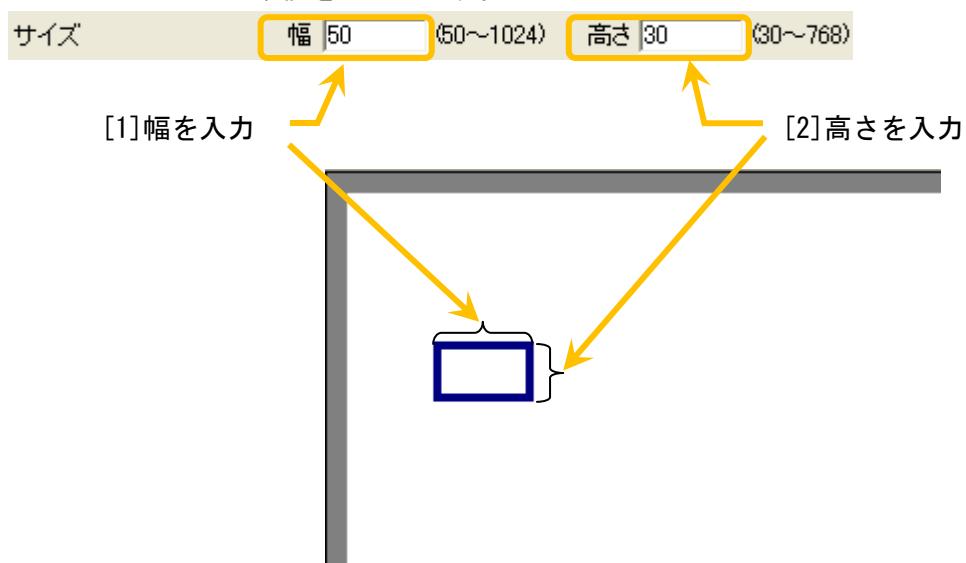
[サイズ]の値を変更するとテキストの大きさを変更することができます。

幅…テキストの横幅

50から1024の数値を入力します。

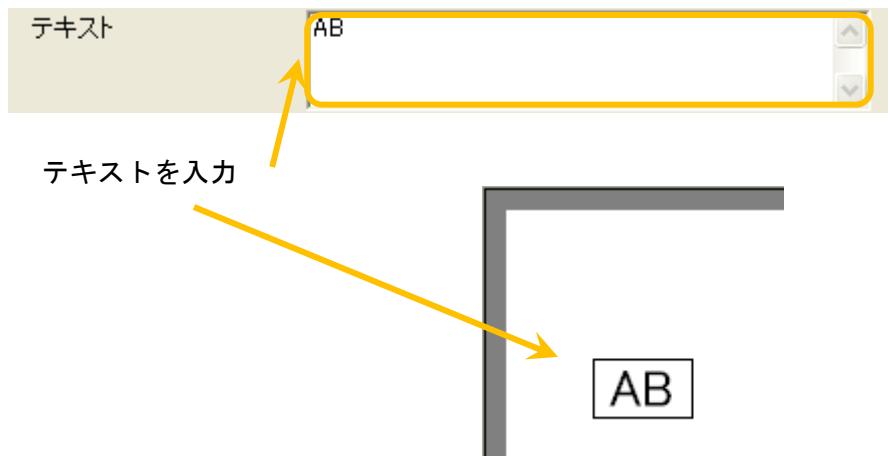
高さ…テキストの高さ

30から768の数値を入力します。



### 3.5.2.9. テキスト(表示文字)変更

[テキスト]の内容を変更するとテキストに表示されている文字を変更することができます。

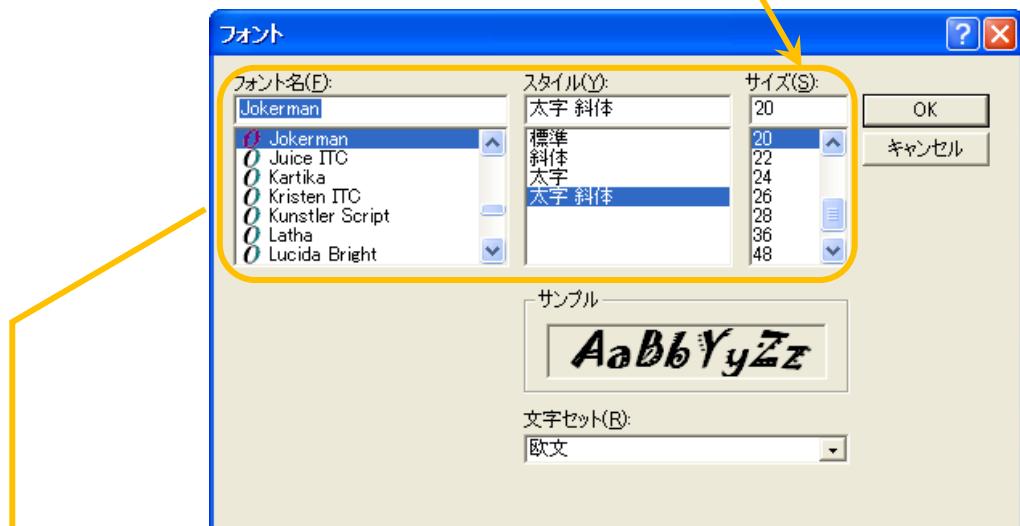


### 3.5.2.10. フォント変更

[フォント]の内容を変更するとテキストに表示されている文字のフォントを変更することができます。

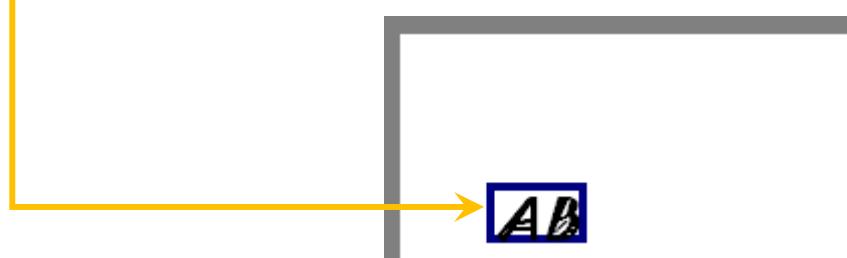
変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

すると、フォントダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることでフォントが変更されます。

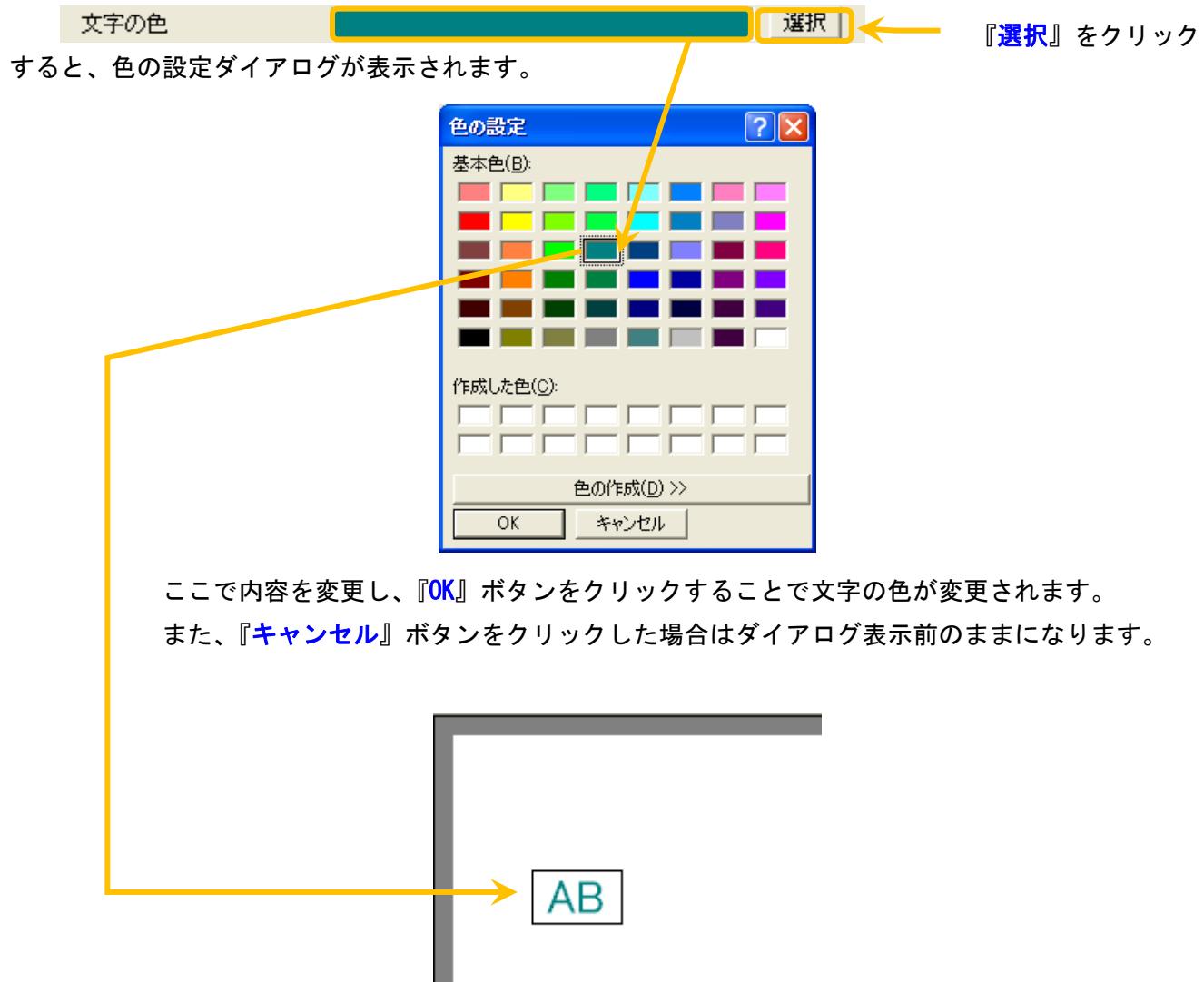
また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.5.2.11. 文字の色変更

[文字の色]の内容を変更するとテキストに表示されている文字の色を変更することができます。

色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

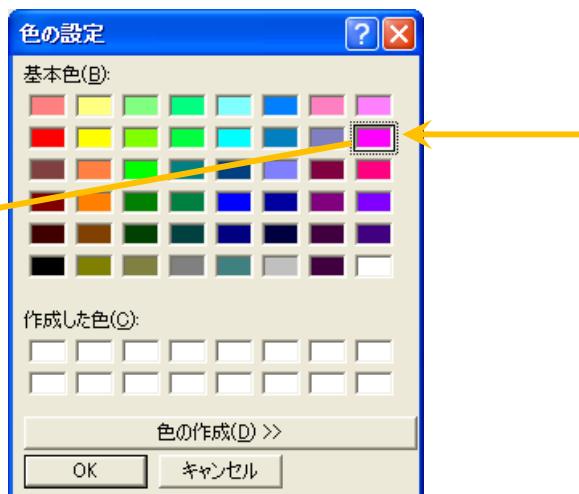


### 3.5.2.12. 枠線の表示・非表示

[枠線を描画する]の内容を変更すると枠線の色や表示する・しないを変更することができます。

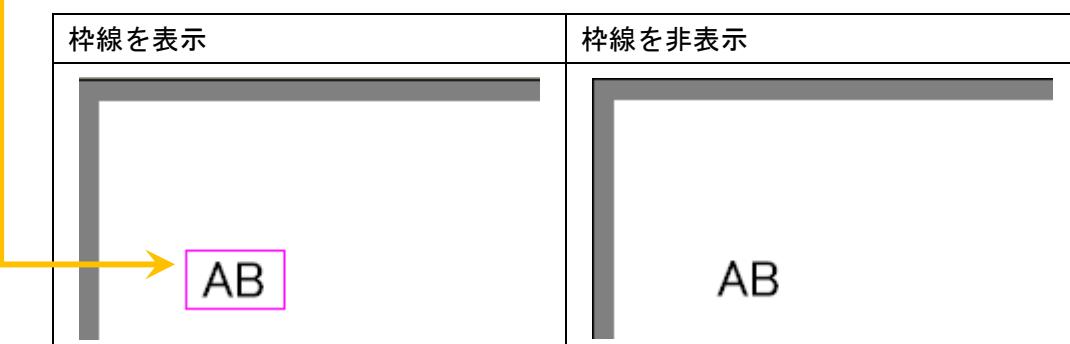
枠線を描画する 選択 『選択』をクリック  
ON (☑) … 枠線を表示  
OFF (□) … 枠線を非表示

色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。  
すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで枠線の色が変更されます。

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.5.2.13. 背景色の指定

[背景を塗る]の内容を変更すると背景の色や背景を塗る・塗らないを変更することができます。



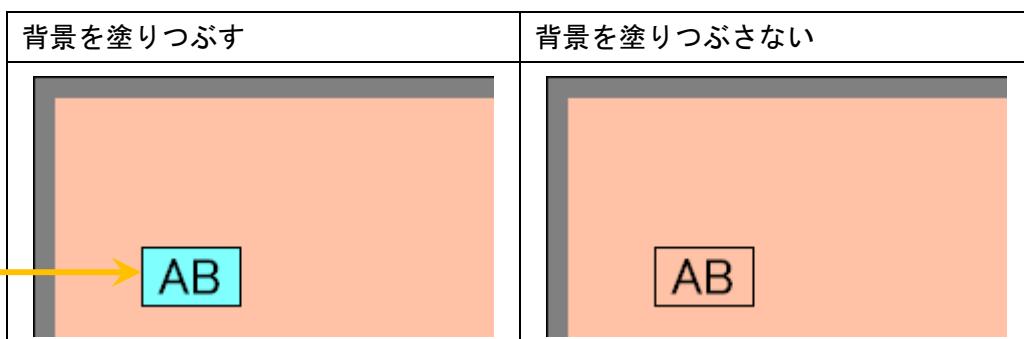
色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで背景の色が変更されます。

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



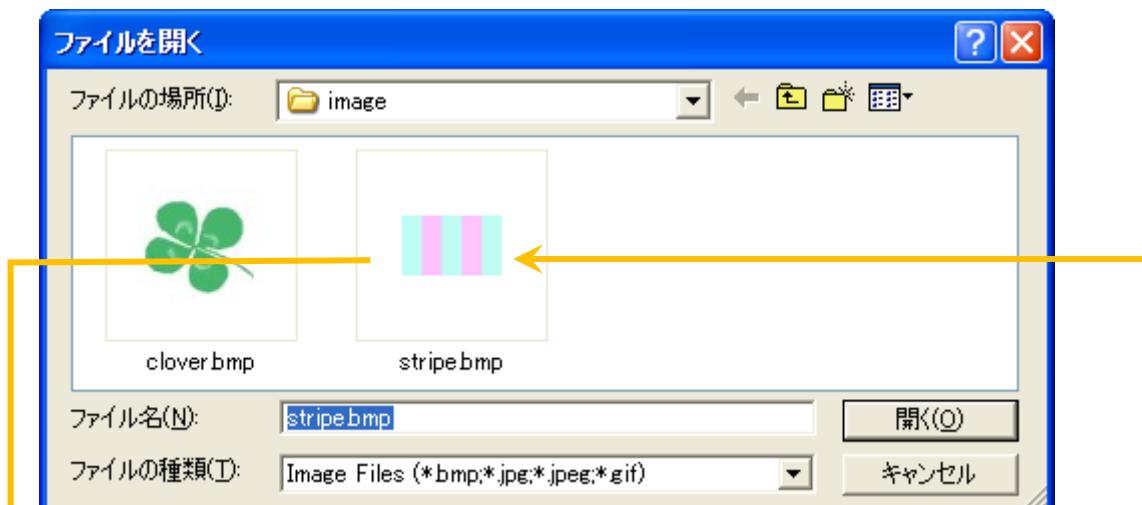
※ 背景を塗りつぶさない場合、レイアウトの背景色で塗りつぶされます。

### 3.5.2.14. 背景画像の設定

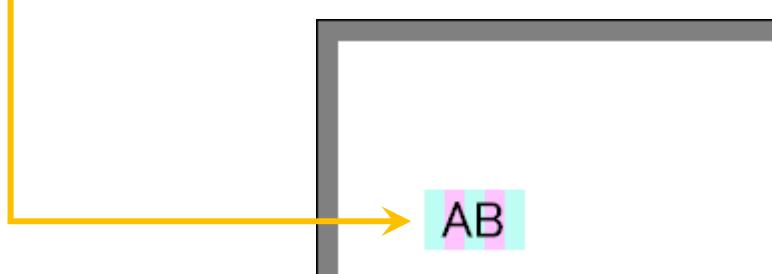
[背景画像を表示する]の内容を変更すると背景に画像を設定する・しないを変更することができます。



背景画像を設定するにはチェックをON(□)にしてから右にある『参照』ボタンをクリックします。すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。



ここで画像を選択し、『開く』ボタンをクリックすることで背景画像が指定されます。また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



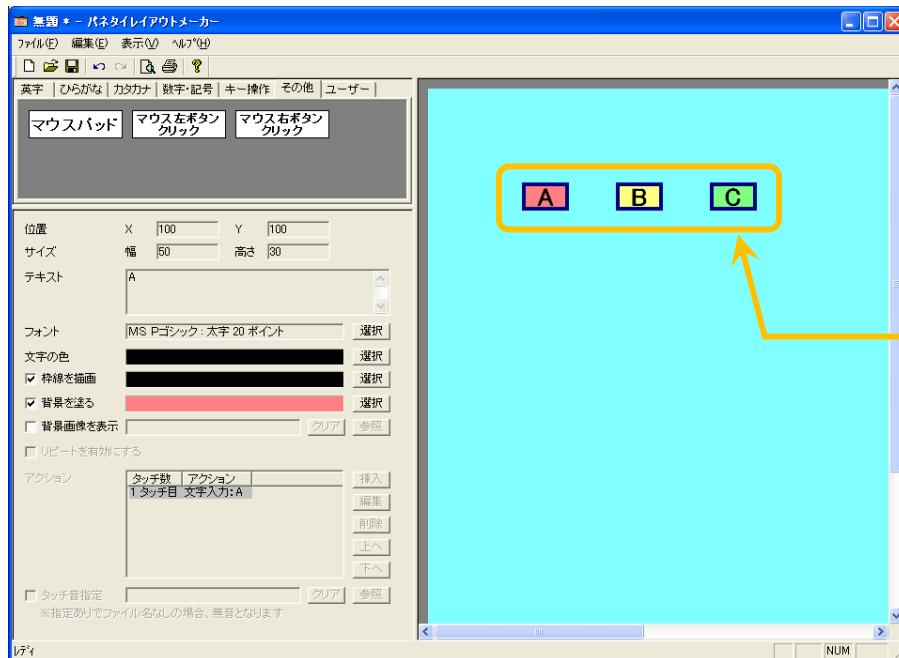
※ 画像とテキストの縦横比が異なる場合も領域いっぱいに引き伸ばされます。

### 3.6. 複数選択によるプロパティ一括変更

複数のキー(またはテキスト)を同時に選択します。

これにより、一部のプロパティを一括で変更することができます。

複数を同時に選択するには『**Ctrl キー + マウスの左クリック**』で変更したいキーを選択します。

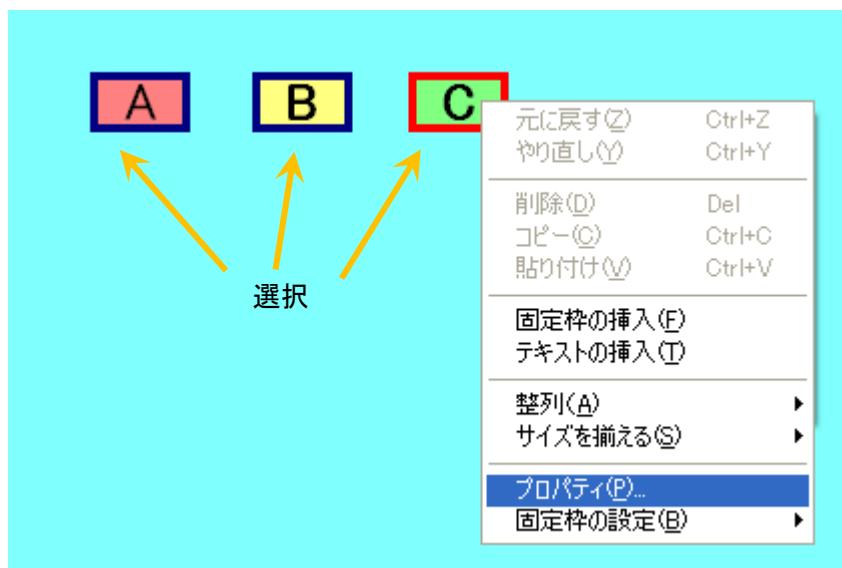


『**Ctrl キー + マウスの左クリック**』で変更したいキーを選択

変更したいキーを全て選択後、プロパティウィンドウまたはプロパティダイアログを表示させて変更します。  
プロパティダイアログ表示方法の詳細は [ 3.2.4.1 メニューから表示 ]、[ 3.2.4.2 右クリックから表示 ] を参照してください。

メニューから表示(3.2.4.1)

右クリックから表示(3.2.4.2)

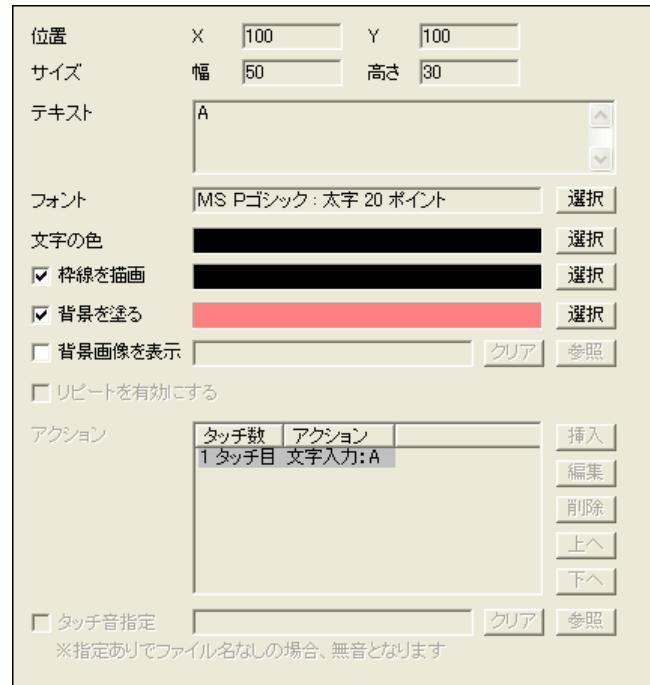


すると、一括変更用のエリアプロパティ(3.6.1)が表示されますので、設定を変更し、『OK』をクリックします。

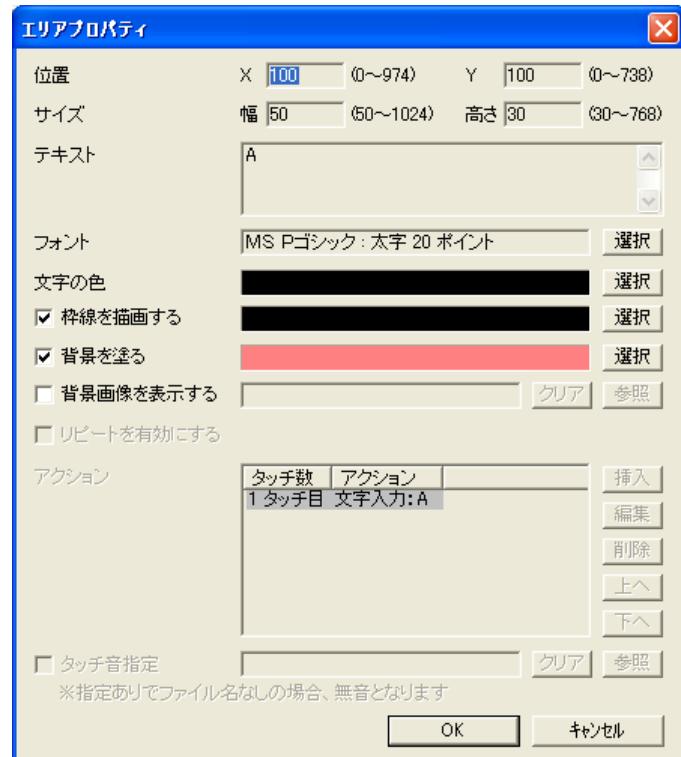
### 3.6.1. 一括変更時のプロパティ

複数選択で一括変更できる項目はフォント、文字の色、枠線、背景のみです。

各項目の詳細は、[ 3.6.1.1 フォント変更 ]、[ 3.6.1.2 文字の色変更 ]、[ 3.6.1.3 枠線の表示・非表示 ]、[ 3.6.1.4 背景色の指定 ]、[ 3.6.1.5 背景画像の設定 ] を参照してください。



プロパティウィンドウ画面



エリアプロパティ画面

※ 初期状態では最初に選択したキーまたはテキストの設定になっていますが、値を変更しない限り設定は反映されません。

### 3.6.1.1. フォント変更

[フォント]の内容を変更するとキー(またはテキスト)に表示されている文字のフォントを変更することができます。

変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

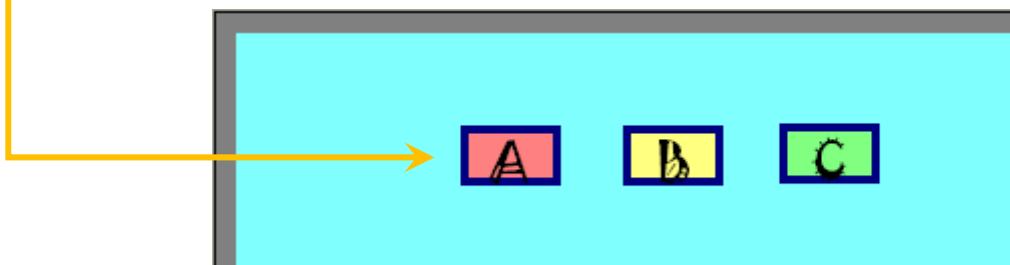
すると、フォントダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることでフォントが変更されます。

(設定を変更した箇所のみ反映されます。)

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.6.1.2. 文字の色変更

[文字の色]の内容を変更するとキー(またはテキスト)に表示されている文字の色を変更することができます。色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

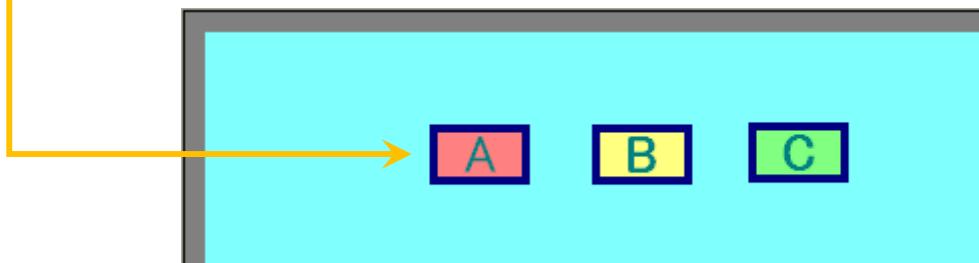
すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで文字の色が変更されます。

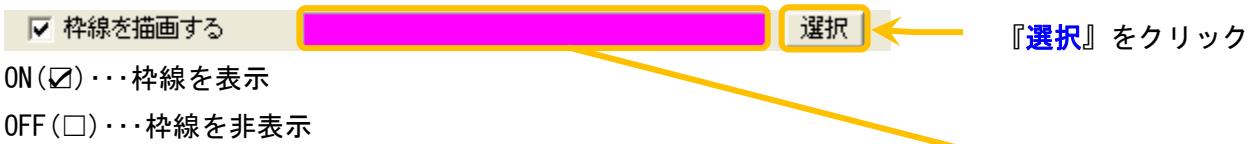
(設定を変更した箇所のみ反映されます。)

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.6.1.3. 枠線の表示・非表示

[枠線を描画する]の内容を変更すると枠線の色や表示する・しないを変更することができます。



色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

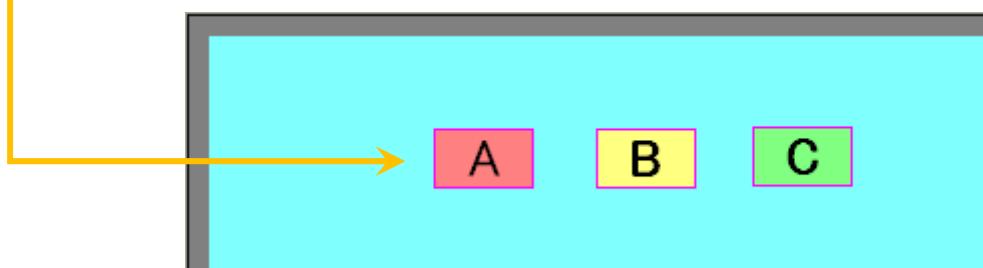
すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで枠線の色が変更されます。

(設定を変更した箇所のみ反映されます。)

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



### 3.6.1.4. 背景色の指定

[背景を塗る]の内容を変更すると背景の色や背景を塗る・塗らないを変更することができます。



色を変更するには右にある『選択』ボタンをクリックします。

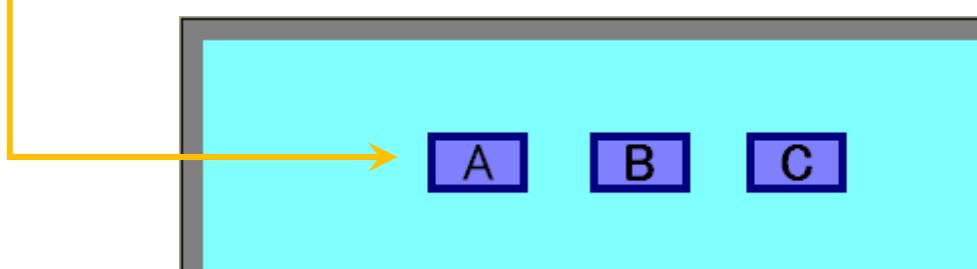
すると、色の設定ダイアログが表示されます。



ここで内容を変更し、『OK』ボタンをクリックすることで背景の色が変更されます。

(設定を変更した箇所のみ反映されます。)

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。



※ 背景を塗りつぶさない場合、レイアウトの背景色で塗りつぶされます。

### 3.6.1.5. 背景画像の設定

[背景画像を表示する]の内容を変更すると背景に画像を設定する・しないを変更することができます。

背景画像を表示する C:\image\stripe.bmp   『参照』をクリック

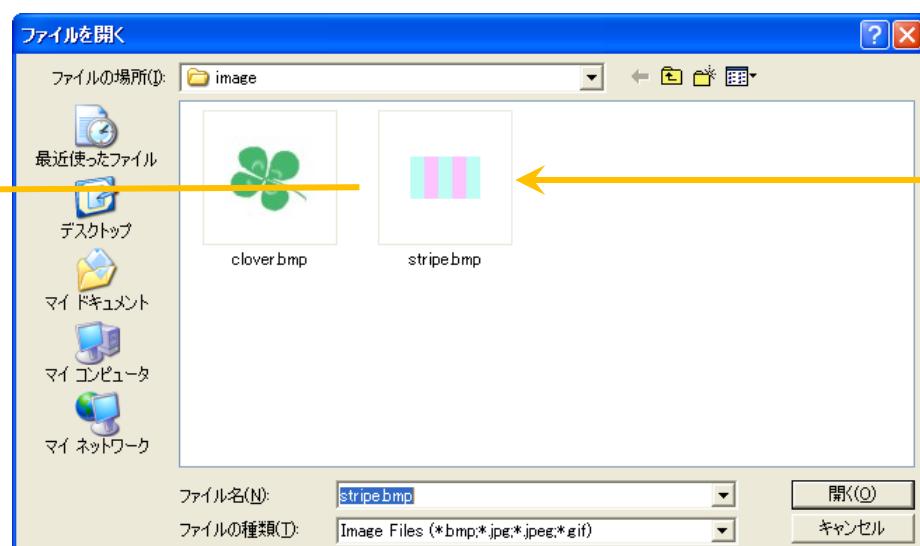
ON(□) … 背景画像を使用する (※)

OFF(□) … 背景画像を使用しない

※ 背景画像指定時は背景色の指定は無視されます。

設定したファイルを取り消したい場合は『クリア』ボタンをクリックします。

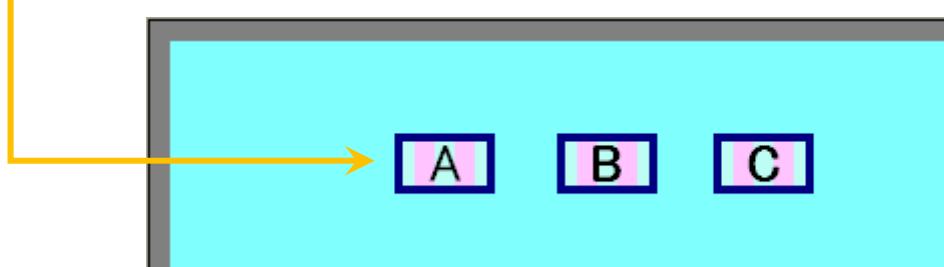
背景画像を設定するにはチェックをON(□)にしてから右にある『参照』ボタンをクリックします。すると、ファイル選択ダイアログが表示されます。



ここで画像を選択し、『開く』ボタンをクリックすることで背景画像が指定されます。

(設定を変更した箇所のみ反映されます。)

また、『キャンセル』ボタンをクリックした場合はダイアログ表示前のままになります。

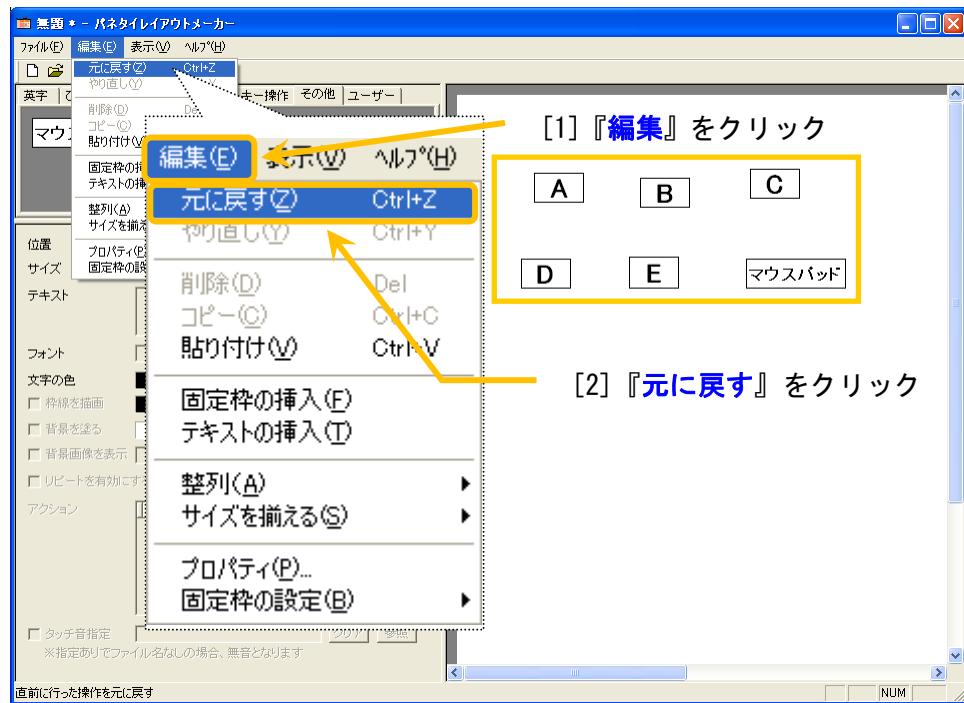


※ 画像とキー(またはテキスト)の縦横比が異なる場合も領域いっぱいに引き伸ばされます。

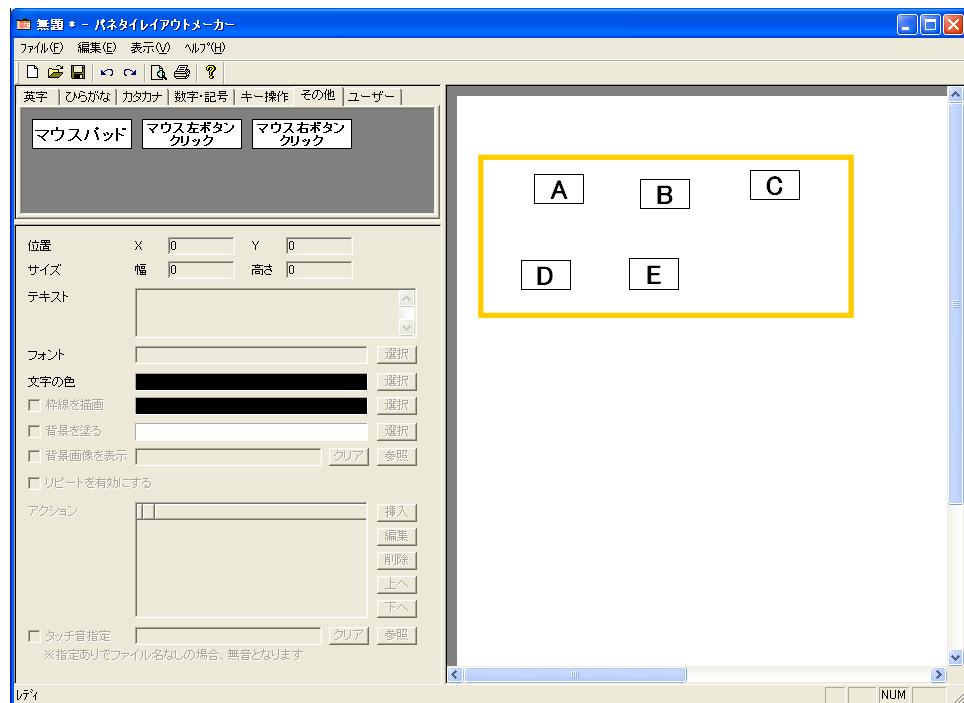
### 3.7. 元に戻す

画面をひとつ前の状態に戻します。下の画像は、最後に「マウスパッド」キーを置いたものです。

メニューの『編集』 → 『元に戻す』をクリックします。



すると「マウスパッド」を配置する前の状態に戻ります。



※ キーボードの『Ctrl + Z』を押しても、同じ動作が可能です。

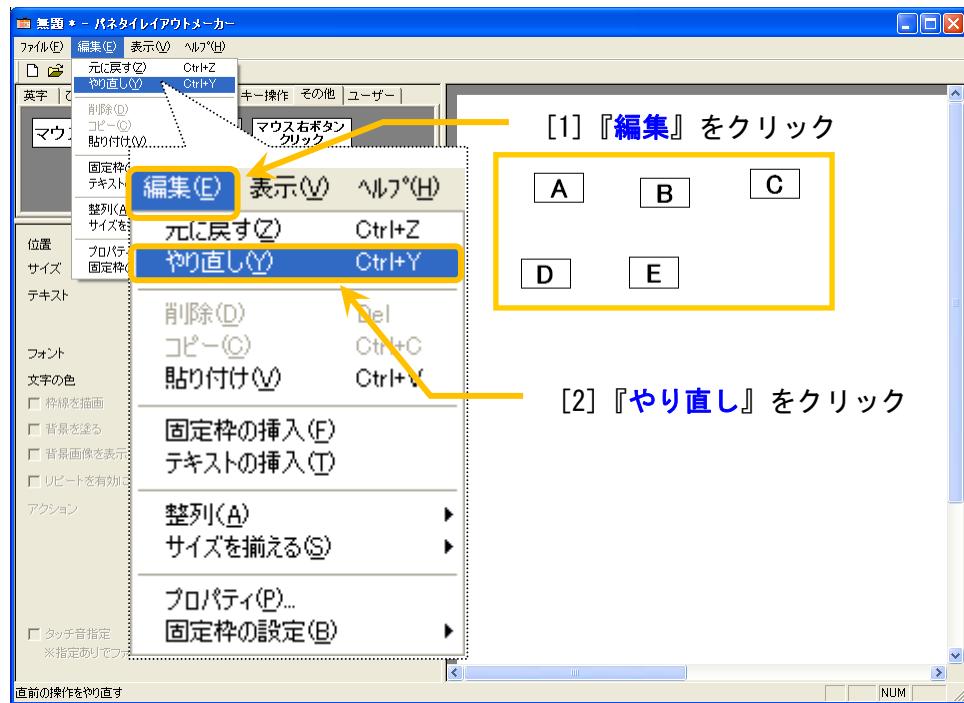
※ 1つ前の操作がない時は、『元に戻す』ボタンはグレーアウトになっています。(例:起動直後など)

※ ユーザーキャンパスでは『元に戻す』は出来ません。

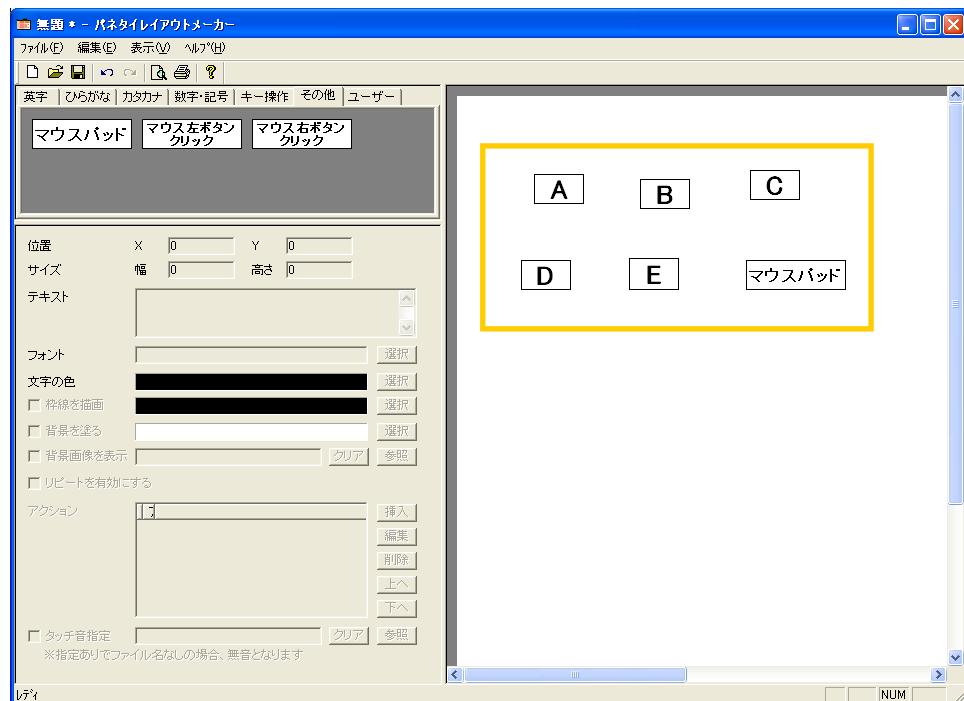
### 3.8. やり直し

元に戻した動作をやり直します。下の画像は『元に戻す(3.7)』からの続きです。

メニューの『編集』 → 『やり直し』をクリックします。



「マウスパッド」が再配置されます。



※ キーボードの『Ctrl + Y』を押しても、同じ動作が可能です。

※ 『元に戻す』を行っていない時は、『やり直し』ボタンはグレーアウトになっています。

※ ユーザーキャンパスでは『やり直し』は出来ません。

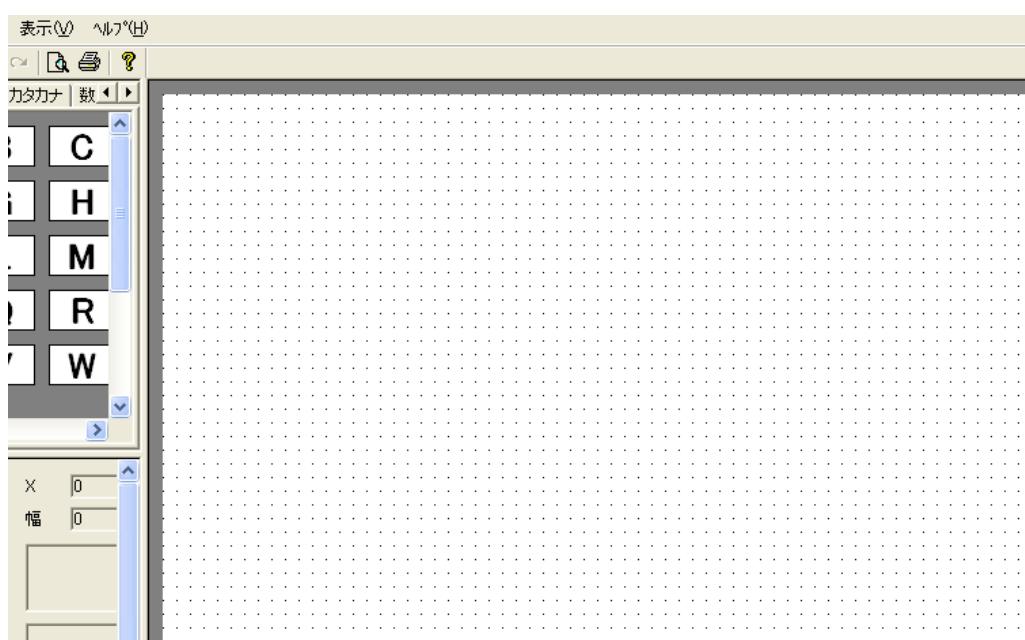
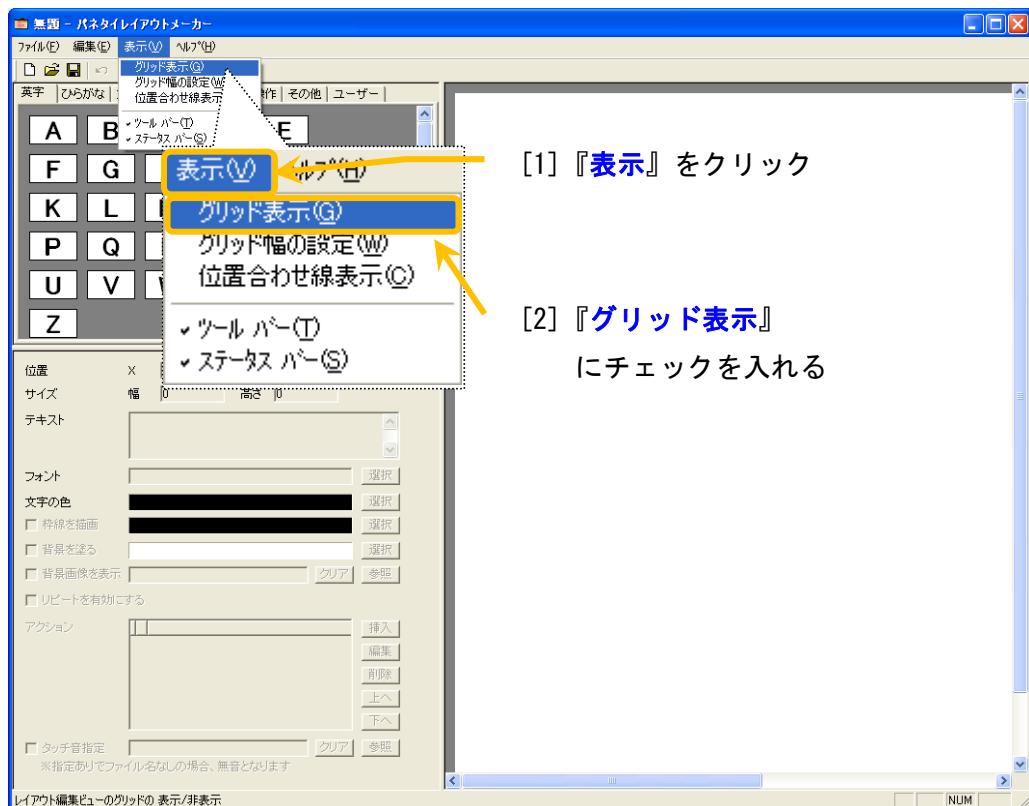
## 4. 画面表示

### 4.1. グリッドの表示／非表示

グリッドを表示するにはメニューの『表示』 → 『グリッド表示』のチェックを入れます。

また、グリッドを非表示にする場合は、チェックを外します。

※ グリッドは印刷には表示されません。

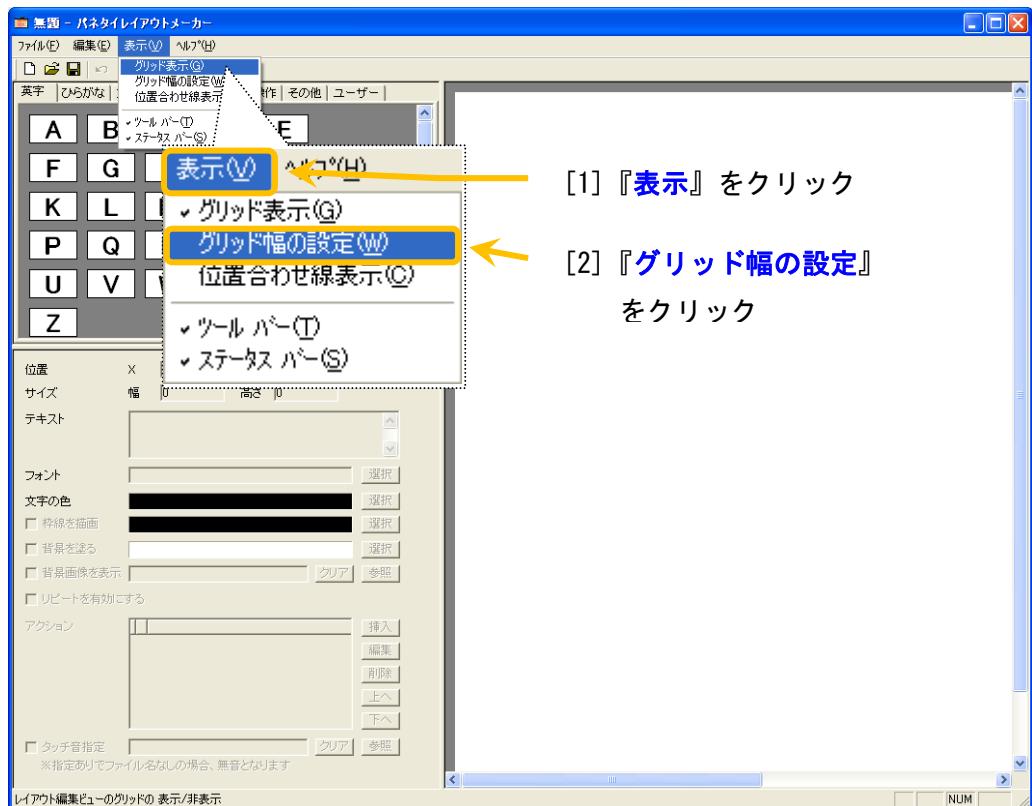


グリッドが表示された画面

※ グリッド表示中は、キーの配置が設定されている間隔となり、作業が楽になります。

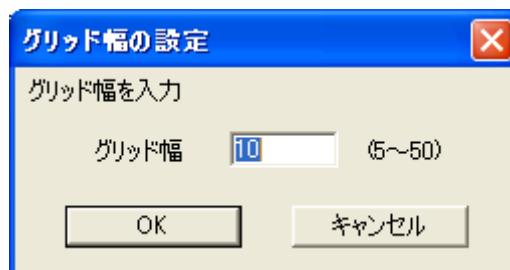
表示されるグリッドのドット間隔の設定を行うことが出来ます。

グリッド幅の設定を行うにはメニューの『表示』 → 『グリッド幅の設定』をクリックします。

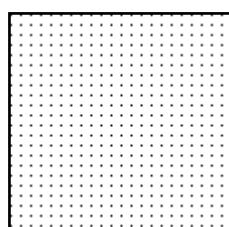


グリッド幅の設定ダイアログが表示されます

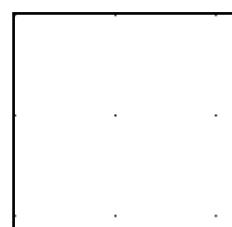
グリッド幅を 5~50 の間で入力し、『OK』ボタンをクリックします。



グリッド幅 : 5



グリッド幅 : 50



※ キーボードカーソルで移動を行った場合は、グリッド幅に関係なく 1 ドット単位で移動を行います。

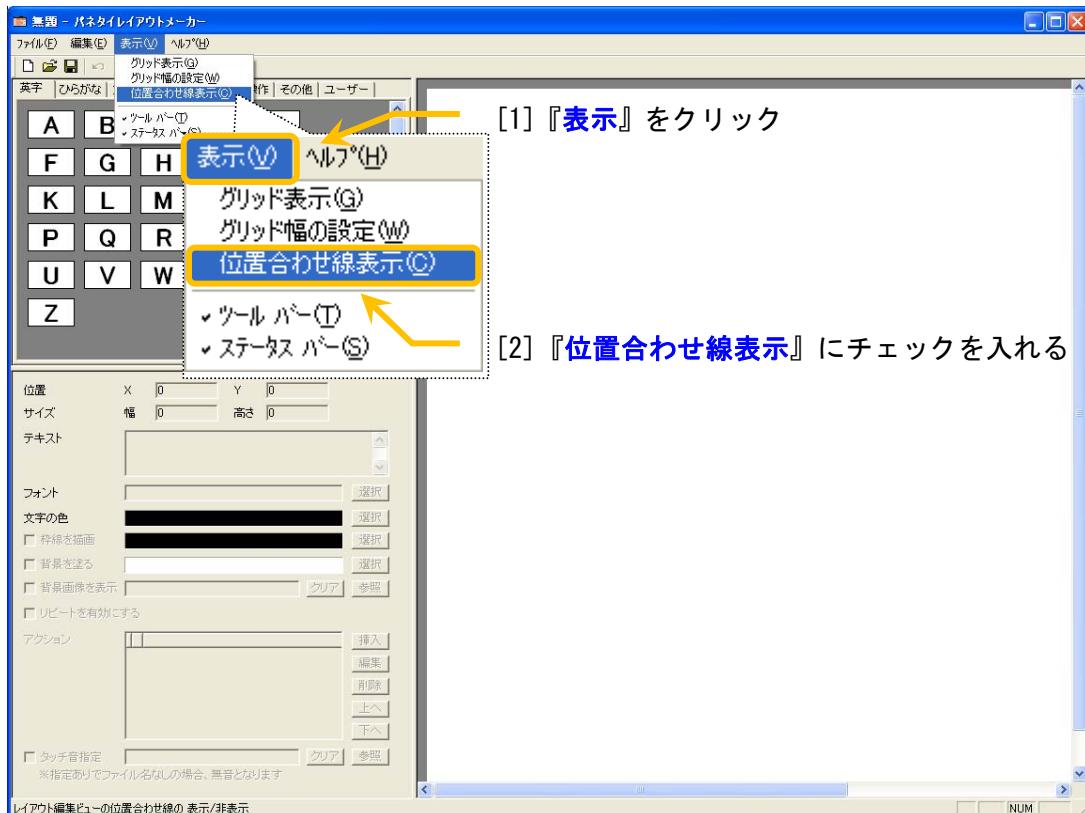
※ 初期値には 10 が設定されています。

## 4.2. 位置合わせ線の表示／非表示

位置合わせ用のシートを作成することができます。

メニューの『表示』 → 『位置合わせ線表示』のチェックを入れます。

また、位置合わせ線を非表示にする場合は、チェックを外します。



この線は印刷時に表示され、タッチ位置がずれた場合などの『パネタイ位置合わせ』を行う場合に使用するレイアウトを作成することができます。

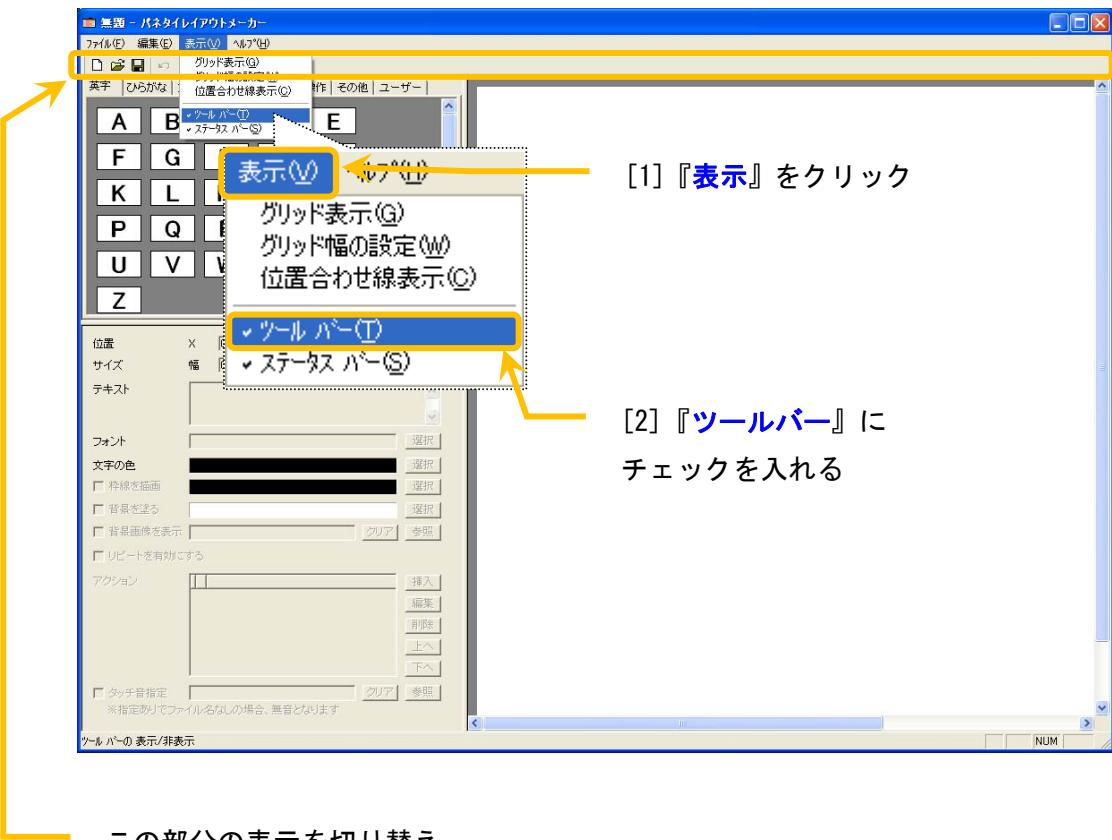


#### 4.3. ツールバーの表示／非表示

ツールバーの表示を切り替えることができます。

メニューの『表示』 → 『ツールバー』のチェックを入れます。

また、ツールバーを非表示にする場合は、チェックを外します。



この部分の表示を切り替え

※ 初期設定では、ツールバーは表示されるようになっています。

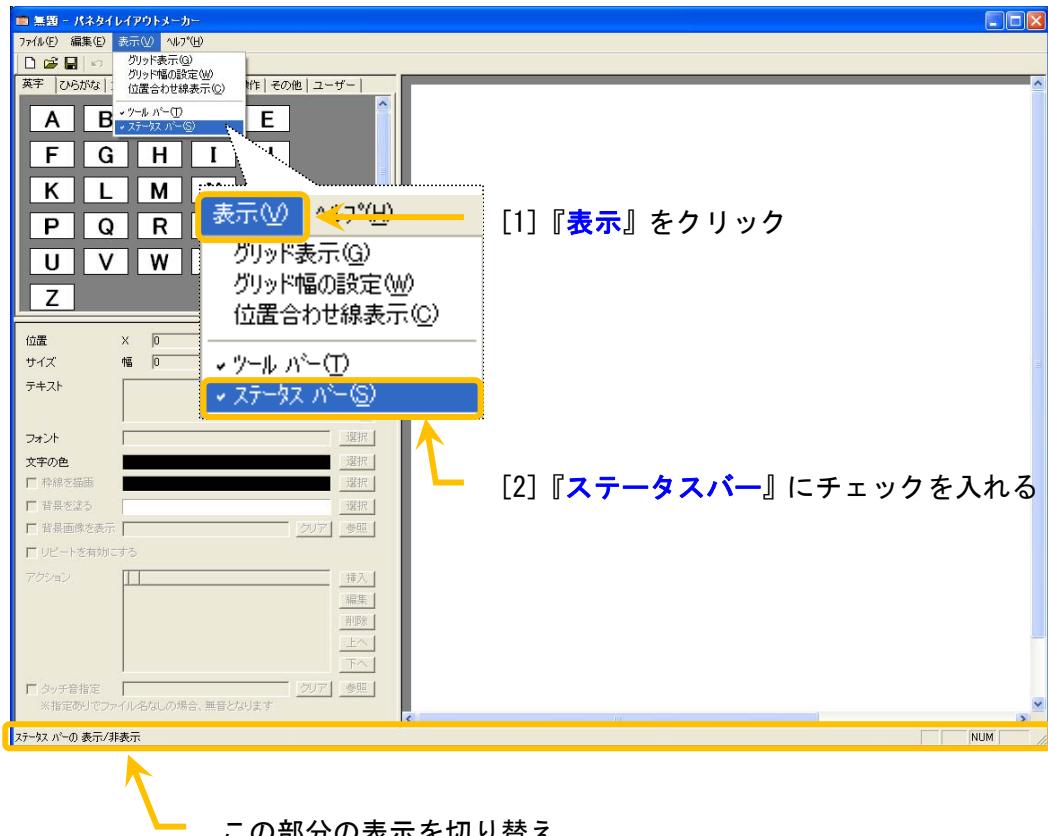
#### 4.4. ステータスバーの表示／非表示

ステータスバーとは、現在のプログラムに関連する情報を表示する領域です。

このステータスバーの表示を切り替えることができます。

メニューの『表示』 → 『ステータスバー』のチェックを入れます。

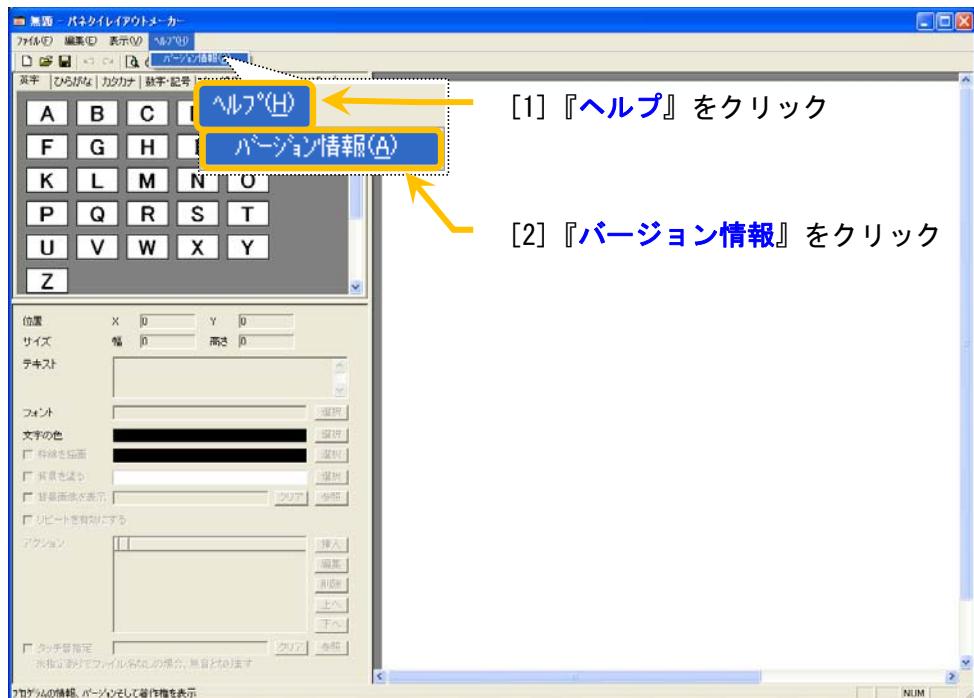
また、ステータスバーを非表示にする場合は、チェックを外します。



#### 4.5. バージョン情報

パネタイレイアウトメーカーのバージョンを確認することができます。

メニューの『ヘルプ』 → 『バージョン情報』をクリックします。



以下のように表示されます。



バージョン情報画面

※ 画像はVer. 2.0.0.0 のものです

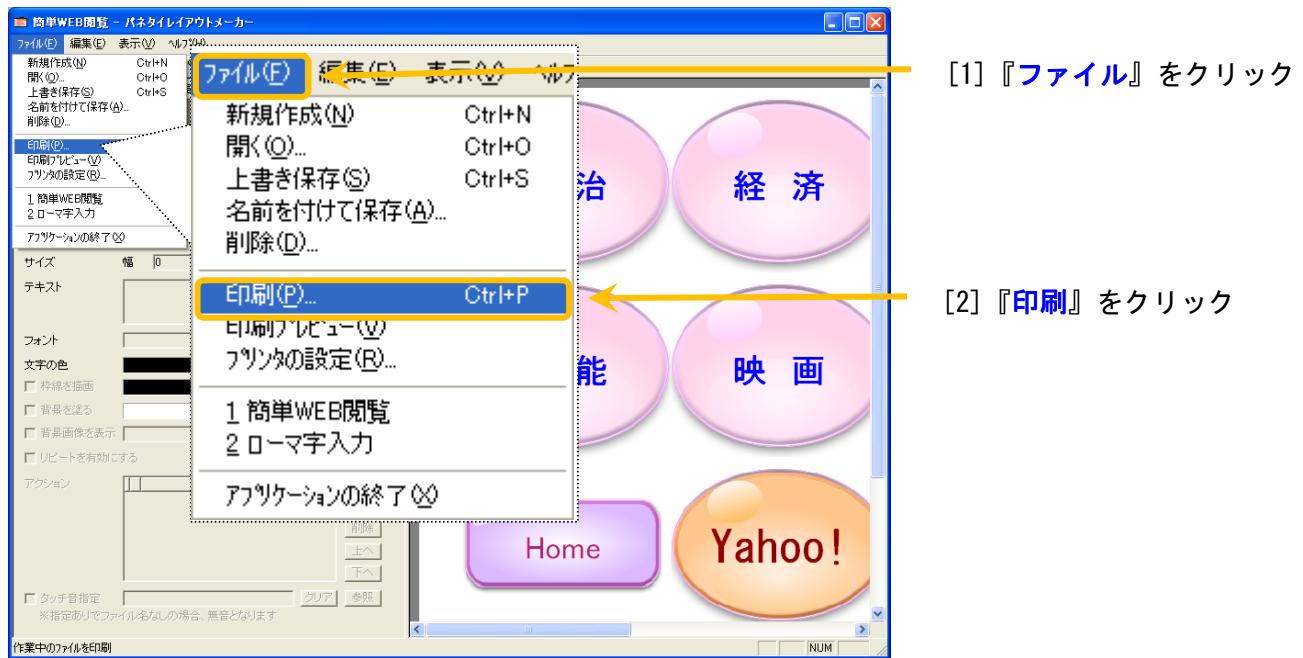
※ バージョン情報画面のリンクをクリックすると、WEBサイトを開くまたはメール送信が行えます。

## 5. 印刷

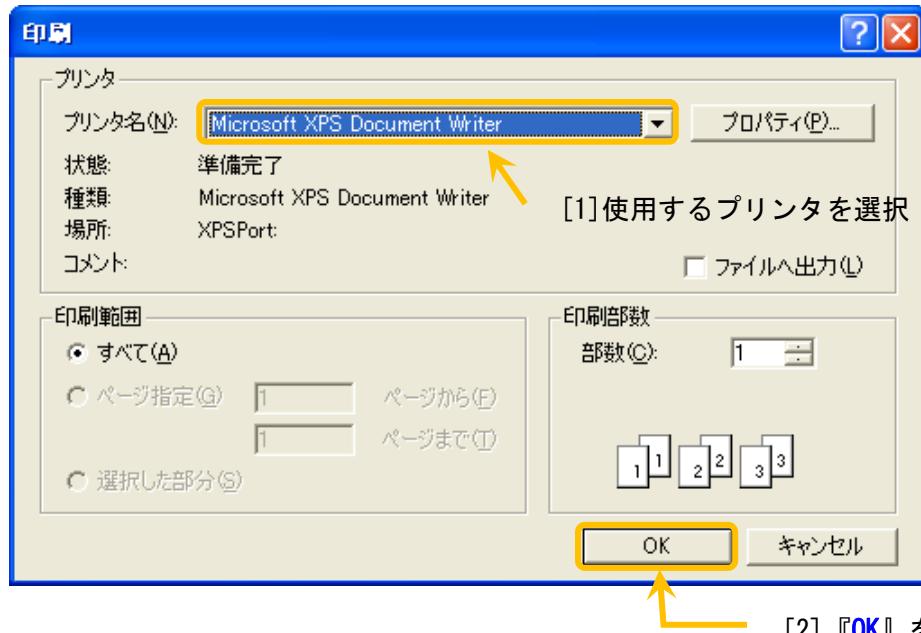
### 5.1. レイアウトの印刷

作成したレイアウトを印刷することができます。

メニューの『ファイル』 → 『印刷』をクリックします。



すると、印刷ダイアログが表示されますのでプリンタを選択して、『OK』ボタンをクリックします。



※ プリンタの設定はプリンタにより異なるのでプリンタの説明書にそって設定してください。

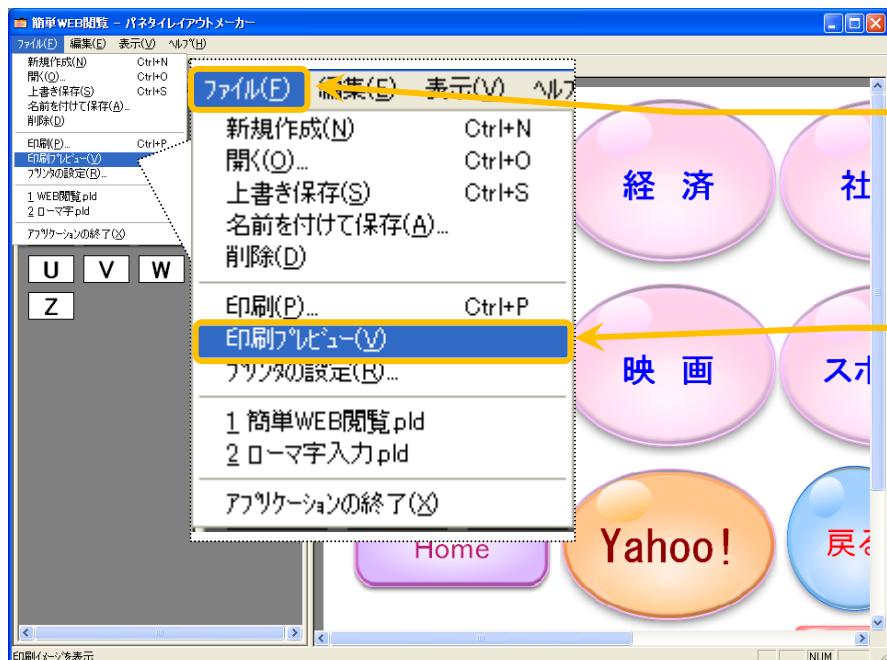
※ 用紙の大きさは、パネタイよりも大きいものを指定してください。(A4 以上がお勧めです)

印刷したレイアウトは枠線に沿って切り取り、パネタイにセットして使用してください。

## 5.2. 印刷プレビュー

印刷イメージをプレビュー表示で確認することができます。

メニューの『ファイル』 → 『印刷プレビュー』をクリックします。



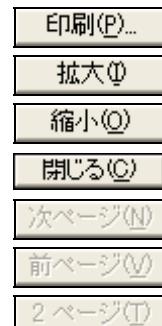
[1] 『ファイル』をクリック

[2] 『印刷プレビュー』を  
クリック

印刷プレビューが表示されます。



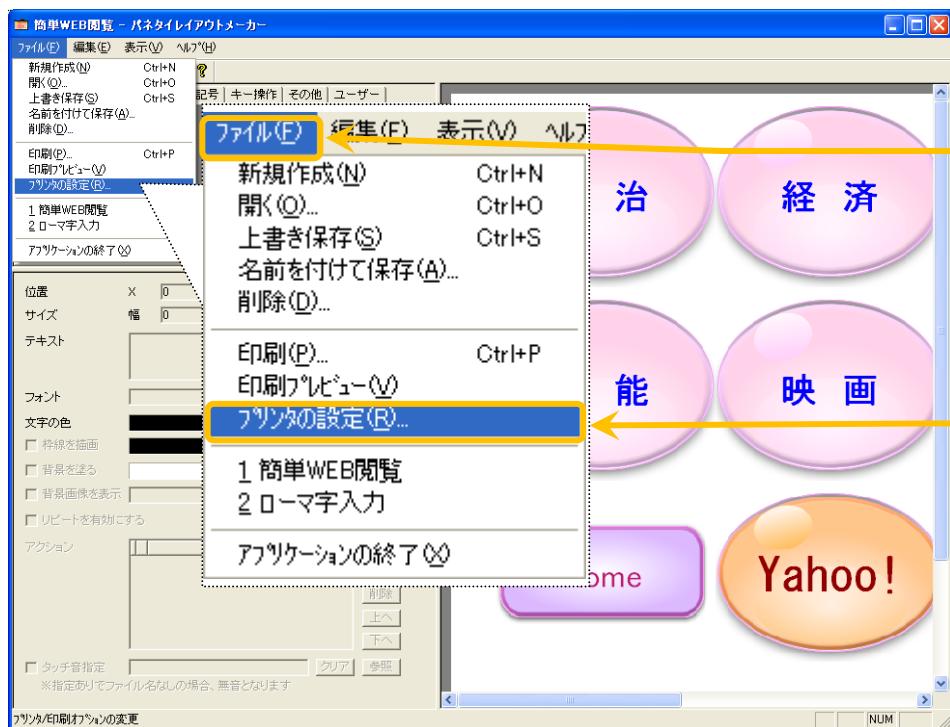
※ 各ボタンの説明です。



### 5.3. プリンタの設定

プリンタの設定を変更することができます。

メニューの『ファイル』 → 『プリンタの設定』をクリックします。



[1] 『ファイル』をクリック

[2] 『プリンタの設定』をクリック

プリンタ名を選択して、『プロパティ』ボタンをクリックします。



[2] 『プロパティ』を  
クリック

これ以降はプリンタ毎に内容が異なります。

変更が完了後、『OK』ボタンをクリックして戻ってください。

## 6. 付録

---

### 6.1. キー一覧表

その他(2.3)に記載されている各タブのキーを配置してタッチした場合の詳細は次のようになっています。

#### 6.1.1. 英字

[英字]タブの[キー表記]列の文字が表示されたキーをタッチすると[入力文字]列の文字が入力されます。

キー表記	入力文字
A	A
B	B
C	C
D	D
E	E
F	F
G	G
H	H
I	I
J	J
K	K
L	L
M	M

キー表記	入力文字
N	N
O	O
P	P
Q	Q
R	R
S	S
T	T
U	U
V	V
W	W
X	X
Y	Y
Z	Z

### 6.1.2. ひらがな

[ひらがな]タブの[キー表記]列の文字が表示されたキーをタッチすると[入力文字]列の文字が入力されます。

キー表記	入力文字
あ	あ
い	い
う	う
え	え
お	お
か	か
き	き
く	く
け	け
こ	こ
さ	さ
し	し
す	す
せ	せ
そ	そ
た	た
ち	ち
つ	つ
て	て
と	と
な	な
に	に
ぬ	ぬ
ね	ね
の	の
は	は
ひ	ひ
ふ	ふ
へ	へ
ほ	ほ
ま	ま
み	み
む	む
め	め
も	も

キー表記	入力文字
や	や
ゆ	ゆ
よ	よ
ら	ら
り	り
る	る
れ	れ
ろ	ろ
わ	わ
を	を
ん	ん

キー表記	入力文字
が	が
ぎ	ぎ
ぐ	ぐ
げ	げ
ご	ご
ざ	ざ
じ	じ
ず	ず
ぜ	ぜ
ぞ	ぞ
だ	だ
ぢ	ぢ
づ	づ
で	で
ど	ど
ば	ば
び	び
ぶ	ぶ
べ	べ
ぼ	ぼ
ぱ	ぱ
ぴ	ぴ
ぷ	ぷ
ペ	ペ
ぽ	ぽ
あ	あ
い	い
う	う
え	え
お	お
つ	つ
や	や
ゆ	ゆ
よ	よ
わ	わ

キー表記	入力文字
きや	きや
きゅ	きゅ
きょ	きょ
しゃ	しゃ
しゅ	しゅ
しょ	しょ
ちゃ	ちゃ
ちゅ	ちゅ
ちょ	ちょ
にや	にや
にゅ	にゅ
によ	によ
ひや	ひや
ひゅ	ひゅ
ひょ	ひょ
みや	みや
みゅ	みゅ
みょ	みょ
りや	りや
りゅ	りゅ
りょ	りょ
ぎや	ぎや
ぎゅ	ぎゅ
ぎょ	ぎょ
じゃ	じゃ
じゅ	じゅ
じょ	じょ
びや	びや
びゅ	びゅ
びょ	びょ
ぴや	ぴや
ぴゅ	ぴゅ
ぴょ	ぴょ

### 6.1.3. カタカナ

[カタカナ]タブの[キー表記]列の文字が表示されたキーをタッチすると[入力文字]列の文字が入力されます。

キー表記	入力文字
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ
オ	オ
カ	カ
キ	キ
ク	ク
ケ	ケ
コ	コ
サ	サ
シ	シ
ス	ス
セ	セ
ソ	ソ
タ	タ
チ	チ
ツ	ツ
テ	テ
ト	ト
ナ	ナ
ニ	ニ
ヌ	ヌ
ネ	ネ
ノ	ノ
ハ	ハ
ヒ	ヒ
フ	フ
ヘ	ヘ
ホ	ホ
マ	マ
ミ	ミ
ム	ム
メ	メ
モ	モ

キー表記	入力文字
ヤ	ヤ
ユ	ユ
ヨ	ヨ
ラ	ラ
リ	リ
ル	ル
レ	レ
ロ	ロ
ワ	ワ
ヲ	ヲ
ン	ン

キー表記	入力文字
ガ	ガ
ギ	ギ
グ	グ
ゲ	ゲ
ゴ	ゴ
ザ	ザ
ジ	ジ
ズ	ズ
ゼ	ゼ
ゾ	ゾ
ダ	ダ
ヂ	ヂ
ヅ	ヅ
デ	デ
ド	ド
バ	バ
ビ	ビ
ブ	ブ
ベ	ベ
ボ	ボ
パ	パ
ピ	ピ
プ	プ
ペ	ペ
ポ	ポ
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ
オ	オ
ツ	ツ
ヤ	ヤ
ユ	ユ
ヨ	ヨ
ワ	ワ

キー表記	入力文字
キャ	キャ
キュ	キュ
キョ	キョ
シャ	シャ
シュ	シュ
ショ	ショ
チャ	チャ
チュ	チュ
チョ	チョ
ニヤ	ニヤ
ニュ	ニュ
ニョ	ニョ
ヒヤ	ヒヤ
ヒュ	ヒュ
ヒョ	ヒョ
ミヤ	ミヤ
ミュ	ミュ
ミョ	ミョ
リヤ	リヤ
リュ	リュ
リョ	リョ
ギャ	ギャ
ギュ	ギュ
ギョ	ギョ
ジャ	ジャ
ジュ	ジュ
ジョ	ジョ
チャ	チャ
チュ	チュ
チョ	チョ
ビヤ	ビヤ
ビュ	ビュ
ビョ	ビョ
ピヤ	ピヤ
ピュ	ピュ
ピョ	ピョ

#### 6.1.4. 数字・記号

[数字・記号] タブの[キー表記]列の文字が表示されたキーをタッチすると[入力文字]列の文字が入力されます。

キー表記	入力文字
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
!	!
“	“
#	#
\$	\$
%	%
&	&
,	,
(	(
)	)
=	=
-	-
+	+
/	/

キー表記	入力文字
*	*
¥	¥
@	@
~	~
^	^
?	?
[	[
]	]
{	{
}	}
;	;
:	:
<	<
>	>
,	,
.	.
-	-
←	←
→	→
↑	↑
↓	↓

### 6.1.5. キー操作

[キー操作] タブの[キー表記]列の文字が表示されたキーをタッチすると、キーボードで同名のキーを押した場合と同じ動作になります。

また、実際に発行されるキーコードは以下の通りです。

キー表記	キーコード (16進数)	キーコード (10進数)	仮想キーコード
BackSpace	0x08	8	VK_BACK
Tab	0x09	9	VK_TAB
Clear	0x0c	12	VK_CLEAR
Enter	0x0d	13	VK_RETURN
Shift	0x10	16	VK_SHIFT
Ctrl	0x11	17	VK_CONTROL
Alt	0x12	18	VK_MENU
Pause	0x13	19	VK_PAUSE
Caps Lock	0x14	20	VK_CAPITAL
IME かな	0x15	21	VK_KANA
IME 漢字	0x19	25	VK_KANJI
Esc	0x1b	27	VK_ESCAPE
IME 変換	0x1c	28	VK_CONVERT
IME 無変換	0x1d	29	VK_NONCONVERT
Space	0x20	32	VK_SPACE
PageUp	0x21	33	VK_PRIOR
PageDown	0x22	34	VK_NEXT
End	0x23	35	VK_END
Home	0x24	36	VK_HOME
←	0x25	37	VK_LEFT
↑	0x26	38	VK_UP
→	0x27	39	VK_RIGHT
↓	0x28	40	VK_DOWN
PrintScreen	0x2c	44	VK_SNAPSHOT
Insert	0x2d	45	VK_INSERT
Delete	0x2e	46	VK_DELETE
0	0x30	48	—
1	0x31	49	—
2	0x32	50	—
3	0x33	51	—
4	0x34	52	—
5	0x35	53	—
6	0x36	54	—

キー表記	キーコード (16進数)	キーコード (10進数)	仮想キーコード
7	0x37	55	—
8	0x38	56	—
9	0x39	57	—
A	0x41	65	—
B	0x42	66	—
C	0x43	67	—
D	0x44	68	—
E	0x45	69	—
F	0x46	70	—
G	0x47	71	—
H	0x48	72	—
I	0x49	73	—
J	0x4a	74	—
K	0x4b	75	—
L	0x4c	76	—
M	0x4d	77	—
N	0x4e	78	—
O	0x4f	79	—
P	0x50	80	—
Q	0x51	81	—
R	0x52	82	—
S	0x53	83	—
T	0x54	84	—
U	0x55	85	—
V	0x56	86	—
W	0x57	87	—
X	0x58	88	—
Y	0x59	89	—
Z	0x5a	90	—
Left Windows	0x5b	91	VK_LWIN
Right Windows	0x5c	92	VK_RWIN
Application	0x5d	93	VK_APPS
Num 0	0x60	96	VK_NUMPAD0
Num 1	0x61	97	VK_NUMPAD1
Num 2	0x62	98	VK_NUMPAD2
Num 3	0x63	99	VK_NUMPAD3
Num 4	0x64	100	VK_NUMPAD4
Num 5	0x65	101	VK_NUMPAD5

キー表記	キーコード (16進数)	キーコード (10進数)	仮想キーコード
Num 6	0x66	102	VK_NUMPAD6
Num 7	0x67	103	VK_NUMPAD7
Num 8	0x68	104	VK_NUMPAD8
Num 9	0x69	105	VK_NUMPAD9
Num *	0x6a	106	VK_MULTIPLY
Num +	0x6b	107	VK_ADD
Num -	0x6d	109	VK_SUBTRACT
Num .	0x6e	110	VK_DECIMAL
Num /	0x6f	111	VK_DIVIDE
F1	0x70	112	VK_F1
F2	0x71	113	VK_F2
F3	0x72	114	VK_F3
F4	0x73	115	VK_F4
F5	0x74	116	VK_F5
F6	0x75	117	VK_F6
F7	0x76	118	VK_F7
F8	0x77	119	VK_F8
F9	0x78	120	VK_F9
F10	0x79	121	VK_F10
F11	0x7a	122	VK_F11
F12	0x7b	123	VK_F12
F13	0x7c	124	VK_F13
F14	0x7d	125	VK_F14
F15	0x7e	126	VK_F15
F16	0x7f	127	VK_F16
F17	0x80	128	VK_F17
F18	0x81	129	VK_F18
F19	0x82	130	VK_F19
F20	0x83	131	VK_F20
F21	0x84	132	VK_F21
F22	0x85	133	VK_F22
F23	0x86	134	VK_F23
F24	0x87	135	VK_F24
NumLock	0x90	144	VK_NUMLOCK
ScrollLock	0x91	145	VK_SCROLL
Left MENU	0xa4	164	VK_LMENU
Right MENU	0xa5	165	VK_RMENU
Browser 戻る	0xa6	166	VK_BROWSER_BACK

キー表記	キーコード (16進数)	キーコード (10進数)	仮想キーコード
Browser 進む	0xa7	167	VK_BROWSER_FORWARD
Browser 更新	0xa8	168	VK_BROWSER_REFRESH
Browser 中止	0xa9	169	VK_BROWSER_STOP
Browser 検索	0xaa	170	VK_BROWSER_SEARCH
Browser お気に入り	0xab	171	VK_BROWSER_FAVORITES
Browser 開始 ホーム	0xac	172	VK_BROWSER_HOME
音声 ミュート	0xad	173	VK_VOLUME_MUTE
音声 低	0xae	174	VK_VOLUME_DOWN
音声 高	0xaf	175	VK_VOLUME_UP
サウンド 次へ	0xb0	176	VK_MEDIA_NEXT_TRACK
サウンド 前へ	0xb1	177	VK_MEDIA_PREV_TRACK
サウンド 停止	0xb2	178	VK_MEDIA_STOP
サウンド 再生/一時停止	0xb3	179	VK_MEDIA_PLAY_PAUSE
MAIL 起動	0xb4	180	VK_LAUNCH_MAIL
Media 選択	0xb5	181	VK_LAUNCH_MEDIA_SELECT
Application1 開始	0xb6	182	VK_LAUNCH_APP1
Application2 開始	0xb7	183	VK_LAUNCH_APP2
:	0xba	186	0xBA
;	0xbb	187	0xBB
,	0xbc	188	0xBC
-	0xbd	189	0xBD
.	0xbe	190	0xBE
/	0xbf	191	0xBF
@	0xc0	192	0xC0
[	0xdb	219	0xDB
¥	0xdc	220	0xDC
]	0xdd	221	0xDD
^	0xde	222	0xDE
\	0xe2	226	0xE2
英数	0xf0	240	VK_OEM_ATTN
カタカナひらがな	0xf2	242	VK_OEM_COPY
全角	0xf3	243	VK_OEM_AUTO
半角	0xf4	244	VK_OEM_ENLW
ローマ字	0xf5	245	VK_OEM_BACKTAB

### 6.1.6. その他

[その他]タブの[キー表記]列の文字が表示されたキーをタッチすると[動作]列の動作になります。

キー表記	動作
マウスパッド	マウスカーソルを移動させます
マウス左ボタンクリック	マウスボタンの左クリックを行います
マウス右ボタンクリック	マウスボタンの右クリックを行います

## 7. 商標及び著作権について

---

パネタイは株式会社ソフトウェアエンジニアリングの登録商標です。

Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

パネタイは株式会社ディ・エム・シーが提供している、タッチパネルドライバ (Universal Pointer Device Driver) を利用しております。タッチパネルドライバ (Universal Pointer Device Driver) の著作権は Touch-Base, Ltd. に帰属します。

## 8. お問い合わせ

---

### 株式会社 ソフトウェアエンジニアリング

〒550-0014 大阪市西区北堀江1丁目1番29号 四ツ橋M T 長谷ビル

TEL :06-6532-1762(代表) FAX:06-6532-1763

URL :<http://ebisu.softeng.co.jp/PANETYP/>

Mail:[panetyp@softeng.co.jp](mailto:panetyp@softeng.co.jp)